

平成29年度
第2回若者版県政モニターアンケート調査
結果報告書

平成29年12月実施

岐阜県

目 次

I 調査概要.....	1
1. 1 調査の目的.....	1
1. 2 調査の経緯.....	1
1. 3 モニター応募資格.....	1
1. 4 調査時期.....	1
1. 5 回収結果.....	1
1. 6 報告書の見方.....	1
1. 7 対象者の属性.....	2
F-1 性別.....	2
F-2 年代.....	2
F-3 居住地域（8分類）.....	3
F-4 職業.....	4
F-5 専攻.....	4
F-6 婚姻の状況.....	5
F-7 地元.....	5
II 調査結果.....	6
問1 岐阜県内で就職した（したい）か.....	6
問1-2 岐阜県内で就職した（したい）理由.....	10
問1-3 岐阜県内で就職しなかった（したくない）理由.....	18
問1-4 将来岐阜県で暮らしたいか.....	26
問2 働く（働きたい）目的.....	30
問2-2 「転職」へのイメージ.....	34
問3 就職先企業・団体の選択時に重視した（する）こと.....	38
問4 就職時に参考にした（する）情報源.....	46
問5 就職時に参考にした（する）意見.....	54
問6 地元企業のことを知っていたか.....	62
問7 岐阜県内で就職するために期待する行政支援.....	66
問8 地元への愛着.....	74
問8-2 地元への誇り.....	78
問9 地元の活性化への貢献.....	82
問9-2 地元の活性化のために期待する行政支援.....	86
問10 岐阜県行政に対するご意見・ご要望.....	95

I 調査概要

1. 1 調査の目的

県に所縁のある若者の意識を把握するとともに、県行政に対する若者の関心を調査し、県政推進の基礎資料とする。

1. 2 調査の経緯

平成29年度より実施

1. 3 モニター応募資格

- ・18～29歳の方（平成29年5月1日現在）
- ・県内に居住、通勤もしくは通学されている方、または岐阜県出身で県外在住の方
- ・インターネットにより、アンケートに回答できる方

1. 4 調査時期

平成29年12月4日～平成30年1月19日

1. 5 回収結果

	調査時期	モニター数 (A)	回収数 (B)	有効回答数 (C)	回収率 (B/A)	有効回答率 (C/A)
第1回 (平成29年度)	平成29年7、8月	249	193	193	77.5%	77.5%
第2回 (平成29年度)	平成29年12月、 平成30年1月	249	205	205	82.3%	82.3%

1. 6 報告書の見方

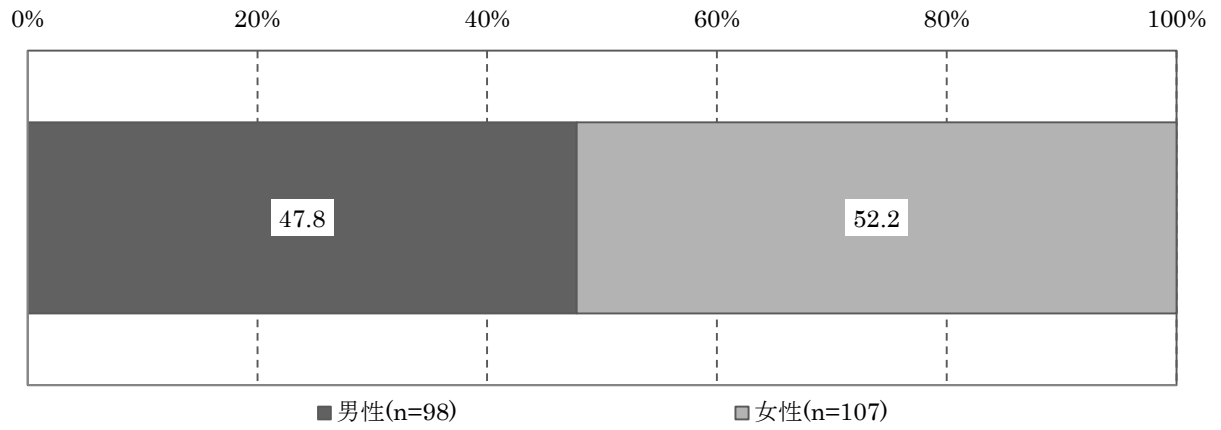
- (1) 比率は全てパーセントで表し、小数点第2位を四捨五入して算出した。そのため、パーセントの合計が100.0%にならない場合がある。
- (2) 基数となるべき実数は「n」（件数）として掲載した。したがって比率は、nを100%として算出している。
- (3) 複数回答が可能な設問では総回答数を「N」として掲載した。その場合、その項目を選んだ人が、回答者全体のうち何%を占めるのかという見方をする。したがって、各項目の比率の合計は、通常100%を超える。
- (4) 本報告書中の表、グラフ、及び本文で使われている選択肢の表現は、本来の意味を損なわない程度に省略している場合がある。

1. 7 対象者の属性

F-1 性別

図 F-1 性別

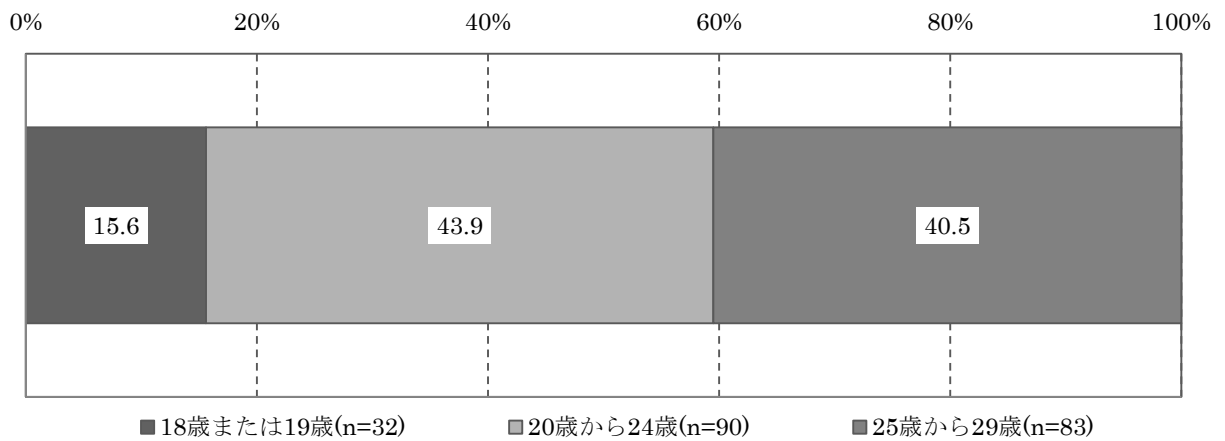
回答者数(n=205)



F-2 年代

図 F-2 年代

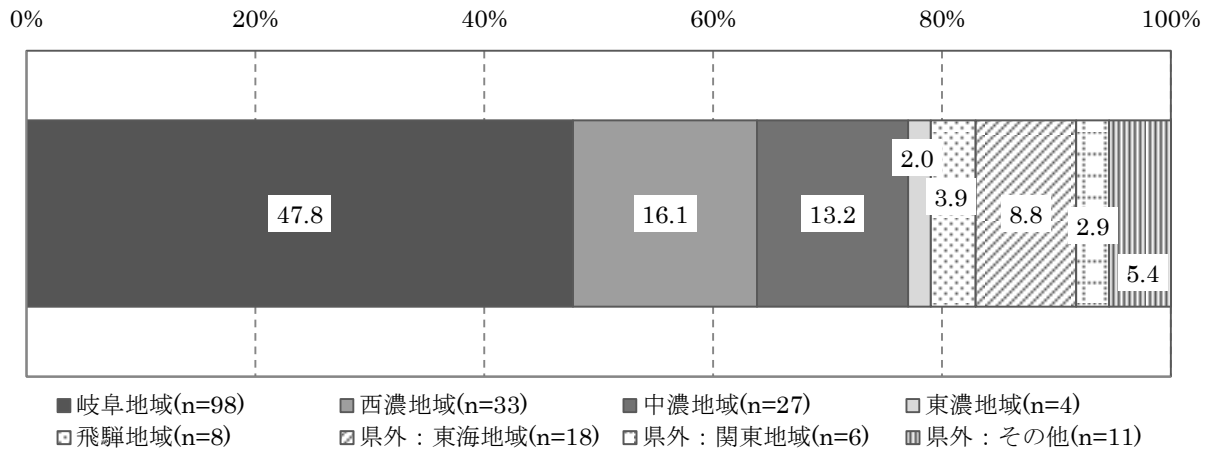
回答者数(n=205)



F-3 居住地域（8分類）

図 F-3 居住地域（8分類）

回答者数(n=205)



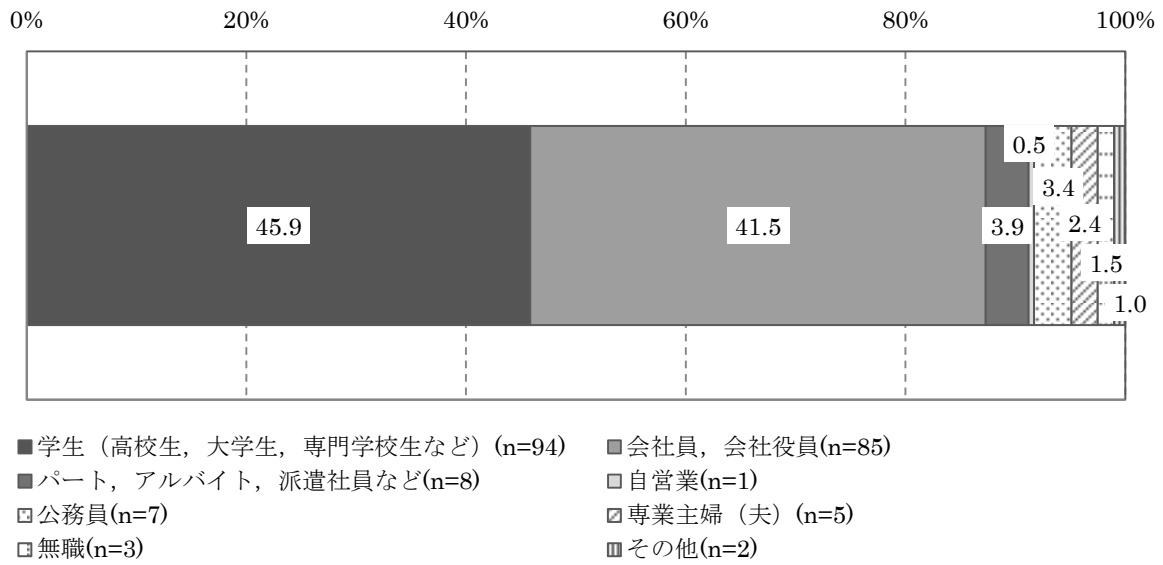
岐阜地域（岐阜市・羽島市・各務原市・山県市・瑞穂市・本巣市・岐南町・笠松町・北方町）
 西濃地域（大垣市・海津市・養老町・垂井町・関ヶ原町・神戸町・輪之内町・安八町・揖斐川町・大野町・池田町）
 中濃地域（関市・美濃市・美濃加茂市・可児市・郡上市・坂祝町・富加町・川辺町・七宗町・八百津町・白川町・東白川村・御嵩町）
 東濃地域（多治見市・中津川市・瑞浪市・恵那市・土岐市）
 飛騨地域（高山市・飛騨市・下呂市・白川村）
 県外：東海地域（愛知県、三重県）
 県外：関東地域（東京都、神奈川県など）
 県外：その他（東海・関東地域以外の地域）

- ※ 「東濃地域」、「飛騨地域」について、回答者が少ないため、「Ⅱ調査結果」中においては、「岐阜地域」、「西濃地域」、「中濃地域」、「東濃地域」、「飛騨地域」の5項目をまとめて「県内」として集計している。
- ※ 「県外：東海地域」、「県外：関東地域」、「県外：その他」について、回答者が少ないため、「Ⅱ調査結果」中においては、3項目をまとめて「県外」として集計している。

F-4 職業

図 F-4 職業

回答者数(n=205)

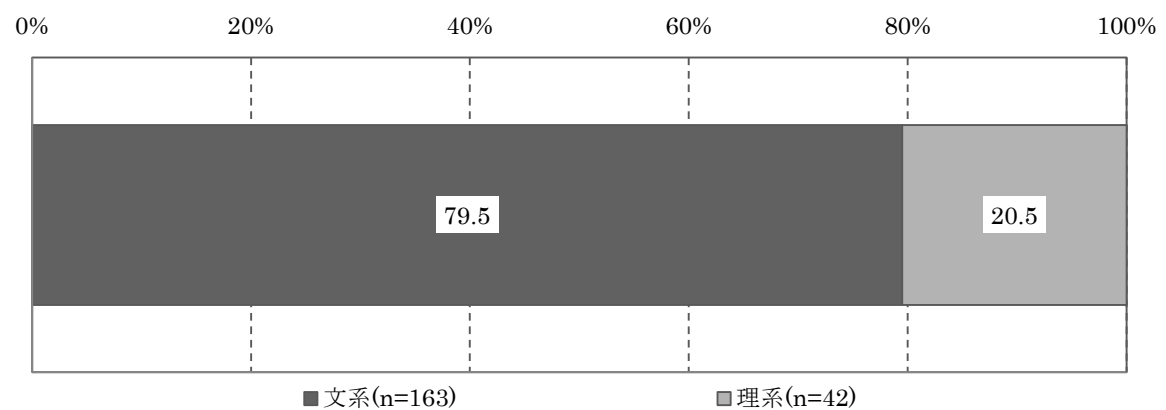


※ 「パート、アルバイト、派遣社員など」、「自営業」、「公務員」、「専業主婦 (夫)」、「無職」、「その他」について、回答者が少ないため、「Ⅱ 調査結果」中においては、6項目をまとめて「その他の職業」として集計している。

F-5 専攻

図 F-5 専攻

回答者数(n=205)

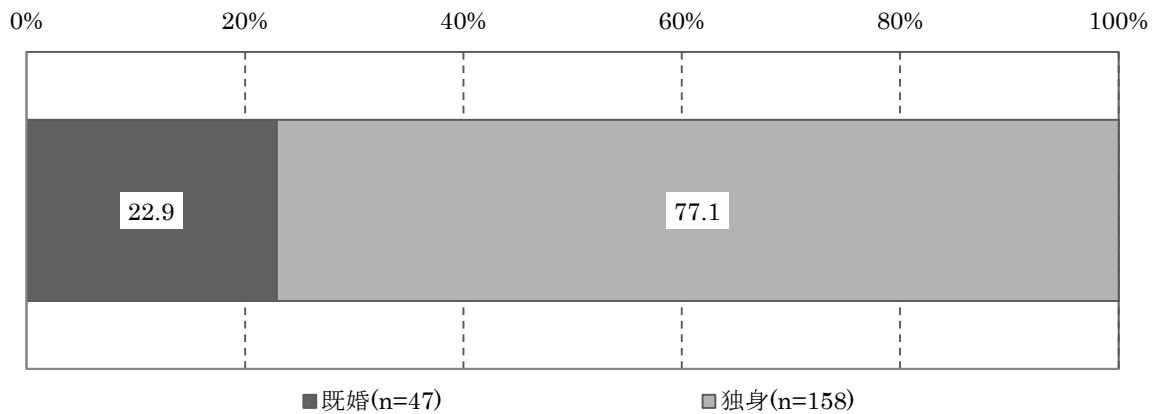


文系 (人文科学、社会科学、家政、教育、芸術など)、その他
理系 (理学、工学、農学、医学、薬学、歯学、看護、保健、商船など)

F-6 婚姻の状況

図 F-6 婚姻の状況

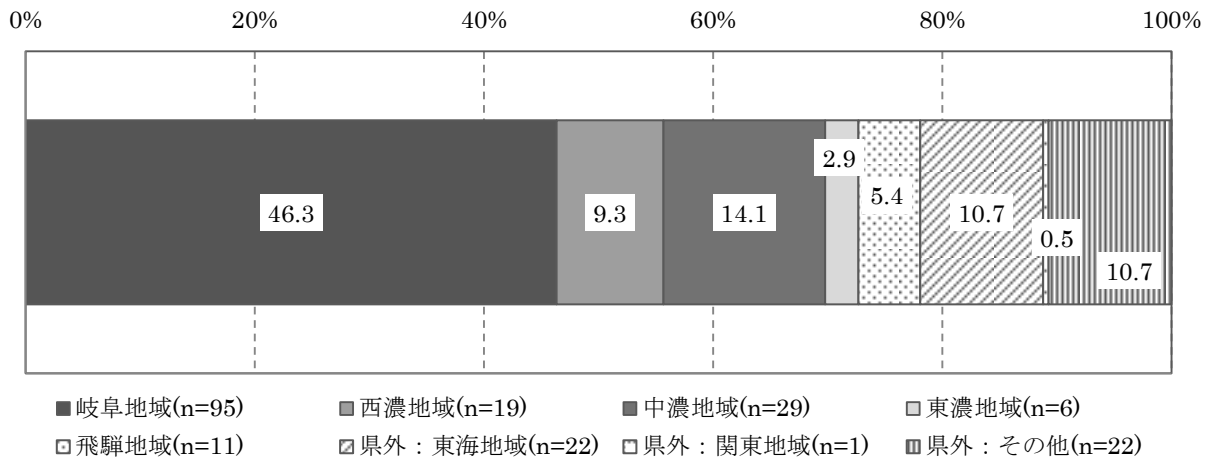
回答者数(n=205)



F-7 地元

図 F-7 地元

回答者数(n=205)



岐阜地域 (岐阜市・羽島市・各務原市・山県市・瑞穂市・本巣市・岐南町・笠松町・北方町)
 西濃地域 (大垣市・海津市・養老町・垂井町・関ヶ原町・神戸町・輪之内町・安八町・揖斐川町・大野町・池田町)
 中濃地域 (関市・美濃市・美濃加茂市・可児市・郡上市・坂祝町・富加町・川辺町・七宗町・八百津町・白川町・東白川村・御嵩町)
 東濃地域 (多治見市・中津川市・瑞浪市・恵那市・土岐市)
 飛騨地域 (高山市・飛騨市・下呂市・白川村)
 県外：東海地域 (愛知県、三重県)
 県外：関東地域 (東京都、神奈川県など)
 県外：その他 (東海・関東地域以外の地域)

※「東濃地域」、「飛騨地域」について、回答者が少ないため、「Ⅱ調査結果」中においては、「岐阜地域」、「西濃地域」、「中濃地域」、「東濃地域」、「飛騨地域」の5項目をまとめて「県内」として集計している。
 ※「県外：東海地域」、「県外：関東地域」、「県外：その他」について、回答者が少ないため、「Ⅱ調査結果」中においては、3項目をまとめて「県外」として集計している。

Ⅱ 調査結果

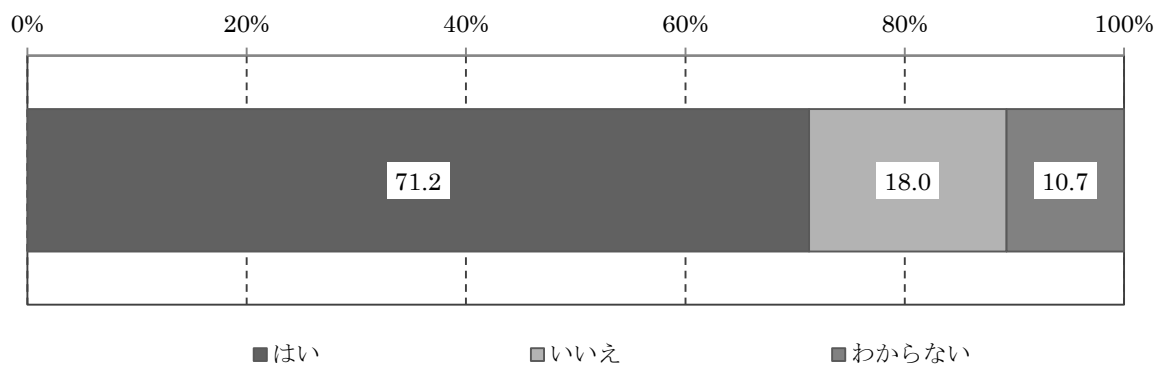
問1 岐阜県内で就職した(したい)か

問1 あなたは現在岐阜県内で就職(県内企業・団体に就職し、転勤等で県外勤務中の方を含む。)していますか。または将来岐阜県内で就職したいですか。
(1つだけ)

全体(図1-1)で見ると、「はい」が71.2%と最も高く、次いで「いいえ」が18.0%、「わからない」が10.7%の順となっている。

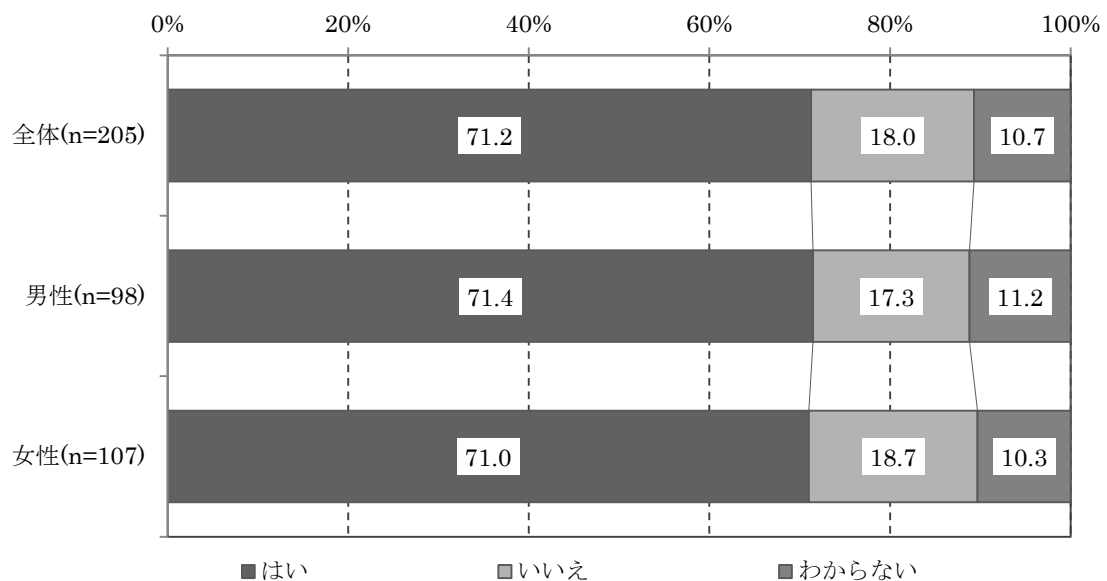
図1-1 岐阜県内で就職した(したい)か

回答者数(n=205)



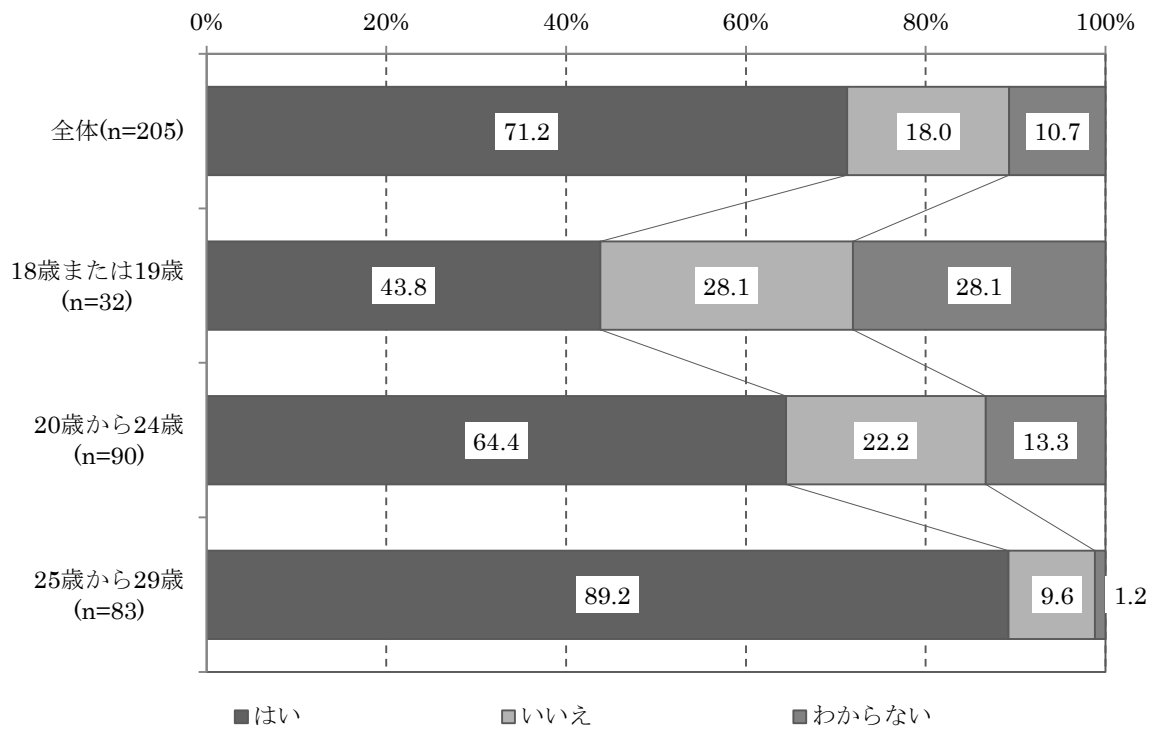
性別(図1-2)で見ると、男女ともに「はい」が最も高く、そのうち男性は71.4%と最も高くなっている。

図1-2【性別】岐阜県内で就職した(したい)か



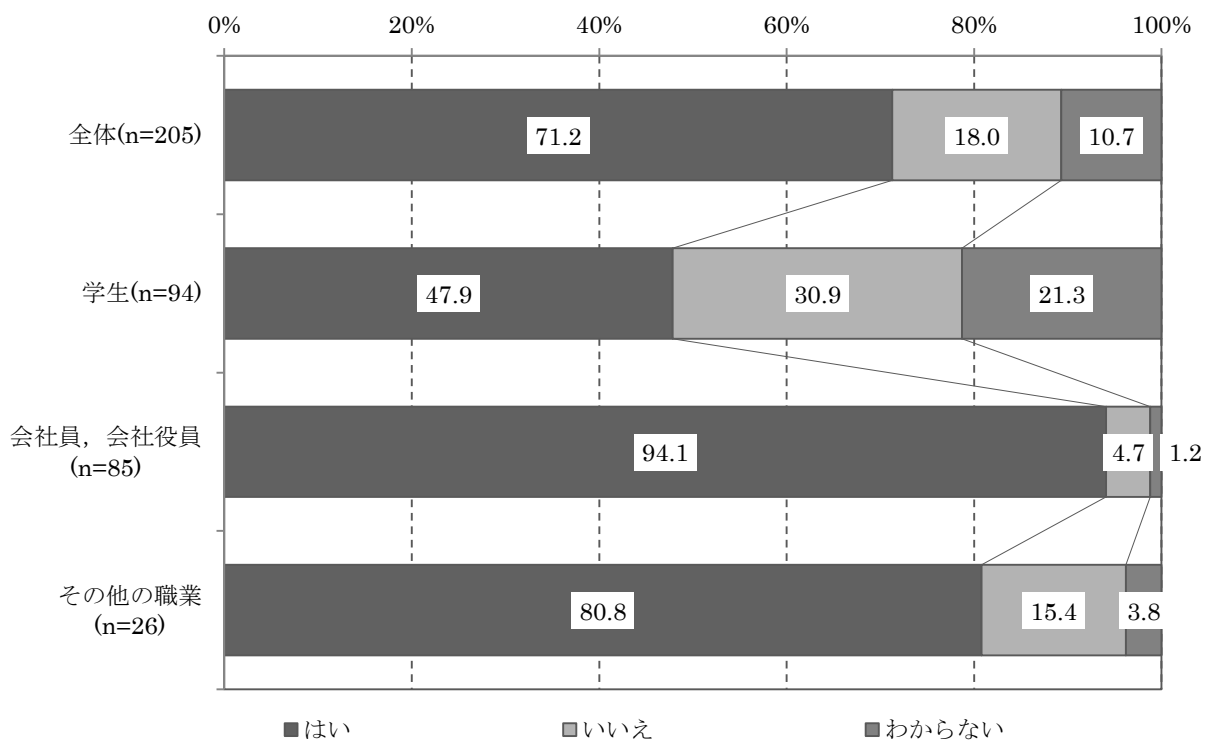
年代別（図 1-3）で見ると、いずれの年代においても「はい」が最も高く、そのうち 25 歳から 29 歳は 89.2%と最も高くなっている。

図 1-3 【年代別】岐阜県内で就職した(したい)か



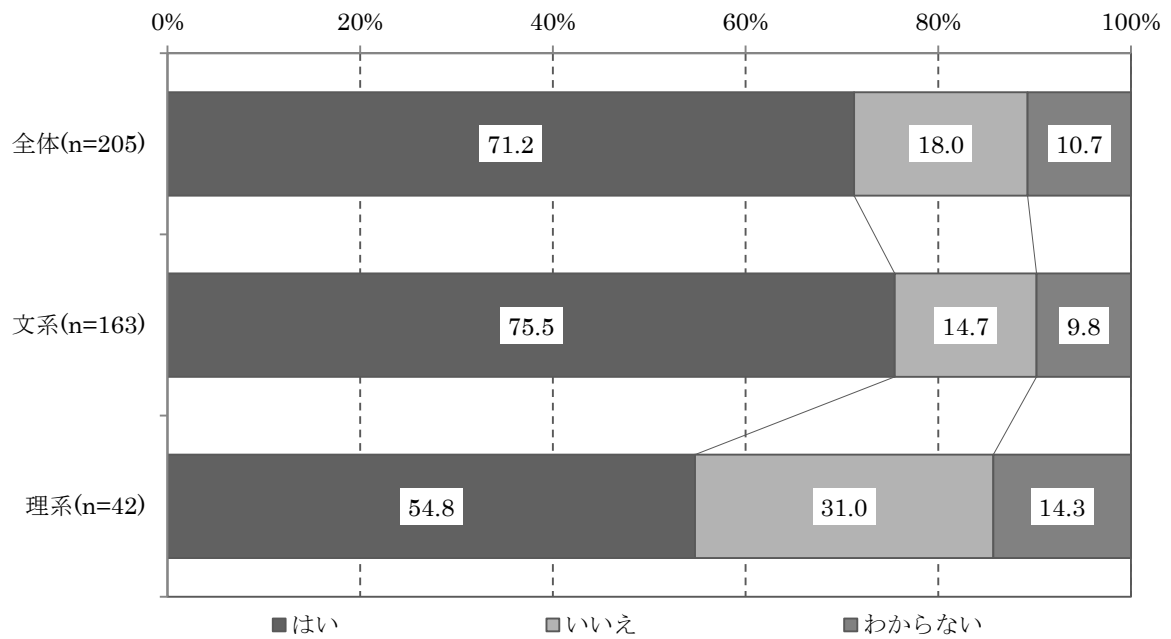
職業別（図 1-4）で見ると、いずれの職業においても「はい」が最も高く、そのうち会社員、会社役員は 94.1%と最も高くなっている。

図 1-4 【職業別】岐阜県内で就職した(したい)か



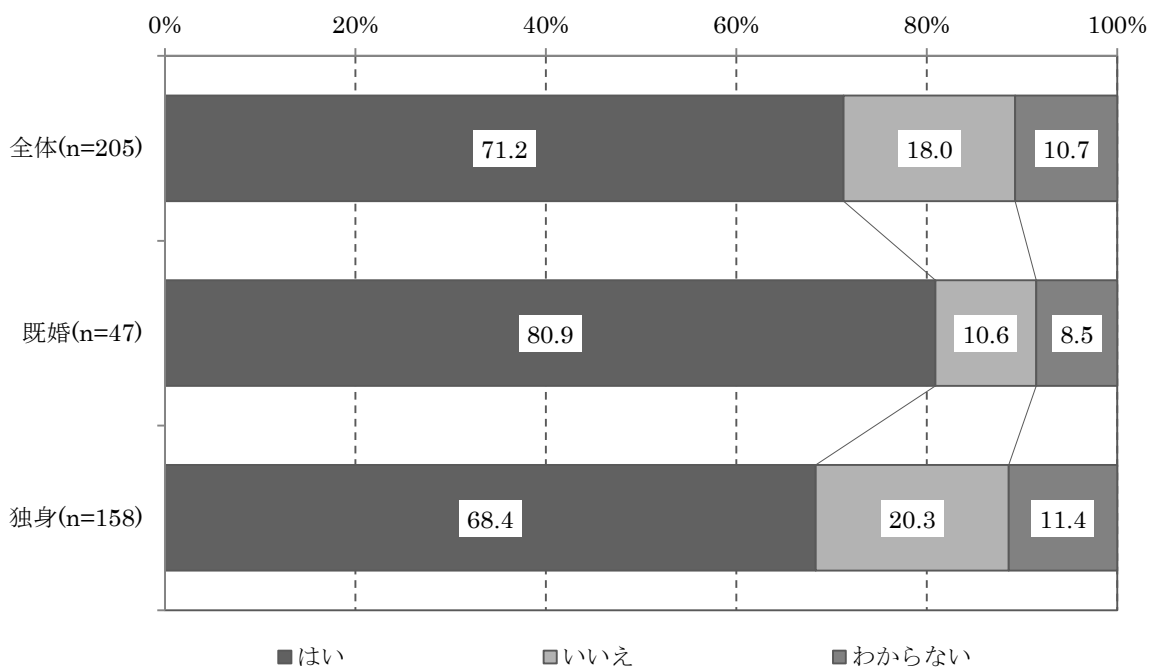
専攻別（図 1-5）で見ると、文系、理系ともに「はい」が最も高く、そのうち文系は75.5%と最も高くなっている。

図 1-5 【専攻別】 岐阜県内で就職した(したい)か



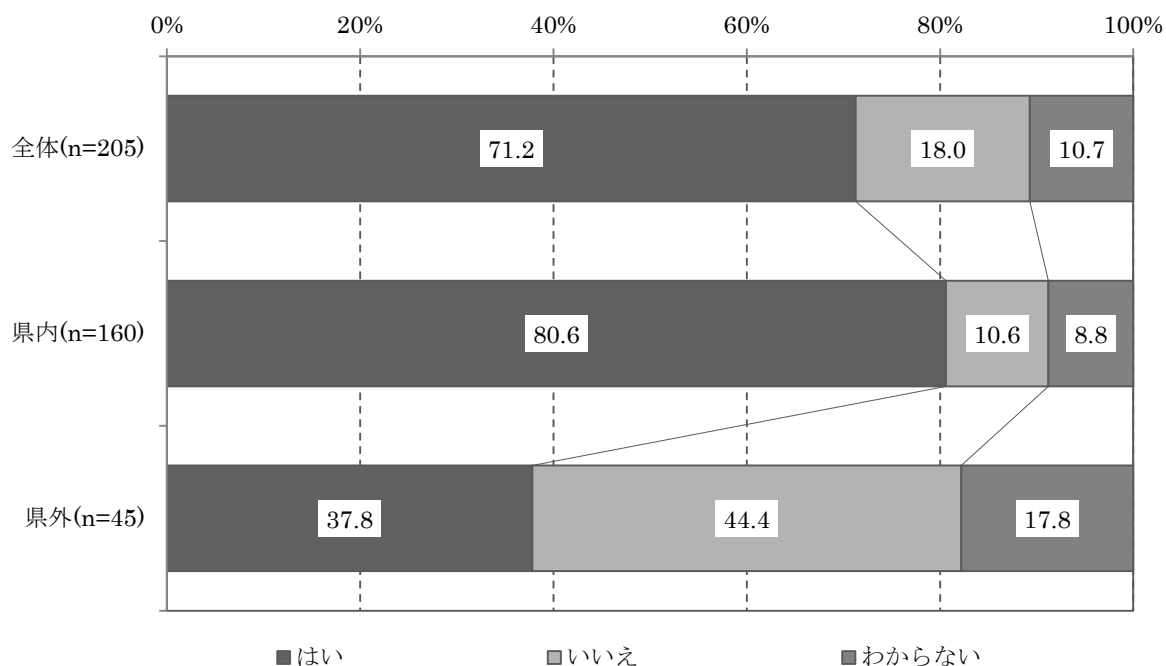
婚姻の状況別（図 1-6）で見ると、既婚、独身ともに「はい」が最も高く、そのうち既婚は80.9%と最も高くなっている。

図 1-6 【婚姻の状況別】 岐阜県内で就職した(したい)か



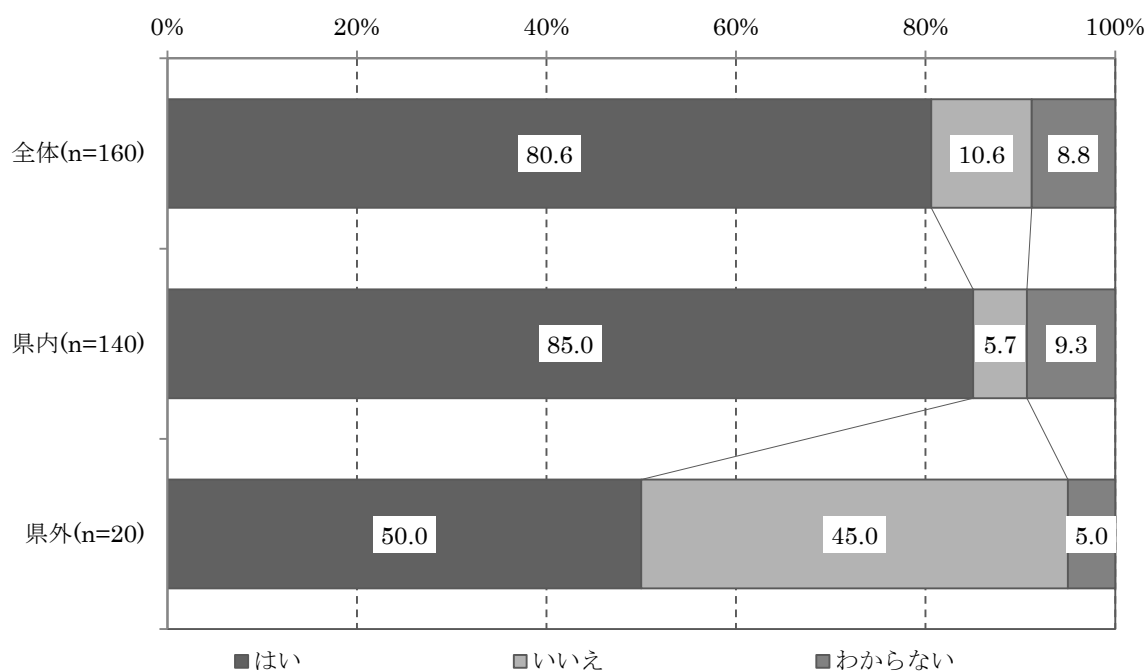
地元別（図 1-7）で見ると、県内は「はい」が 80.6%と最も高くなっている。県外は「いいえ」が 44.4%と最も高くなっている。

図 1-7 【地元別】 岐阜県内で就職した(したい)か



居住地域別（図 1-8）で見ると、県内、県外ともに「はい」が最も高く、そのうち県内は 85.0%と最も高くなっている。（回答者は地元が県内の方のみ）

図 1-8 【居住地域別】 岐阜県内で就職した(したい)か



※ 地元が県内の方の回答

問1-2 岐阜県内で就職した(したい)理由

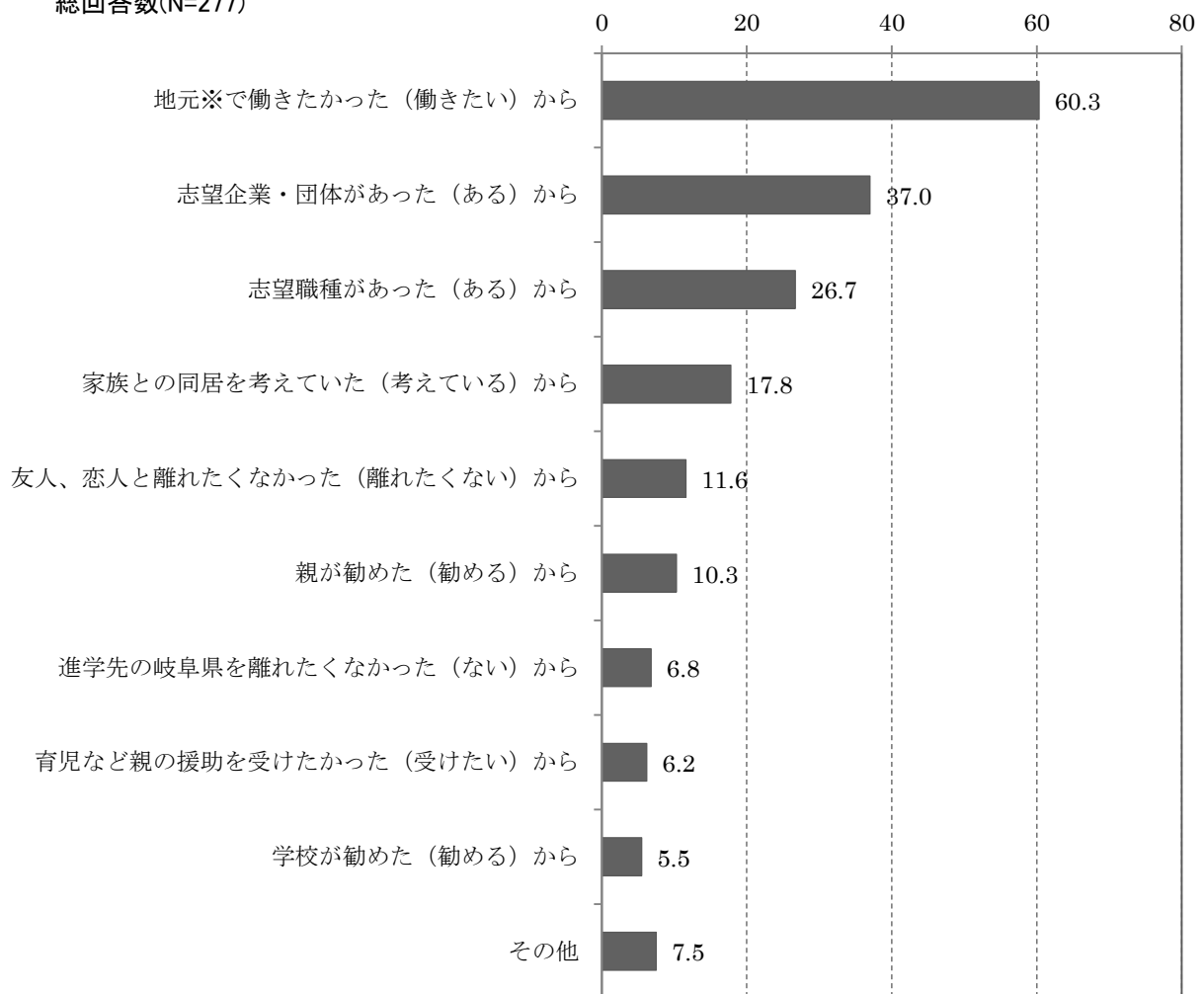
問1-2 「はい」を選んだ方にお尋ねします。
あなたが岐阜県内で就職した(したい)理由は何ですか。
(3つまで)

全体(図1-2-1)で見ると、「地元※で働きたかった(働きたい)から」が60.3%と最も高く、次いで「志望企業・団体があった(ある)から」が37.0%、「志望職種があった(ある)から」が26.7%の順となっている。

図1-2-1 岐阜県内で就職した(したい)理由

回答者数(n=146)※

総回答数(N=277)



※問1で「はい」を選んだ方(146人)のみ

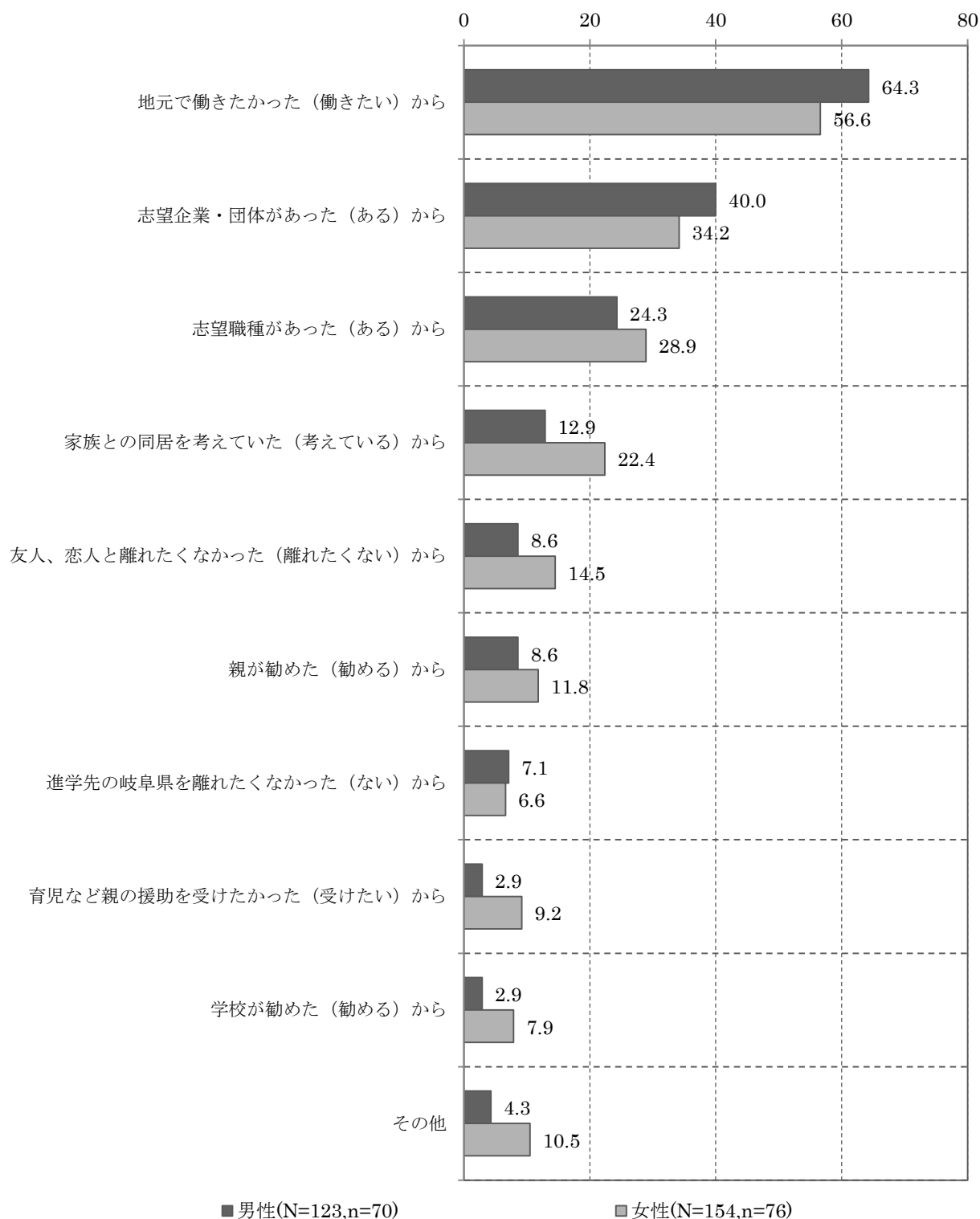
※地元：出生から中学卒業までの間に最も長く居住した地(以下、同じ)

※「その他」の主な内容

- ・岐阜が好きだから。
- ・内定が決まった企業がたまたま岐阜県の企業だったから。
- ・求人数が多く、失業しにくい(転職先を見つけやすい)地域だから。
- ・奨学金の条件が岐阜県で5年働くことだったから。
- ・結婚したから。

性別（図 1-2-2）で見ると、男女ともに「地元で働きたかった（働きたい）から」が最も高く、そのうち男性は 64.3%と最も高くなっている。

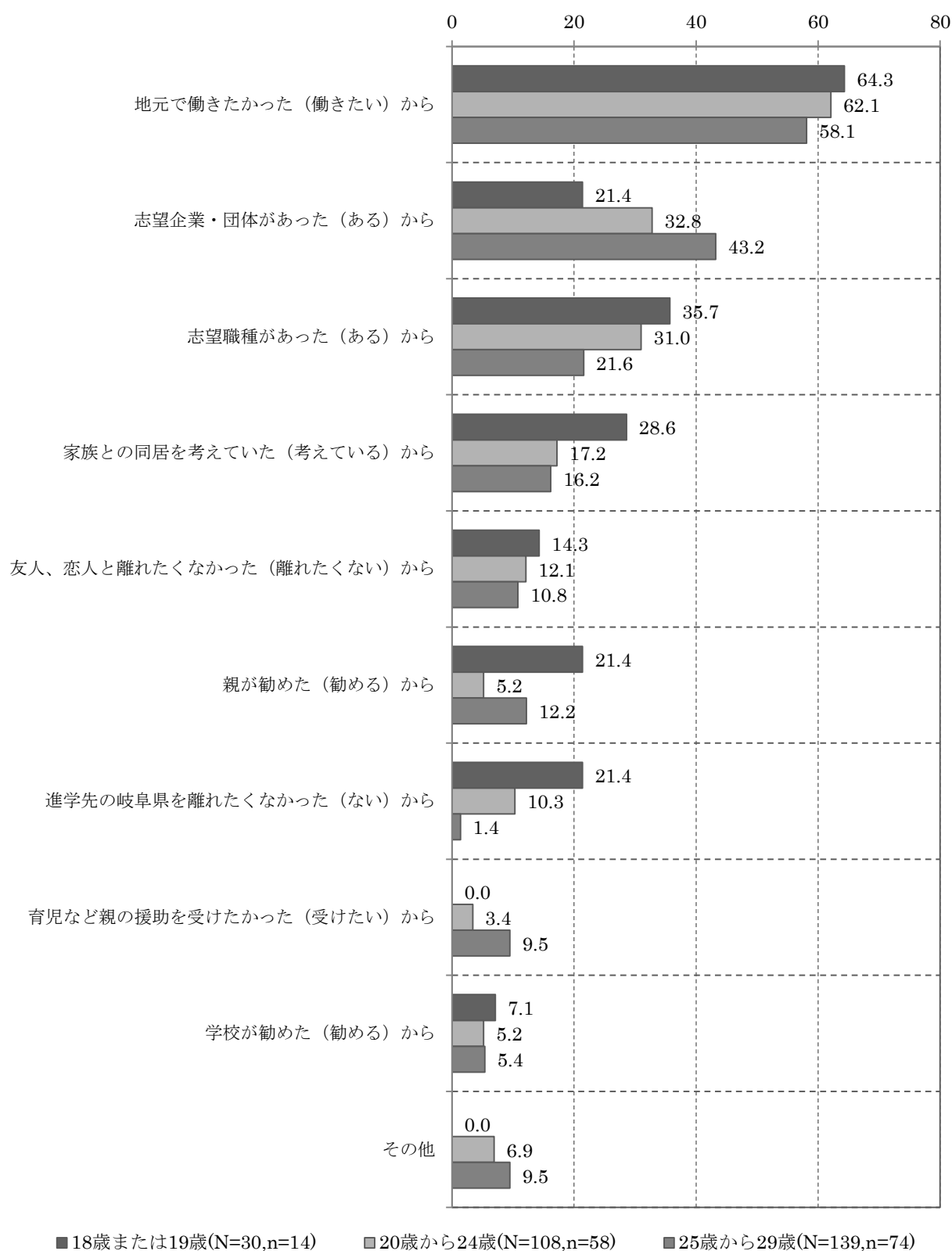
図 1-2-2 【性別】 岐阜県内で就職した(したい)理由



※ N=総回答数 n=回答者数

年代別（図 1-2-3）で見ると、いずれの年代においても「地元で働きたかった（働きたい）から」が最も高く、そのうち 18 歳または 19 歳は 64.3% と最も高くなっている。

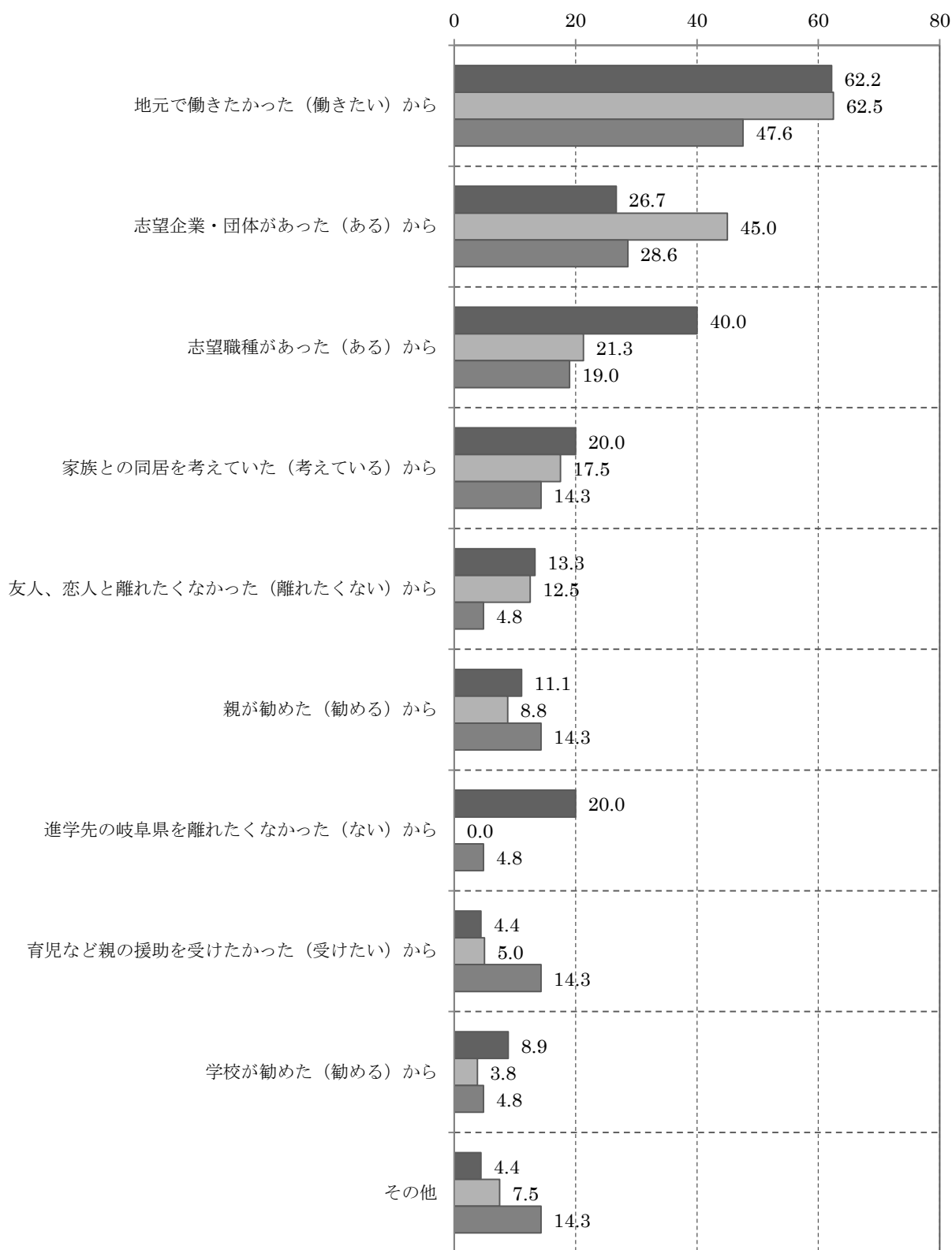
図 1-2-3 【年代別】 岐阜県内で就職した(したい)理由



※ N=総回答数 n=回答者数

職業別（図 1-2-4）で見ると、いずれの職業においても「地元で働きたかった（働きたい）から」が最も高く、そのうち会社員、会社役員は 62.5%と最も高くなっている。

図 1-2-4 【職業別】 岐阜県内で就職した(したい)理由

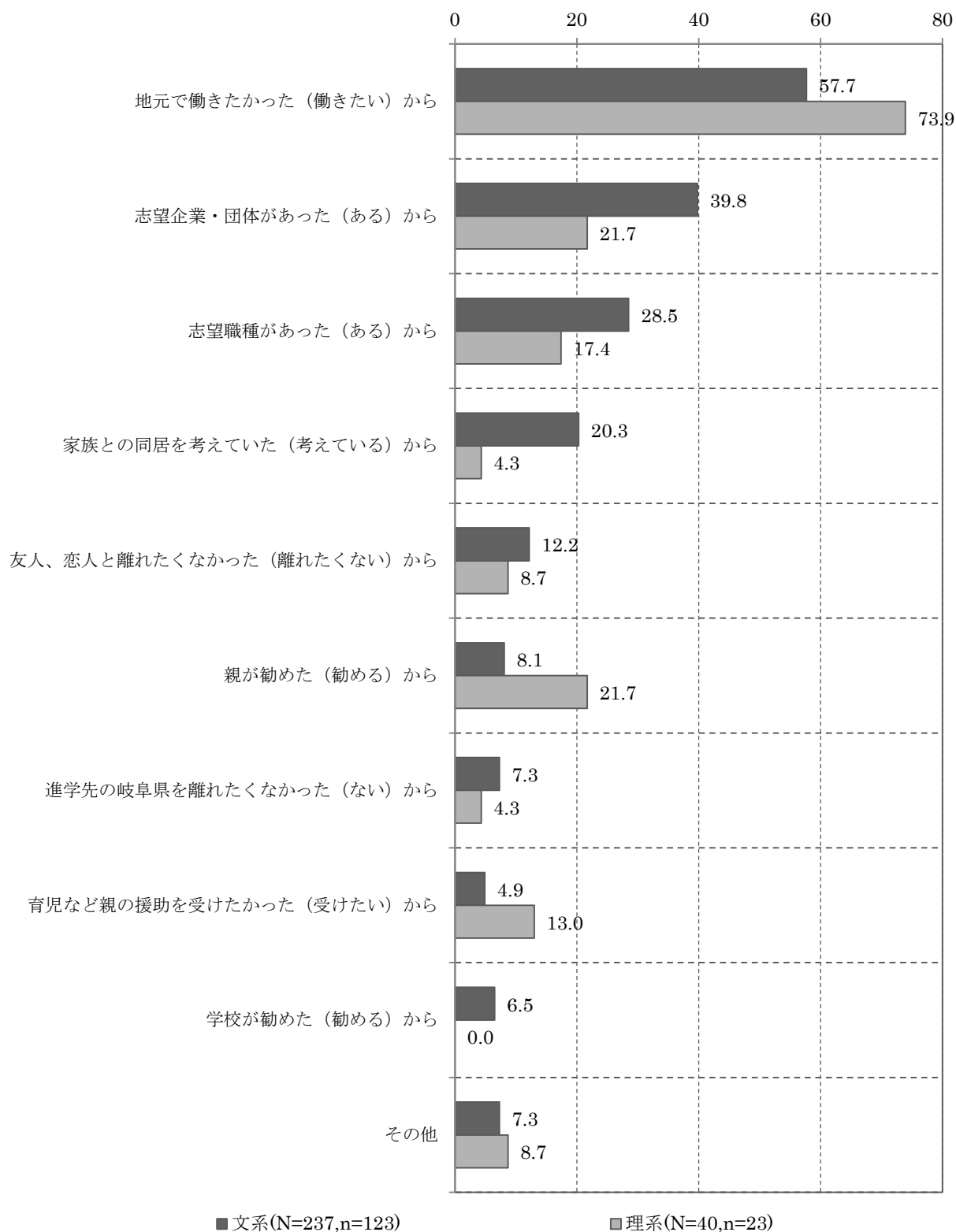


■ 学生(N=95,n=45) □ 会社員、会社役員(N=147,n=80) ■ その他の職業(N=35,n=21)

※ N=総回答数 n=回答者数

専攻別（図 1-2-5）でみると、文系、理系ともに「地元で働きたかった（働きたい）から」が最も高く、そのうち理系は 73.9%と最も高くなっている。

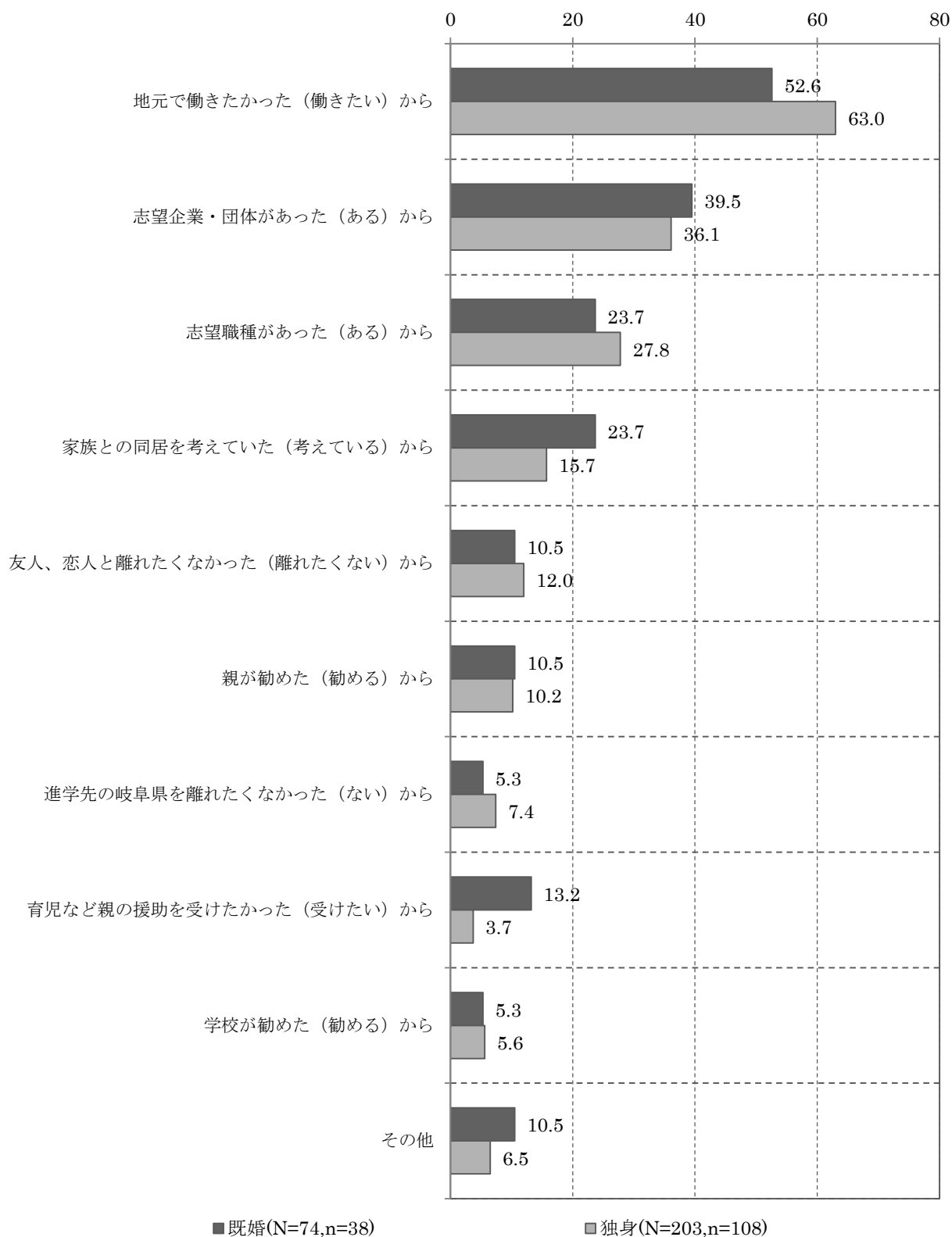
図 1-2-5 【専攻別】 岐阜県内で就職した(したい)理由



※ N=総回答数 n=回答者数

婚姻の状況別（図 1-2-6）で見ると、既婚、独身ともに「地元で働きたかった（働きたい）から」が最も高く、そのうち独身は63.0%と最も高くなっている。

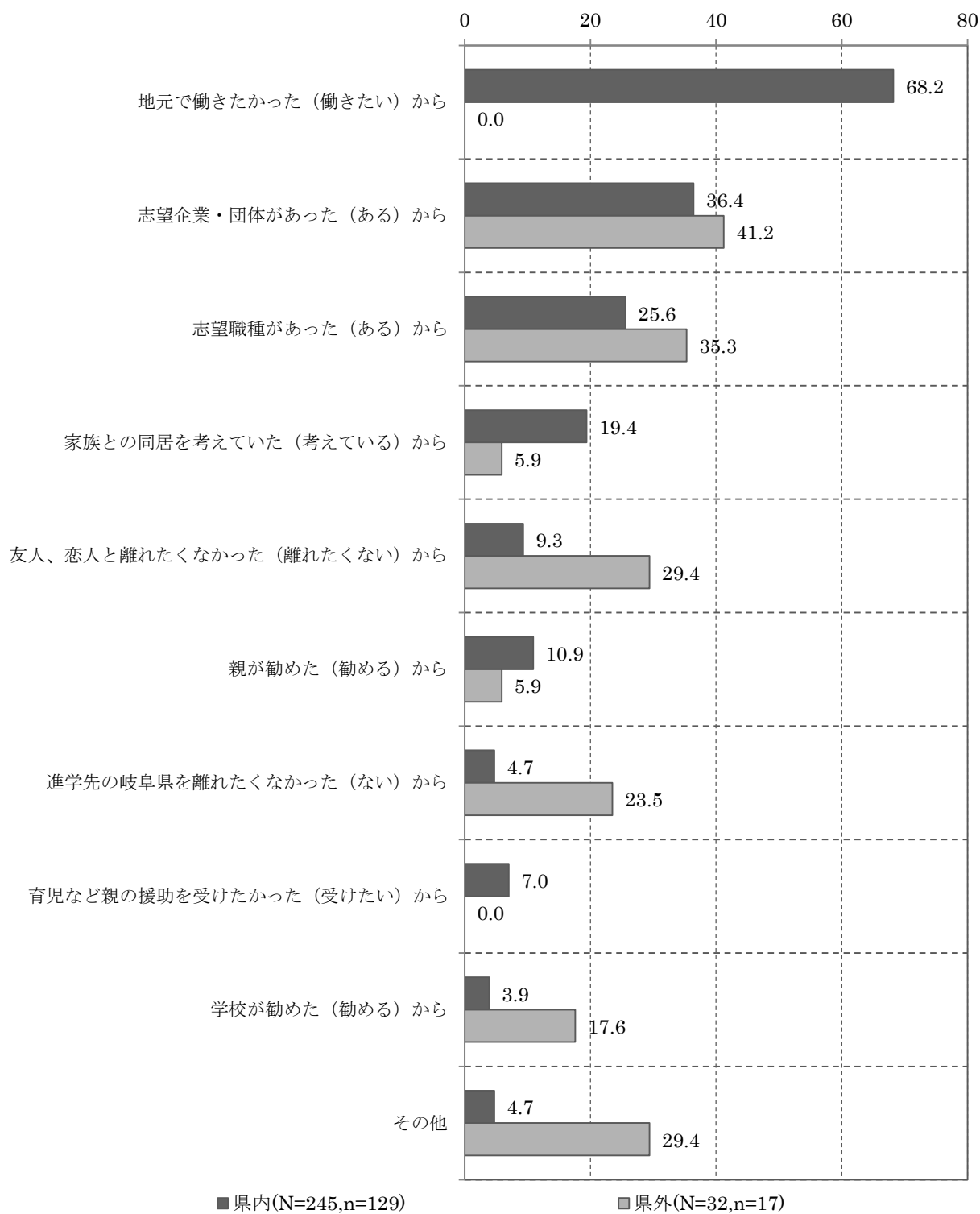
図 1-2-6 【婚姻の状況別】 岐阜県内で就職した(したい)理由



※ N=総回答数 n=回答者数

地元別（図 1-2-7）で見ると、県内は「地元で働きたかった（働きたい）から」が 68.2%と最も高くなっている。県外は「志望企業・団体があった（ある）から」が 41.2%と最も高くなっている。

図 1-2-7 【地元別】 岐阜県内で就職した(したい)理由



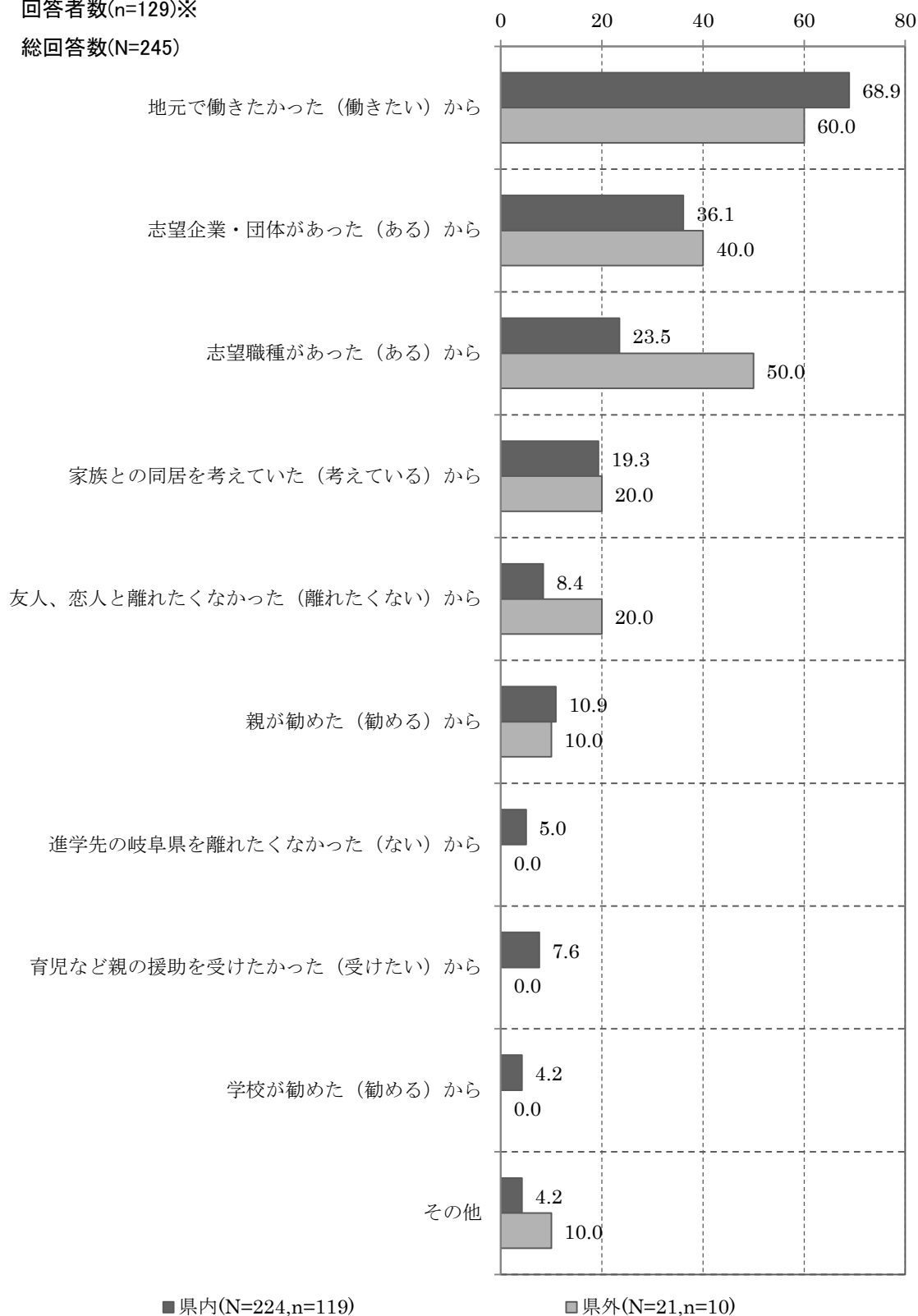
※ N=総回答数 n=回答者数

居住地域別（図 1-2-8）で見ると、県内、県外ともに「地元で働きたかった（働きたい）から」が最も高く、そのうち県内は 68.9%と最も高くなっている。（回答者は地元が県内の方のみ）

図 1-2-8 【居住地域別】 岐阜県内で就職した(したい)理由

回答者数(n=129)※

総回答数(N=245)



※ 地元が県内の方の回答

問1-3 岐阜県内で就職しなかった（したくない）理由

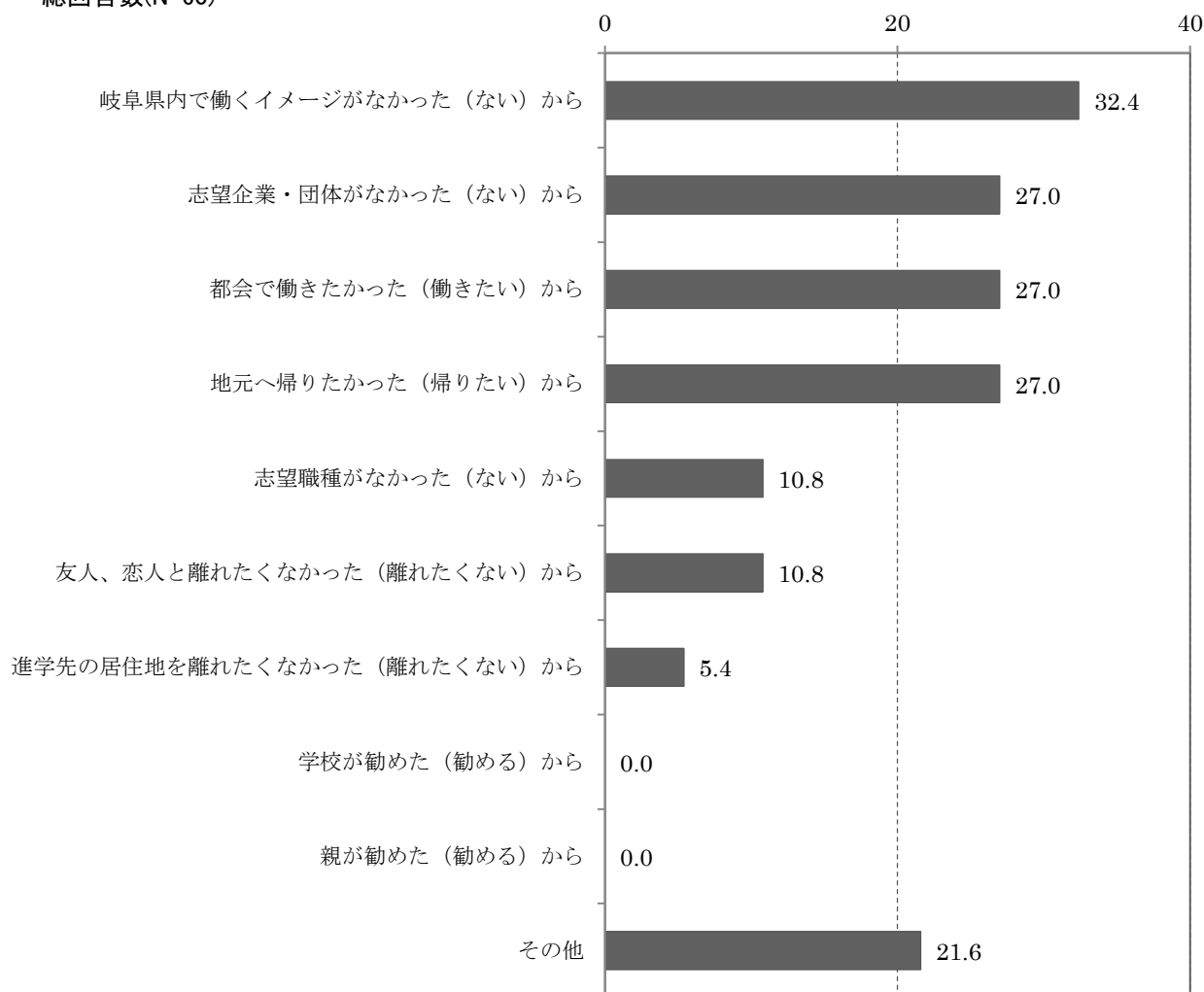
問1-3 「いいえ」を選んだ方にお尋ねします。
あなたが岐阜県内で就職しなかった（したくない）理由は何ですか。
（3つまで）

全体（図1-3-1）で見ると、「岐阜県内で働くイメージがなかった（ない）から」が32.4%と最も高く、次いで「志望企業・団体がなかった（ない）から」「都会で働きたかった（働きたい）から」「地元へ帰りたかった（帰りたいたい）から」が27.0%の順となっている。

図1-3-1 岐阜県内で就職しなかった（したくない）理由

回答者数(n=37)※

総回答数(N=60)



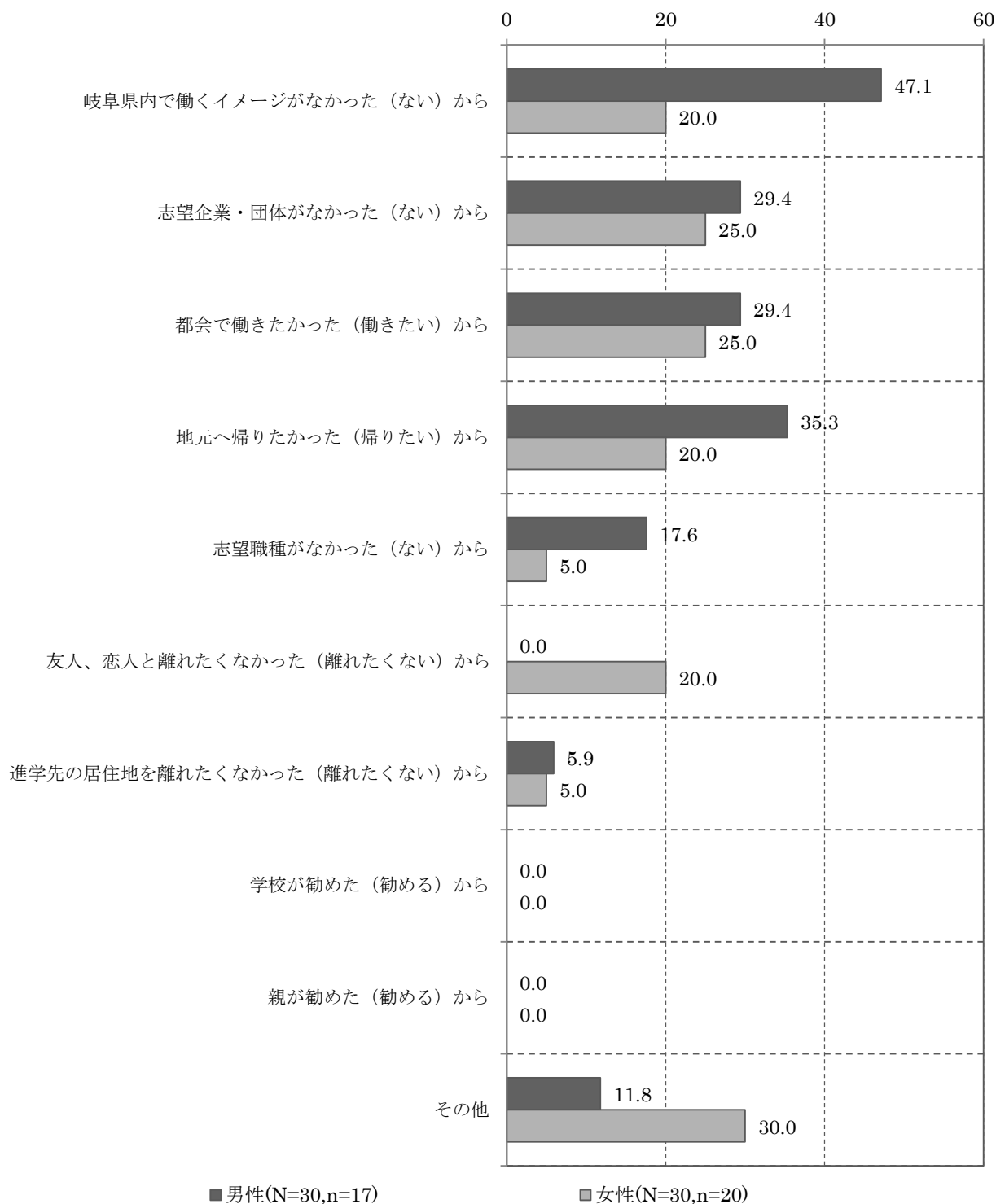
※問1で「いいえ」を選んだ方（37人）のみ

※「その他」の主な内容

- ・暮らしづらいと感じてしまったから。
- ・都会のほうがより高い技術に触れることができると感じたから。
- ・一度岐阜県内で就職したが、結婚に伴い県外に転居したため退職したから。

性別（図 1-3-2）で見ると、男性は「岐阜県内で働くイメージがなかった（ない）から」が 47.1%と最も高くなっている。女性は「その他」を除くと「志望企業・団体がなかった（ない）から」「都会で働きたかった（働きたい）から」が 25.0%と最も高くなっている。

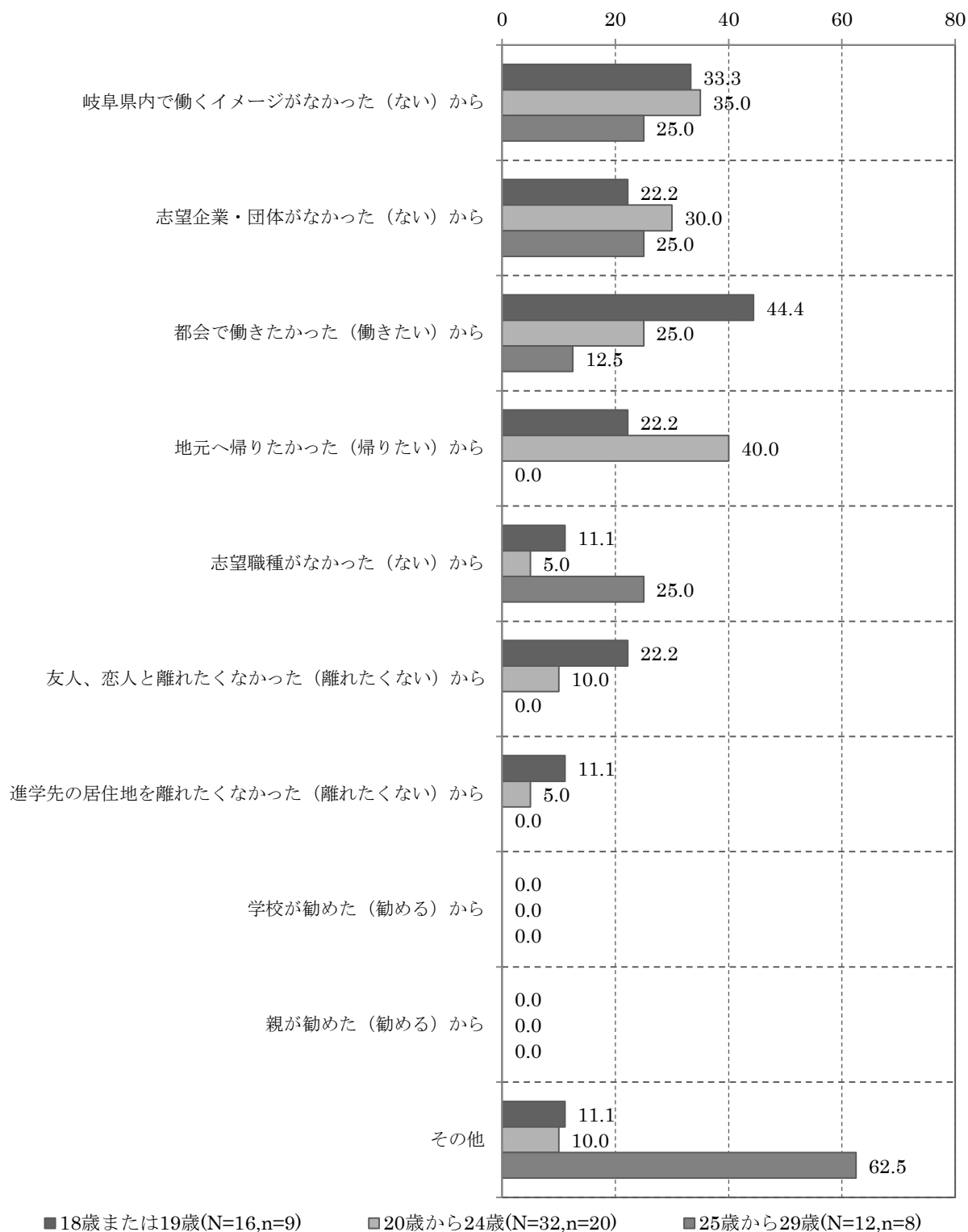
図 1-3-2 【性別】 岐阜県内で就職しなかった（したくない）理由



※ N=総回答数 n=回答者数

年代別（図 1-3-3）で見ると、18 歳または 19 歳が「都会で働きたかった（働きたい）から」が 44.4%と最も高くなっている。20 歳から 24 歳は「地元へ帰りたかった（帰りた）から」が 40.0 %と最も高くなっている。25 歳から 29 歳は「その他」を除くと「岐阜県内で働くイメージがなかった（ない）から」「志望企業・団体がなかった（ない）から」「志望職種がなかった（ない）から」が 25.0%と最も高くなっている。

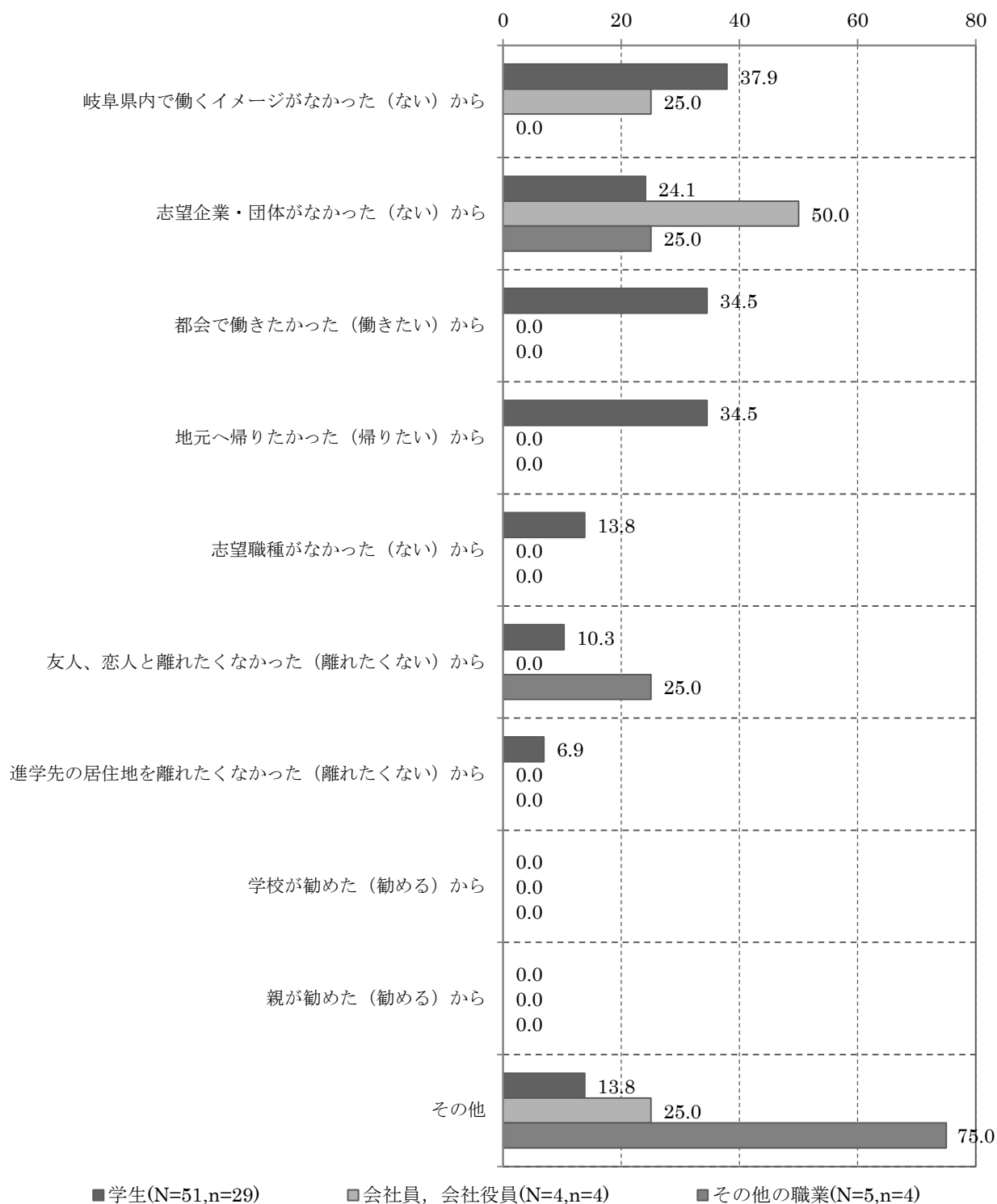
図 1-3-3 【年代別】岐阜県内で就職しなかった（したくない）理由



※ N=総回答数 n=回答者数

職業別（図 1-3-4）で見ると、学生は「岐阜県内で働くイメージがなかった（ない）から」が 37.9%と最も高くなっている。会社員、会社役員は「志望企業・団体がなかった（ない）から」が 50.0%と最も高くなっている。

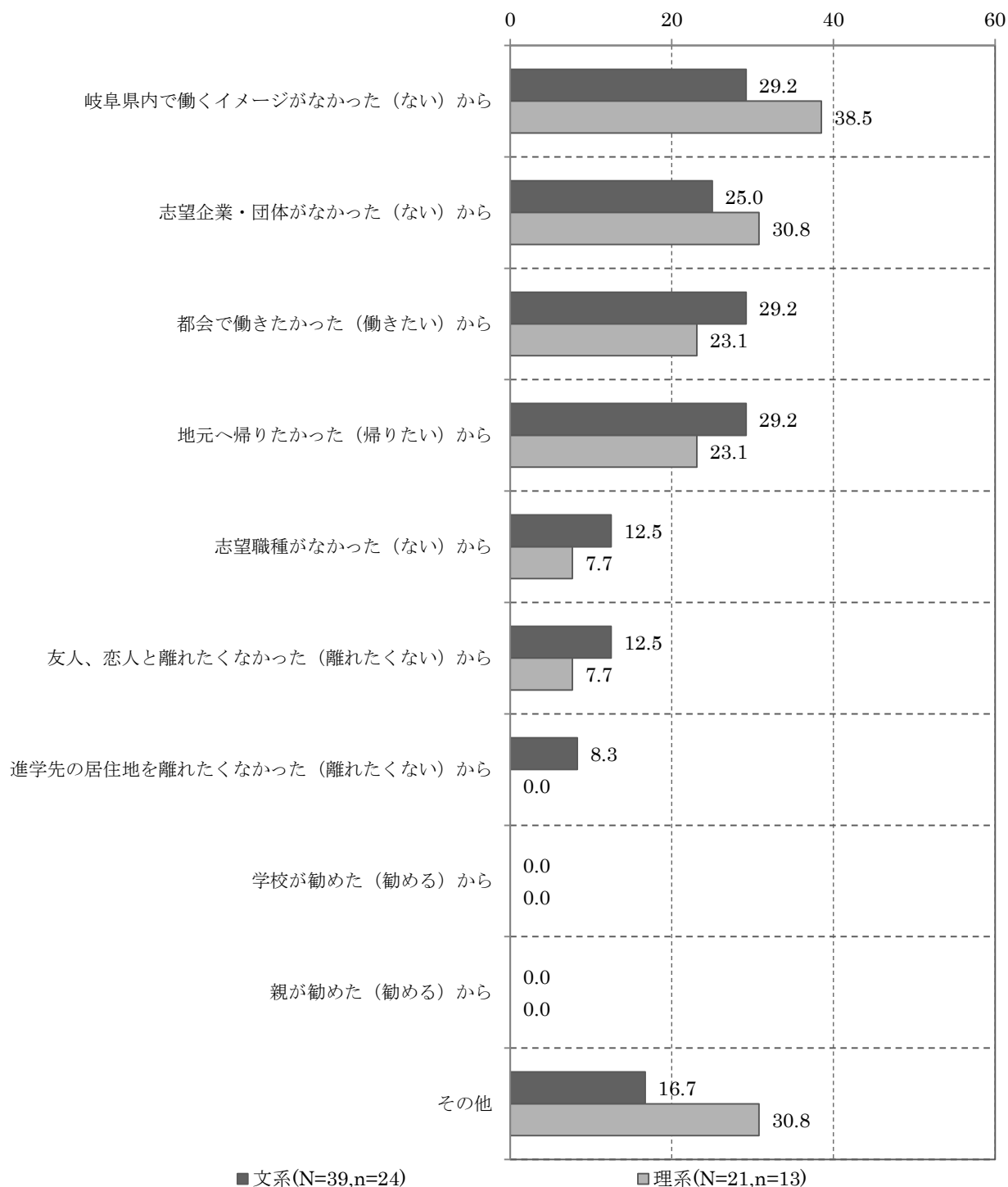
図 1-3-4 【職業別】 岐阜県内で就職しなかった（したくない）理由



※ N=総回答数 n=回答者数

専攻別（図 1-3-5）でみると、文系、理系ともに「岐阜県内で働くイメージがなかった（ない）から」が最も高く、文系は 29.2%、理系は 38.5%となっている。文系は「都会で働きたかった（働きたい）から」「地元へ帰りたい（帰りたい）から」も 29.2%と最も高くなっている。

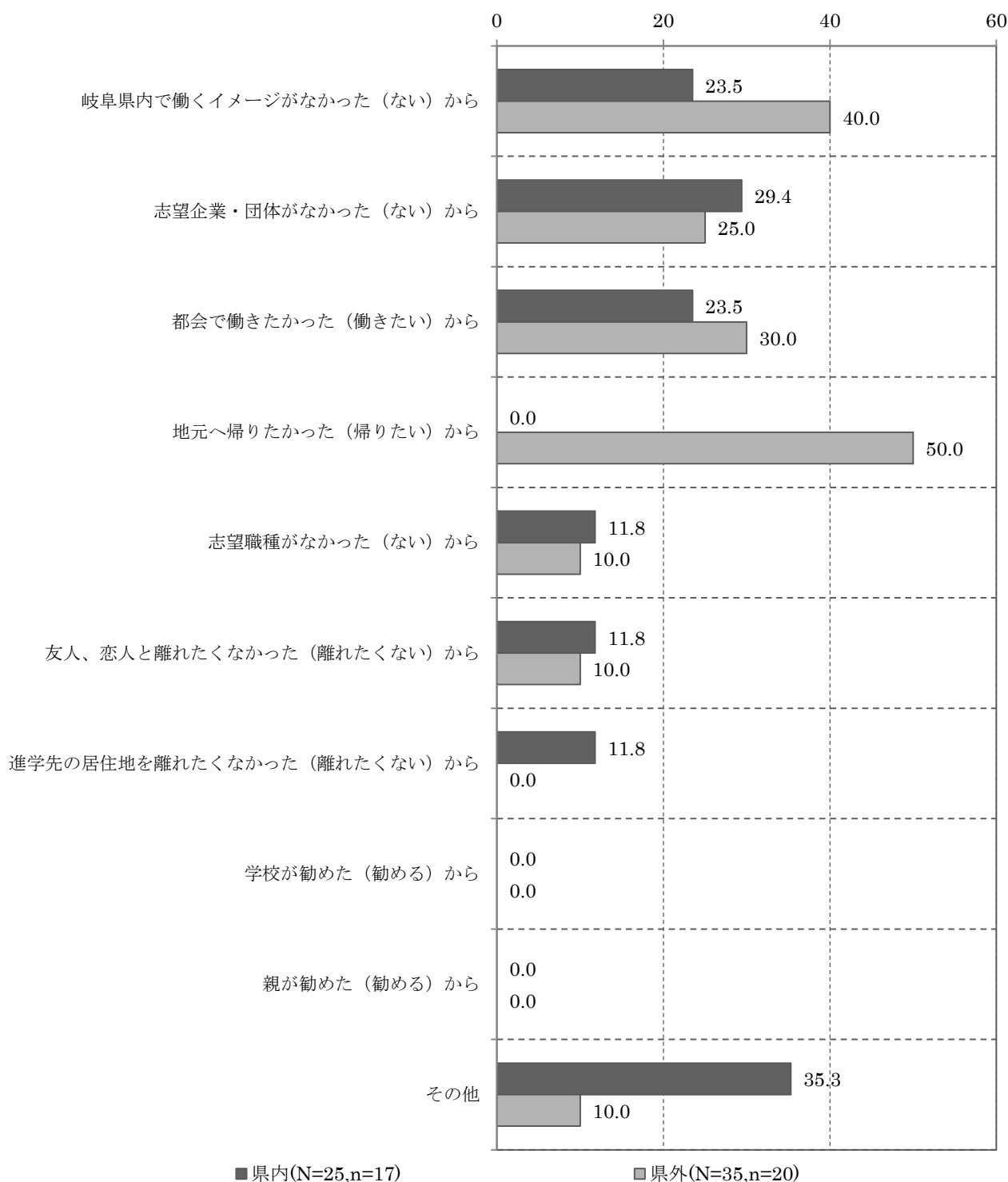
図 1-3-5 【専攻別】 岐阜県内で就職しなかった（したくない）理由



※ N=総回答数 n=回答者数

地元別（図 1-3-7）で見ると、「その他」を除くと、県内は「志望企業・団体がなかった（ない）から」が 29.4%と最も高くなっている。県外は「地元へ帰りたかった（帰りた）から」が 50.0%と最も高くなっている。

図 1-3-7 【地元別】 岐阜県内で就職しなかった（したくない）理由



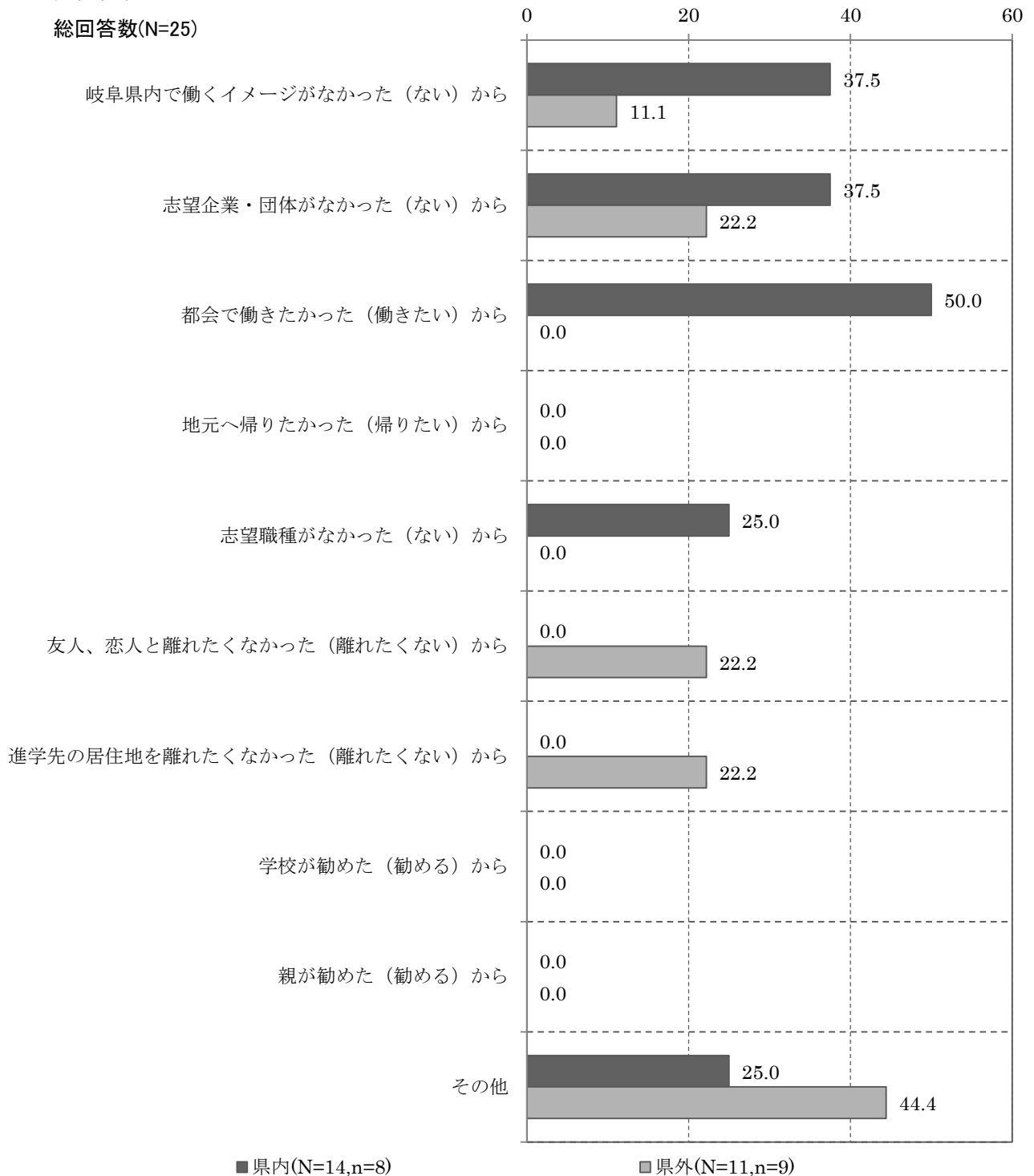
※ N=総回答数 n=回答者数

居住地域別（図 1-3-8）でみると、県内は「都会で働きたかった（働きたい）から」が 50.0%と最も高くなっている。県外は「その他」を除くと、「志望企業・団体がなかった（ない）から」「友人、恋人と離れたくなかった（離れたくない）から」「進学先の居住地を離れたくなかった（離れたくない）から」が 22.2%と最も高くなっている。（回答者は地元が県内の方のみ）

図 1-3-8 【居住地域別】 岐阜県内で就職しなかった(したくない)理由

回答者数(n=17)※

総回答数(N=25)



※ 地元が県内の方の回答

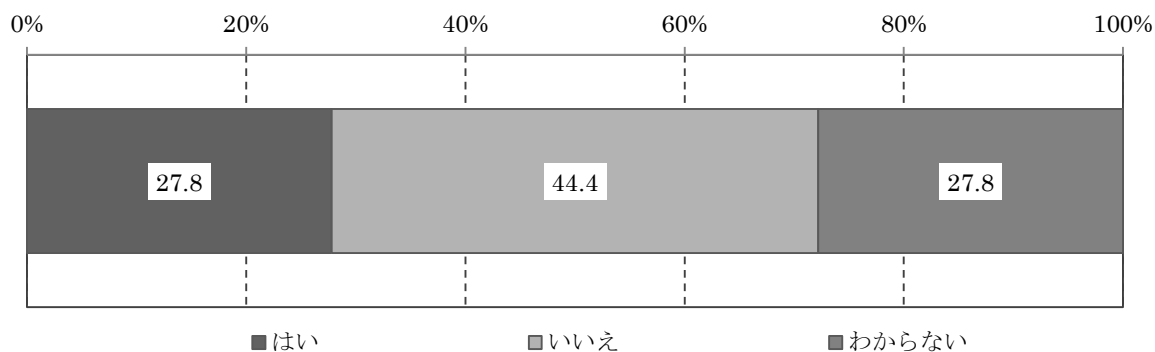
問1-4 将来岐阜県で暮らしたいか

問1-4 「いいえ」を選んだ方にお尋ねします。
あなたは将来岐阜県で暮らしたいですか。
(1つだけ)

全体（図 1-4-1）で見ると、「いいえ」が 44.4%と最も高く、次いで「はい」「わからない」がともに 27.8%となっている。

図 1-4-1 将来岐阜県で暮らしたいか

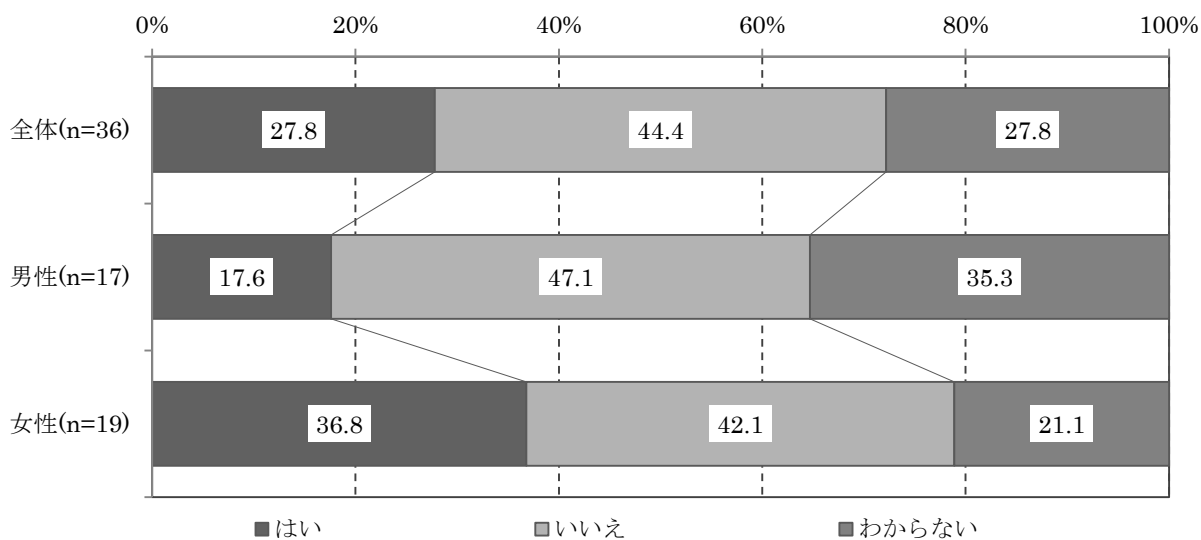
回答者数(n=36)※



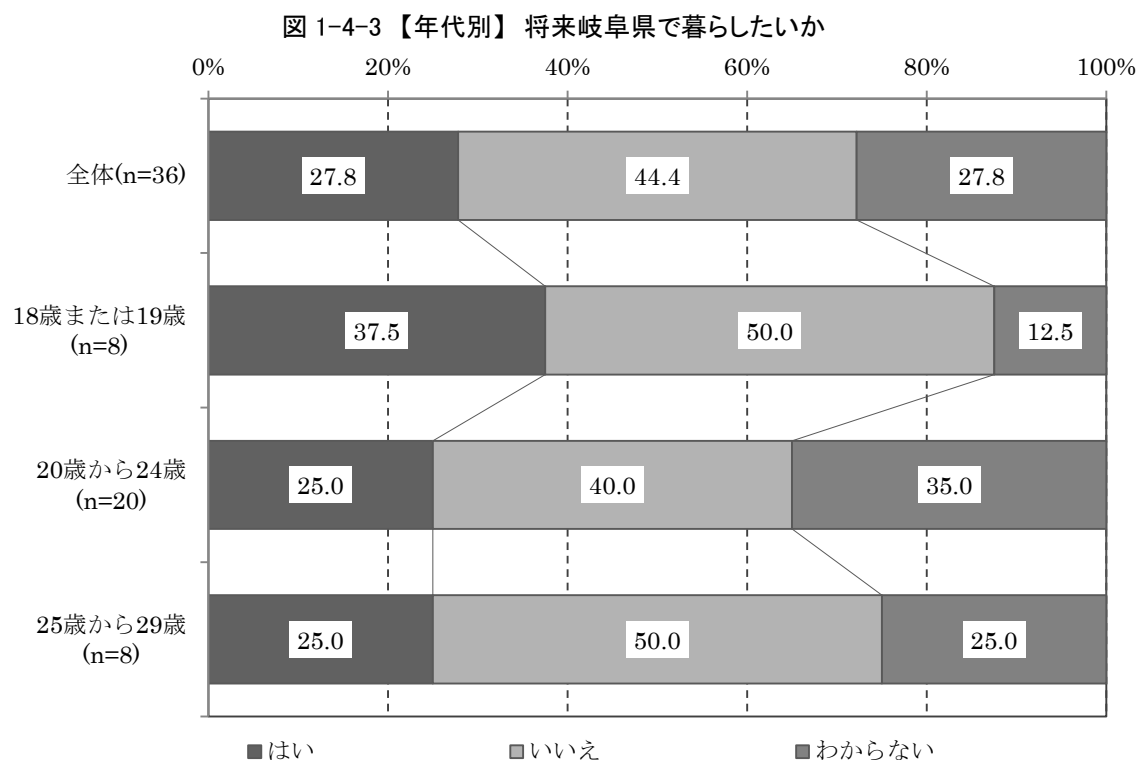
※問1で「いいえ」を選んだ方（37人）のうち、無回答者がいるため回答者数は36人

性別（図 1-4-2）で見ると、男女ともに「いいえ」が最も高く、そのうち男性は 47.1%と最も高くなっている。

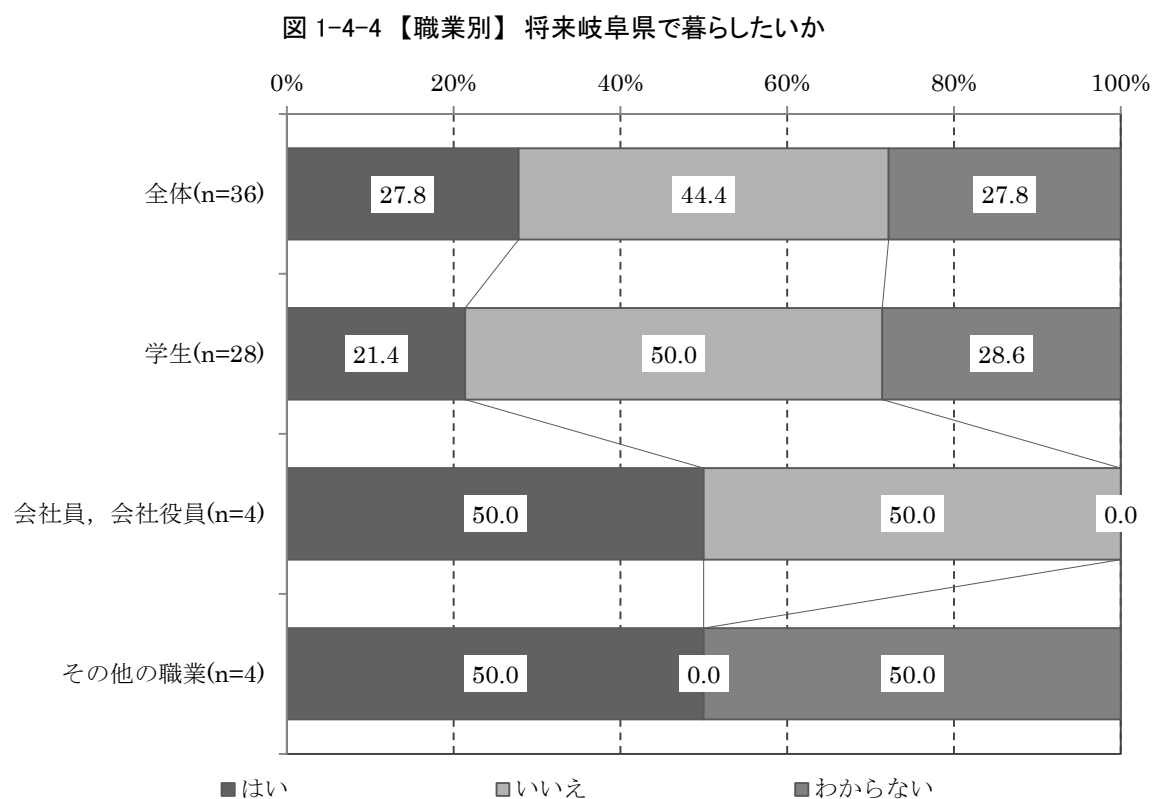
図 1-4-2 【性別】 将来岐阜県で暮らしたいか



年代別（図 1-4-3）で見ると、いずれの年代においても「いいえ」が最も高く、そのうち 18 歳または 19 歳と 25 歳から 29 歳はともに 50.0%と最も高くなっている。

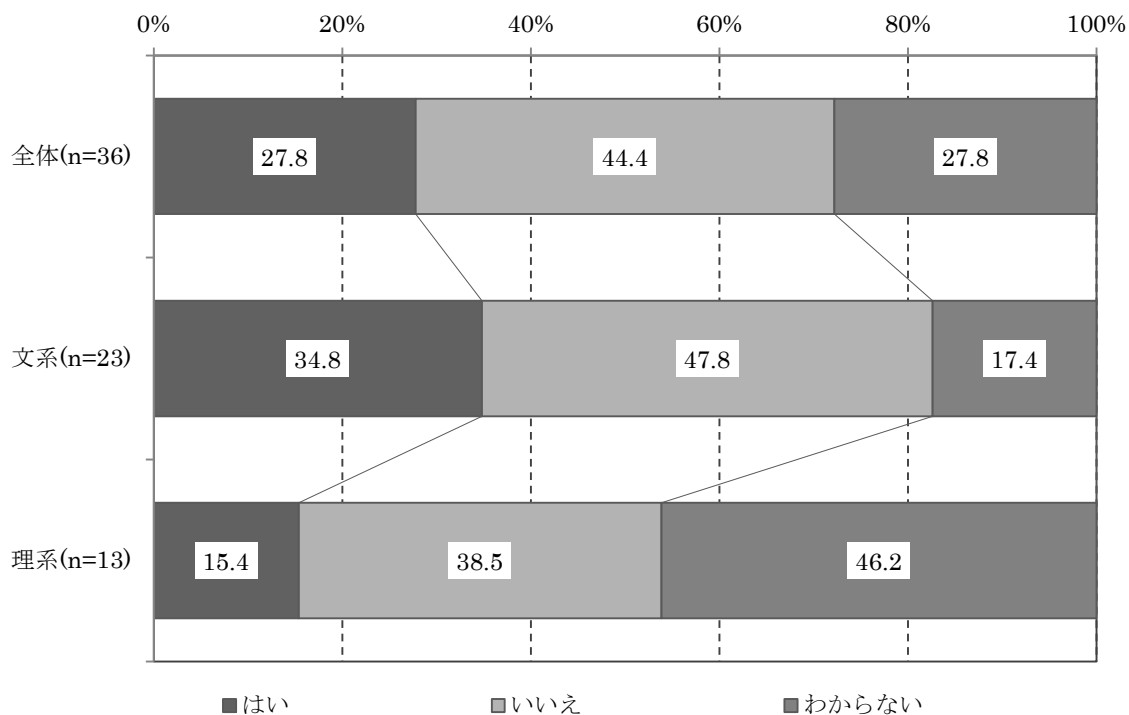


職業別（図 1-4-4）で見ると、学生は「いいえ」が 50.0%と最も高くなっている。会社員, 会社役員は「はい」「いいえ」がともに 50.0%と最も高くなっている。その他の職業は「はい」「わからない」がともに 50.0%と最も高くなっている。



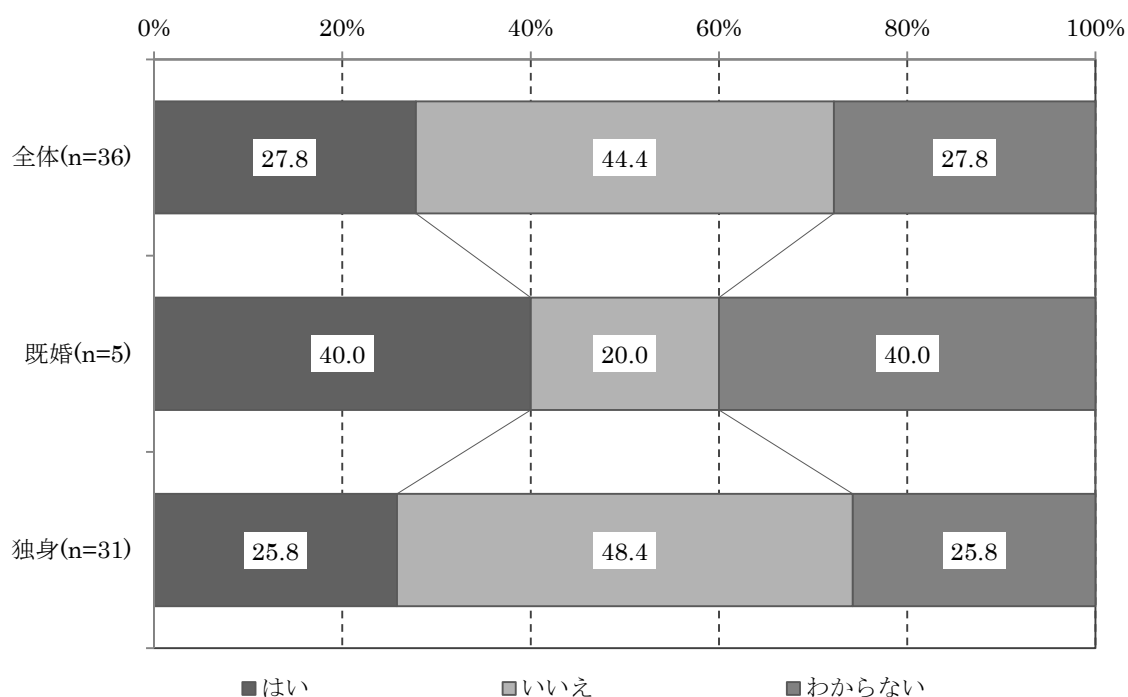
専攻別（図 1-4-5）で見ると、文系は「いいえ」が 47.8%と最も高くなっている。理系は「わからない」が 46.2%と最も高くなっている。

図 1-4-5 【専攻別】 将来岐阜県で暮らしたいか



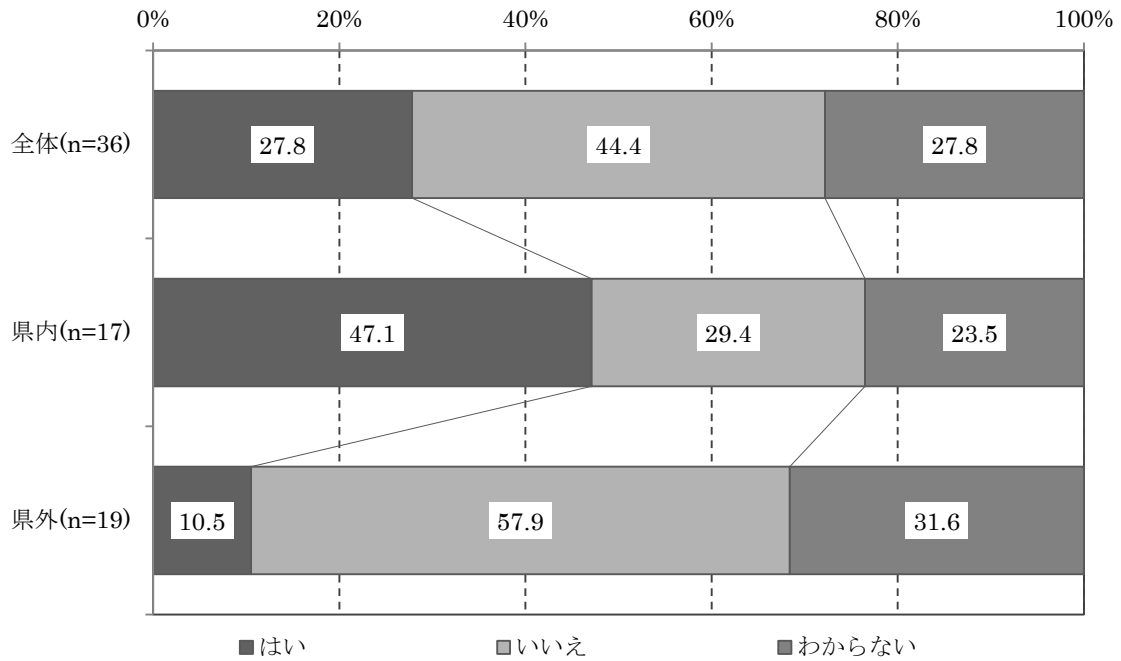
婚姻の状況別（図 1-4-6）で見ると、既婚は「はい」「わからない」が 40.0%と最も高くなっている。独身は「いいえ」が 48.4%と最も高くなっている。

図 1-4-6 【婚姻の状況別】 将来岐阜県で暮らしたいか



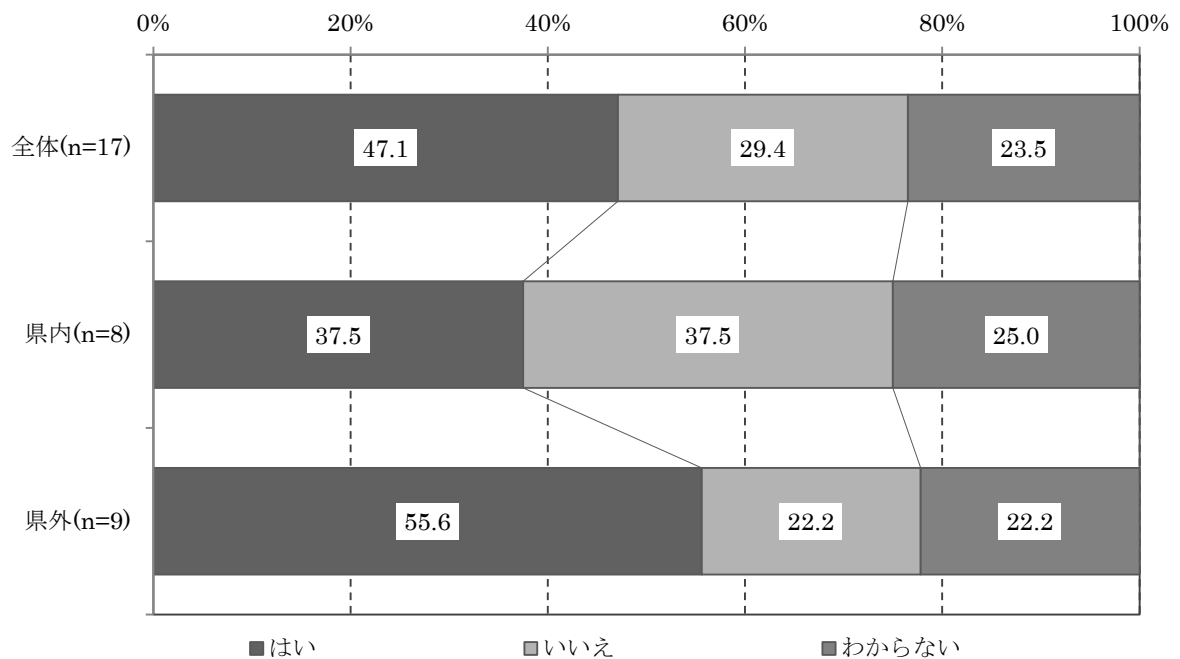
地元別（図 1-4-7）で見ると、県内は「はい」が 47.1%と最も高くなっている。県外は「いいえ」が 57.9%と最も高くなっている。

図 1-4-7 【地元別】 将来岐阜県で暮らしたいか



居住地域別（図 1-4-8）で見ると、県内、県外ともに「はい」が最も高く、そのうち県外は 55.6%と最も高くなっている。県内は「いいえ」も 37.5%と最も高くなっている。（回答者は地元が県内の方のみ）

図 1-4-8 【居住地域別】 将来岐阜県で暮らしたいか



※ 地元が県内の方の回答

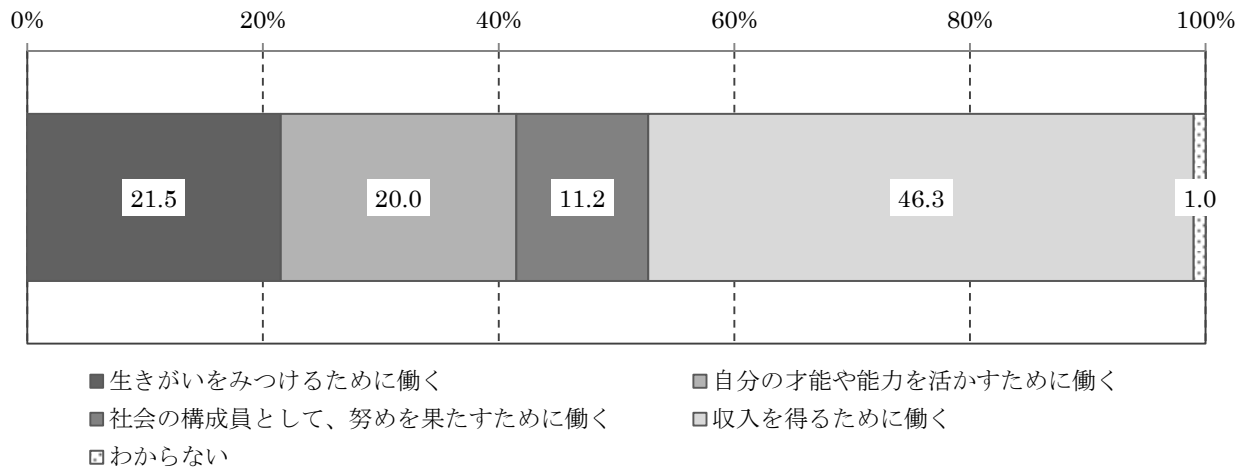
問2 働く（働きたい）目的

問2 あなたが働く（働きたい）目的は何ですか。
（1つだけ）

全体（図 2-1）で見ると、「収入を得るために働く」が46.3%と最も高く、次いで「生きがいをみつけるために働く」が21.5%、「自分の才能や能力を活かすために働く」が20.0%の順となっている。

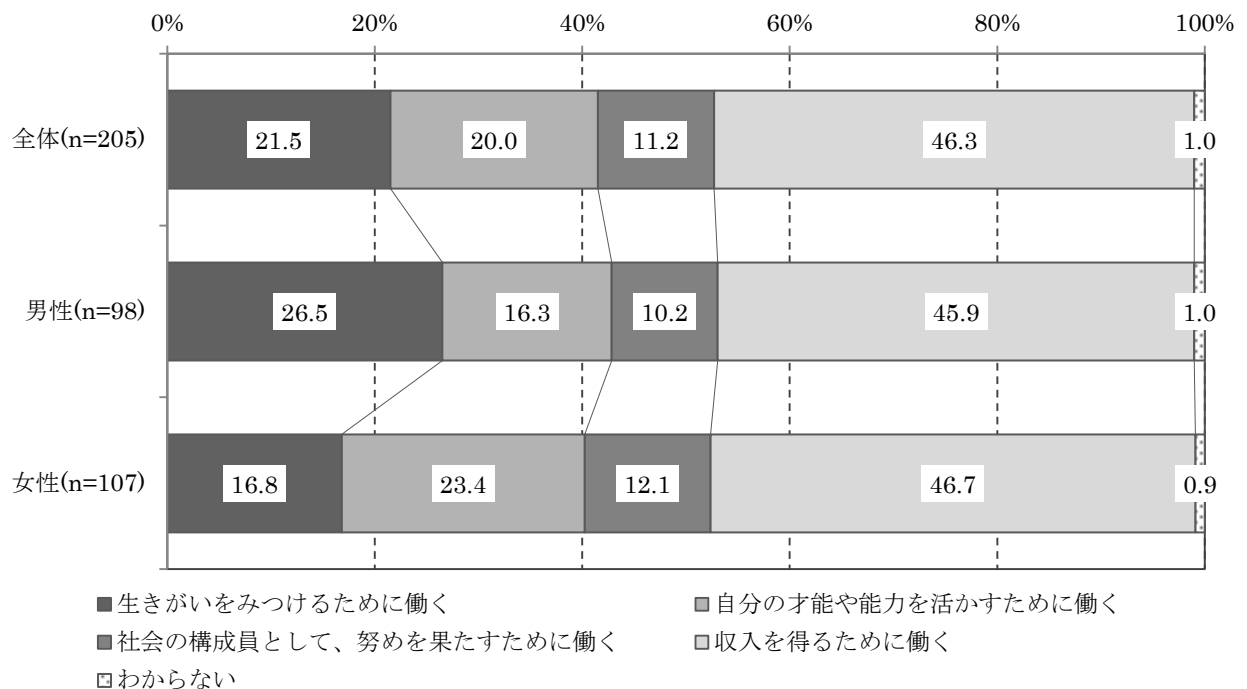
図 2-1 働く(働きたい)目的

回答者数(n=205)



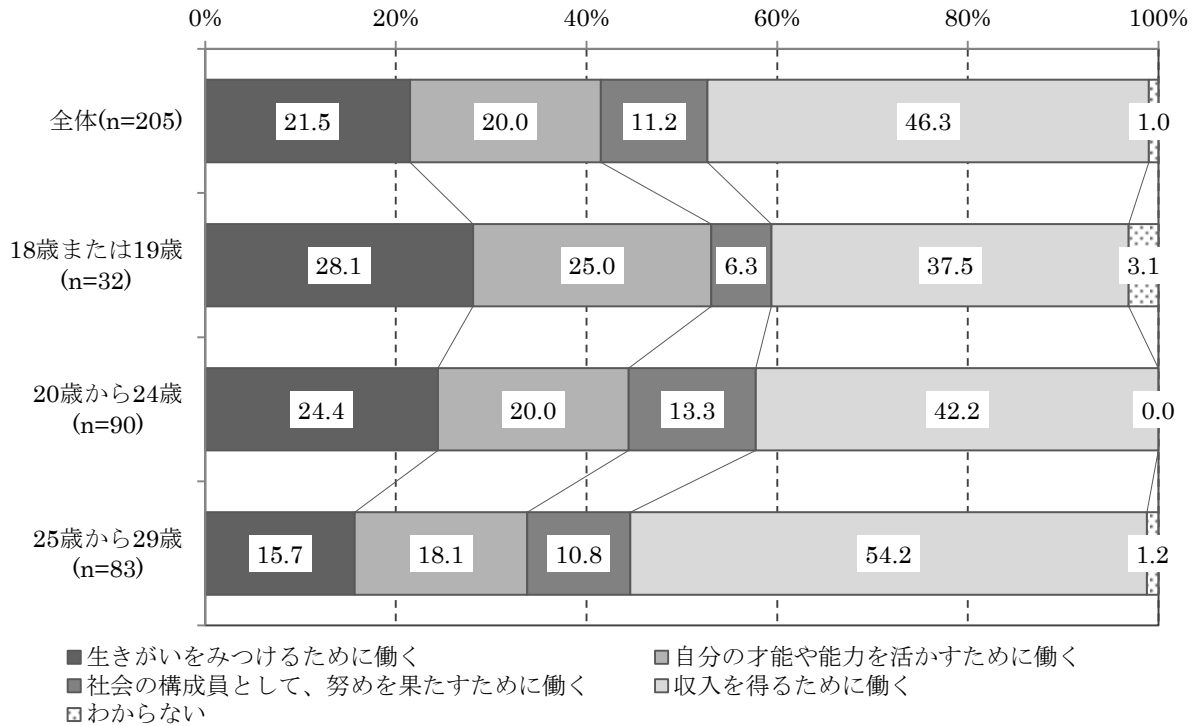
性別（図 2-2）で見ると、男女ともに「収入を得るために働く」が最も高く、そのうち女性は46.7%と最も高くなっている。

図 2-2 【性別】 働く(働きたい)目的



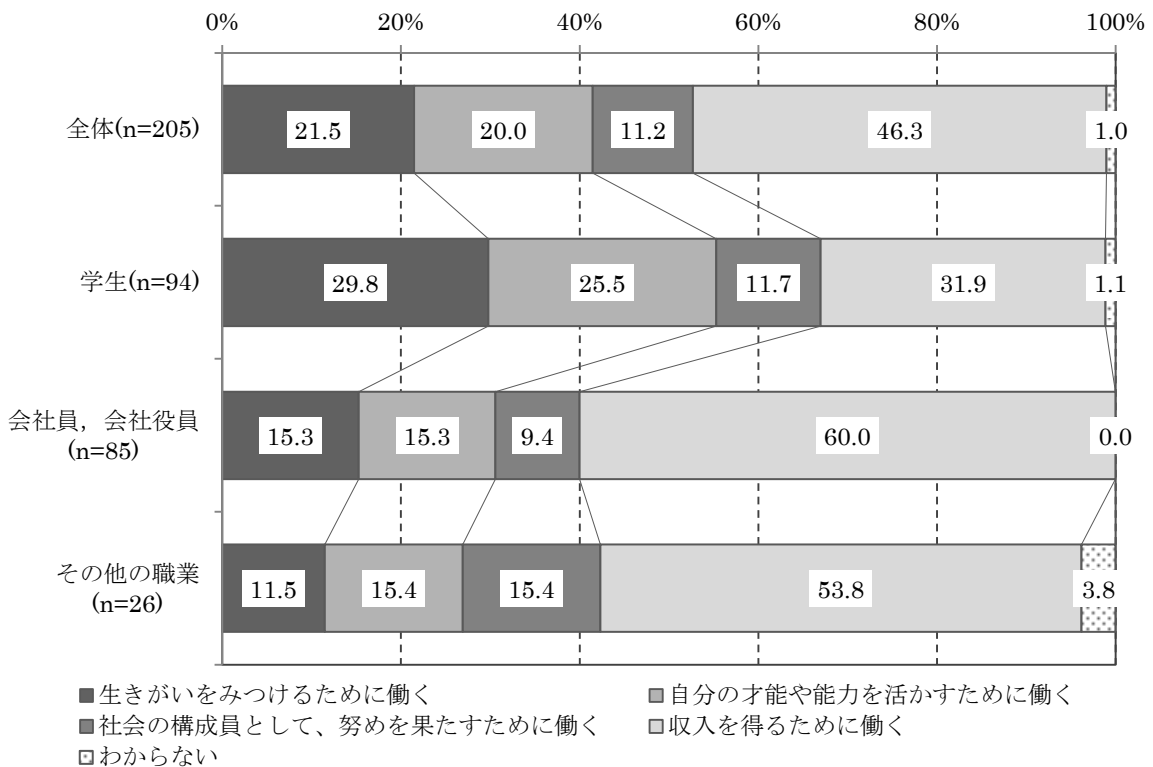
年代別（図 2-3）で見ると、いずれの年代においても「収入を得るために働く」が最も高く、そのうち 25 歳から 29 歳は 54.2%と最も高くなっている。

図 2-3 【年代別】働く(働きたい)目的



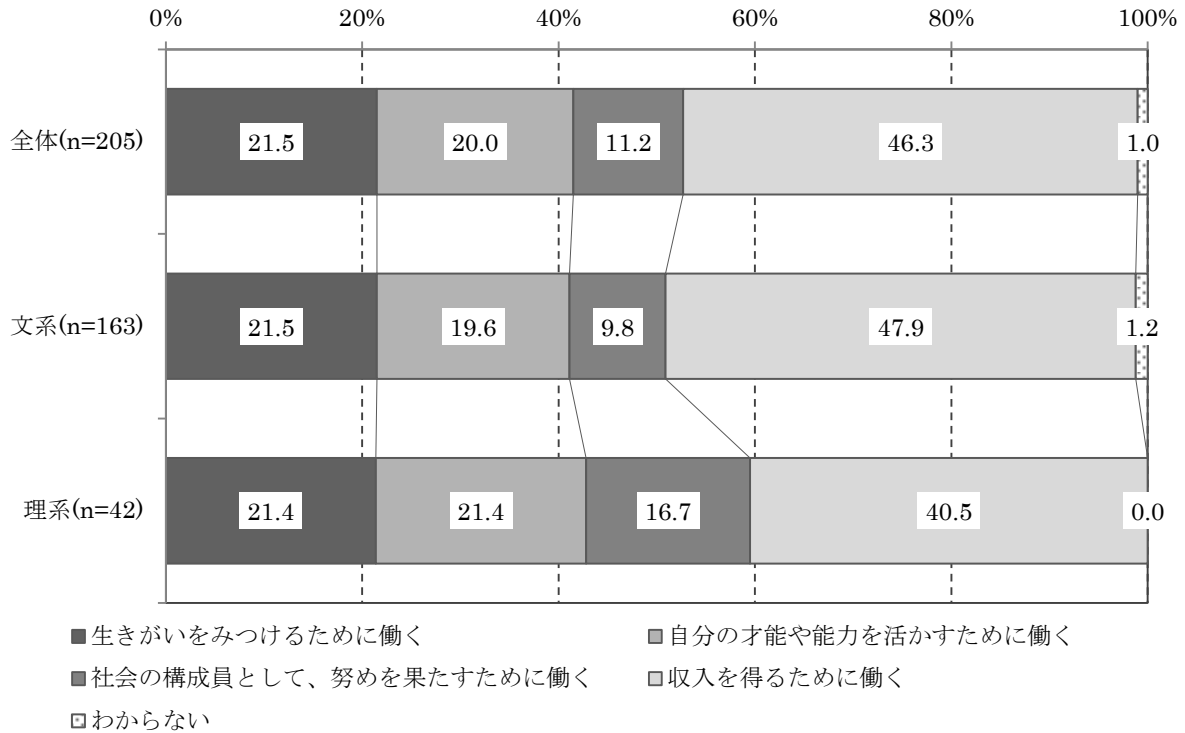
職業別（図 2-4）で見ると、いずれの職業においても「収入を得るために働く」が最も高く、そのうち会社員, 会社役員は 60.0%と最も高くなっている。

図 2-4 【職業別】働く(働きたい)目的



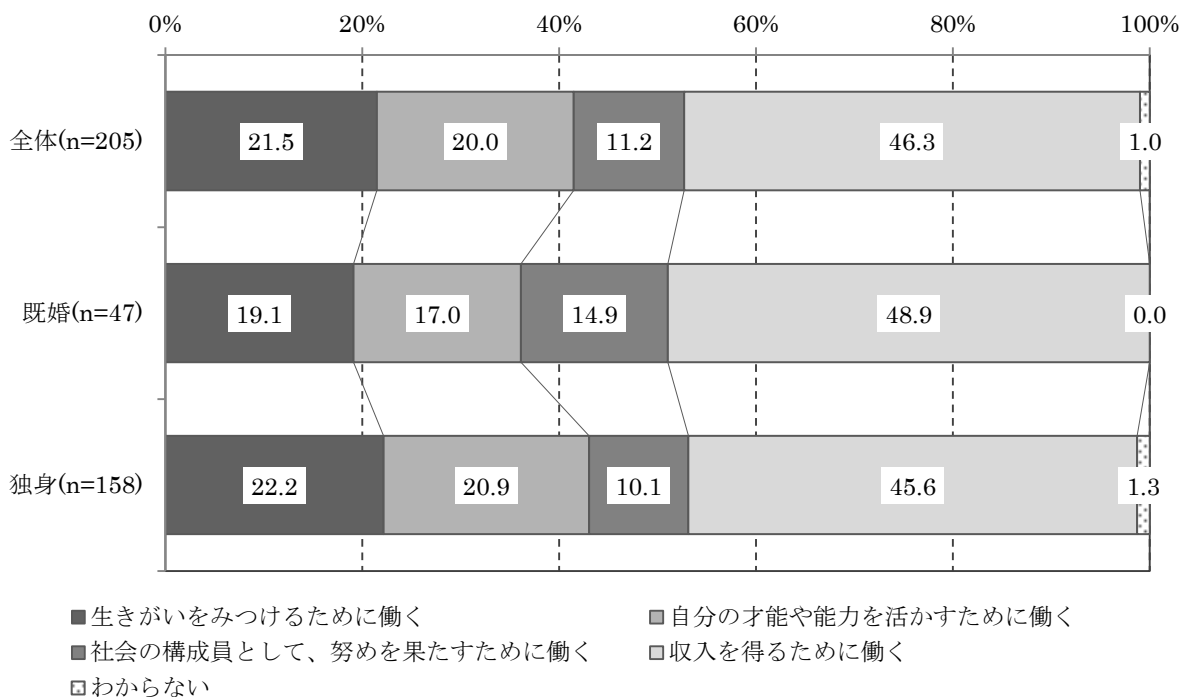
専攻別（図 2-5）で見ると、文系、理系ともに「収入を得るために働く」が最も高く、そのうち文系は 47.9%と最も高くなっている。

図 2-5 【専攻別】働く(働きたい)目的



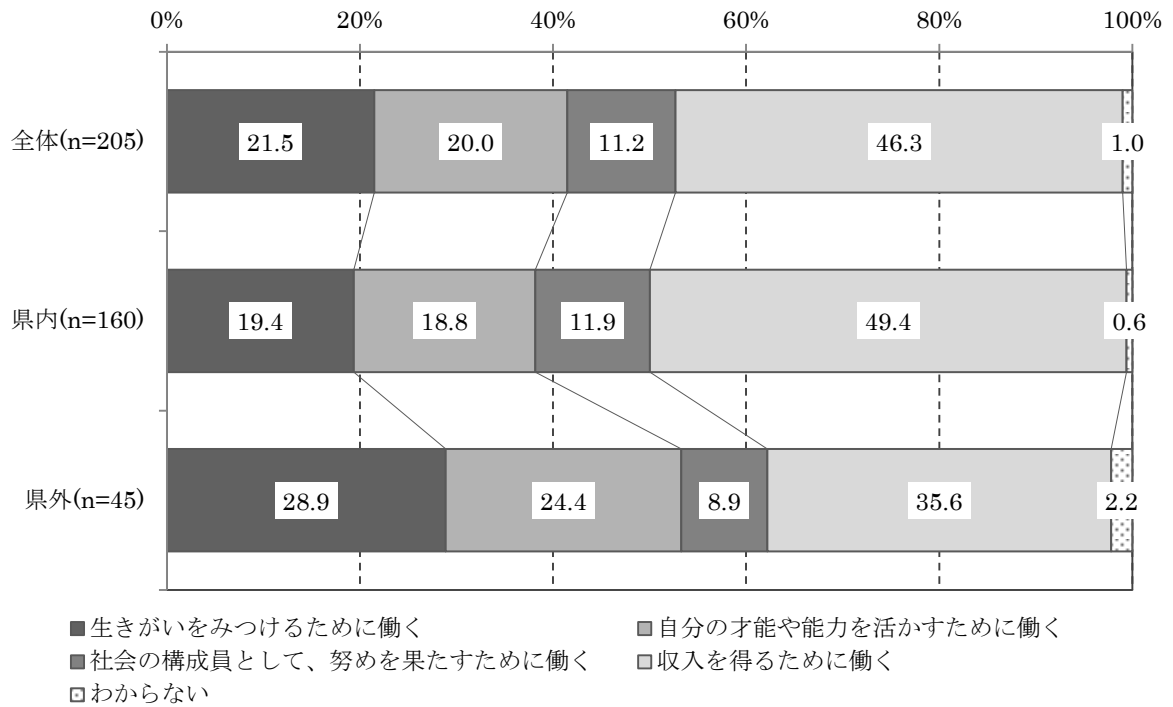
婚姻の状況別（図 2-6）で見ると、既婚、独身ともに「収入を得るために働く」が最も高く、そのうち既婚は 48.9%と最も高くなっている。

図 2-6 【婚姻の状況別】働く(働きたい)目的



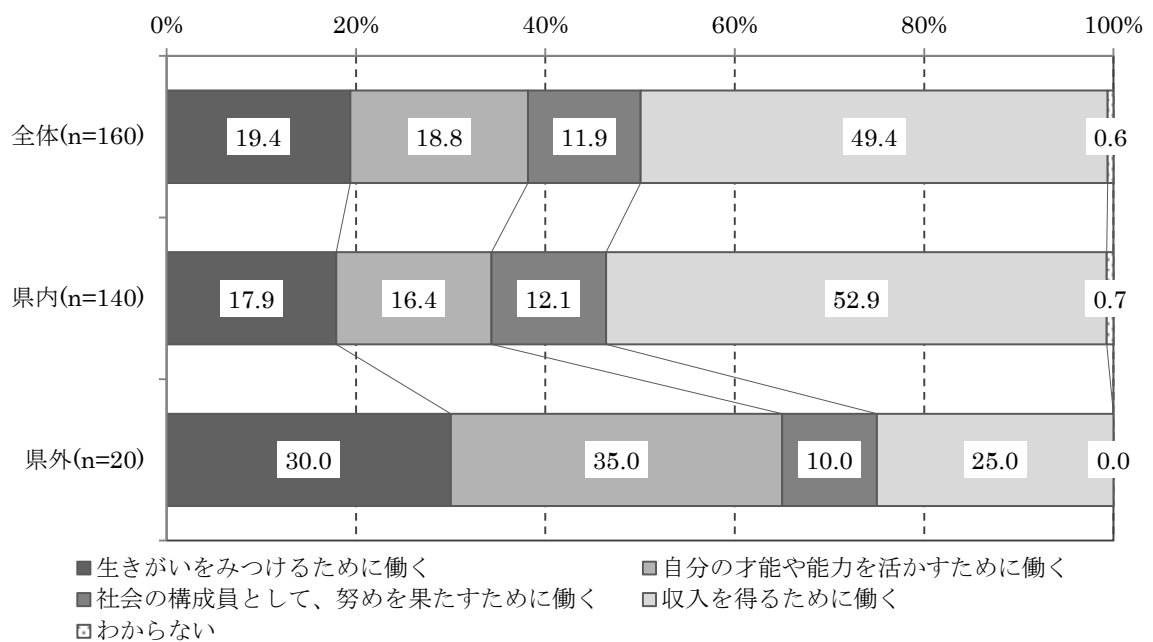
地元別（図 2-7）で見ると、県内、県外ともに「収入を得るために働く」が最も高く、そのうち県内は 49.4%と最も高くなっている。

図 2-7 【地元別】働く(働きたい)目的



居住地域別（図 2-8）で見ると、県内は「収入を得るために働く」が 52.9%最も高くなっている。県外は「自分の才能や能力を活かすために働く」が 35.0%と最も高くなっている。（回答者は地元が県内の方のみ）

図 2-8 【居住地域別】働く(働きたい)目的



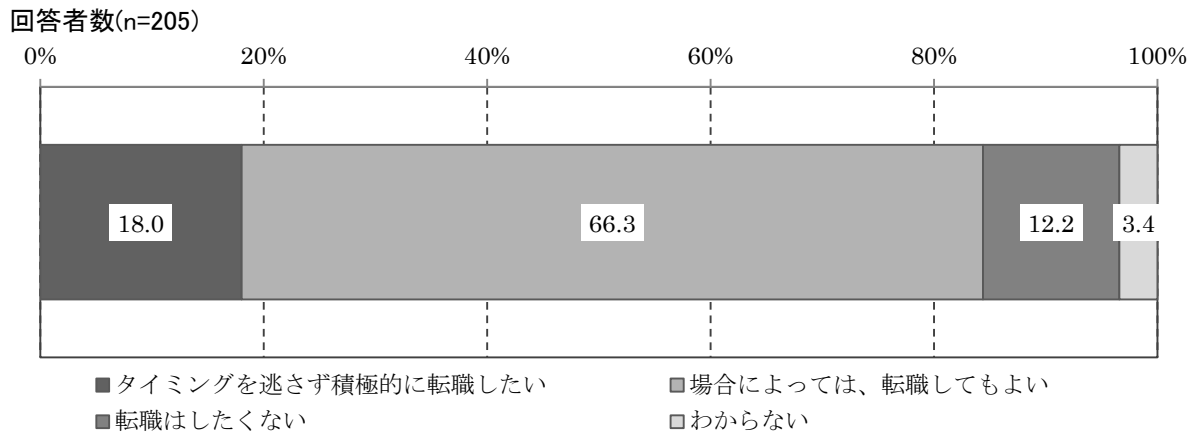
※ 地元が県内の方の回答

問2-2 「転職」へのイメージ

問2-2 あなたの「転職」へのイメージはいかがですか。
(1つだけ)

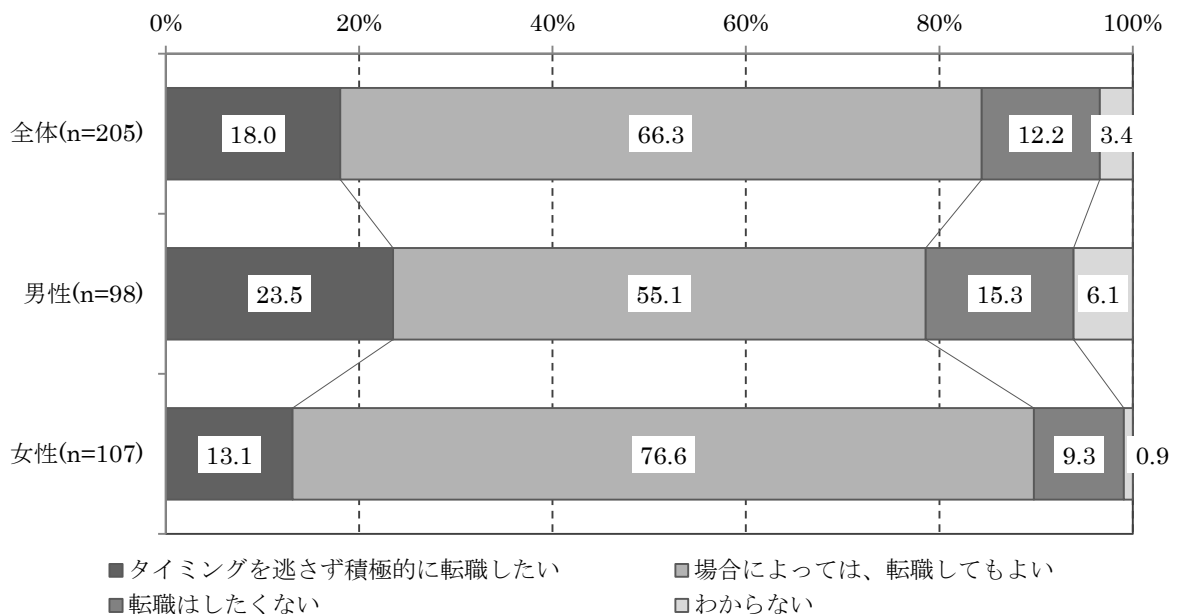
全体（図 2-2-1）で見ると、「場合によっては、転職してもよい」が 66.3%と最も高く、次いで「タイミングを逃さず積極的に転職したい」が 18.0%、「転職はしたくない」が 12.2%の順となっている。

図 2-2-1 「転職」へのイメージ



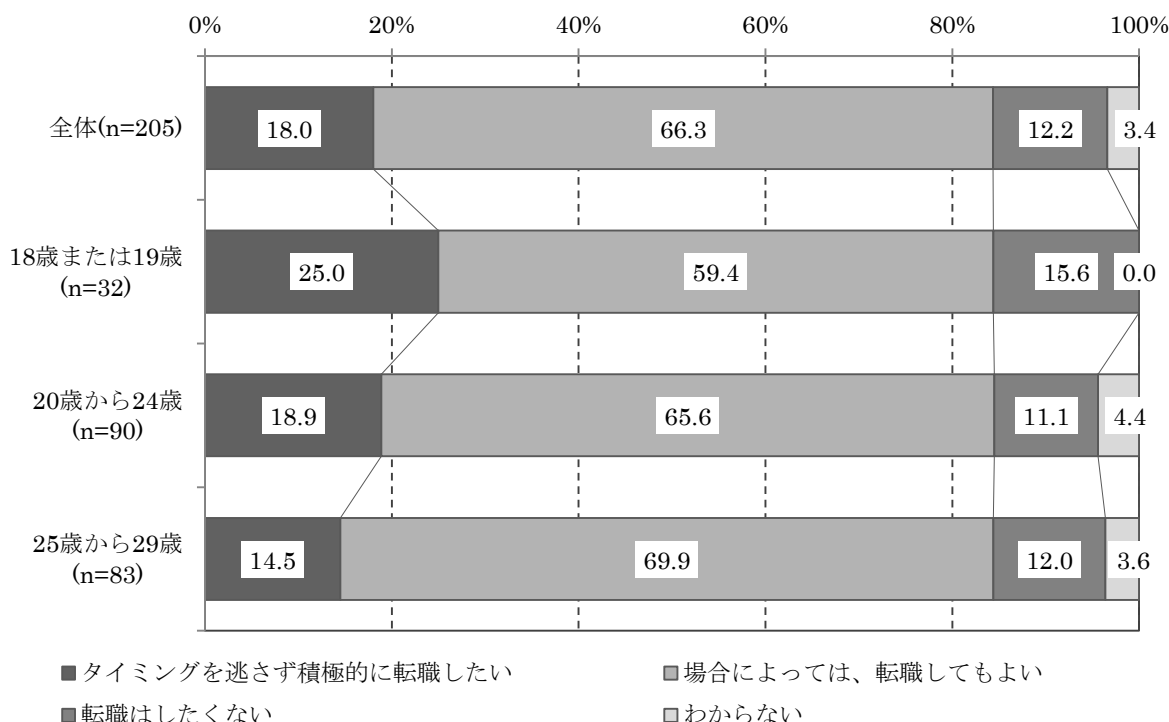
性別（図 2-2-2）で見ると、男女ともに「場合によっては、転職してもよい」が最も高く、そのうち女性は 76.6%と最も高くなっている。

図 2-2-2 【性別】「転職」へのイメージ



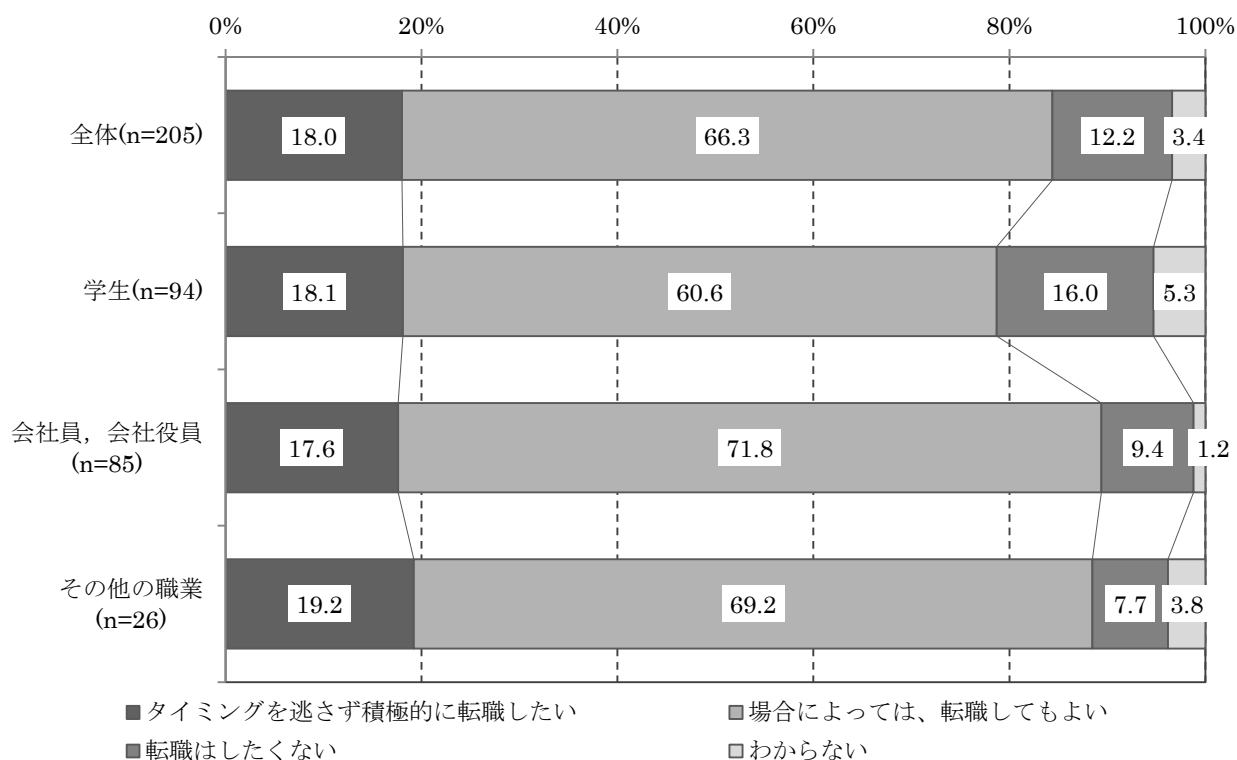
年代別（図 2-2-3）で見ると、いずれの年代においても「場合によっては、転職してもよい」が最も高く、そのうち 25 歳から 29 歳は 69.9% と最も高くなっている。

図 2-2-3 【年代別】「転職」へのイメージ



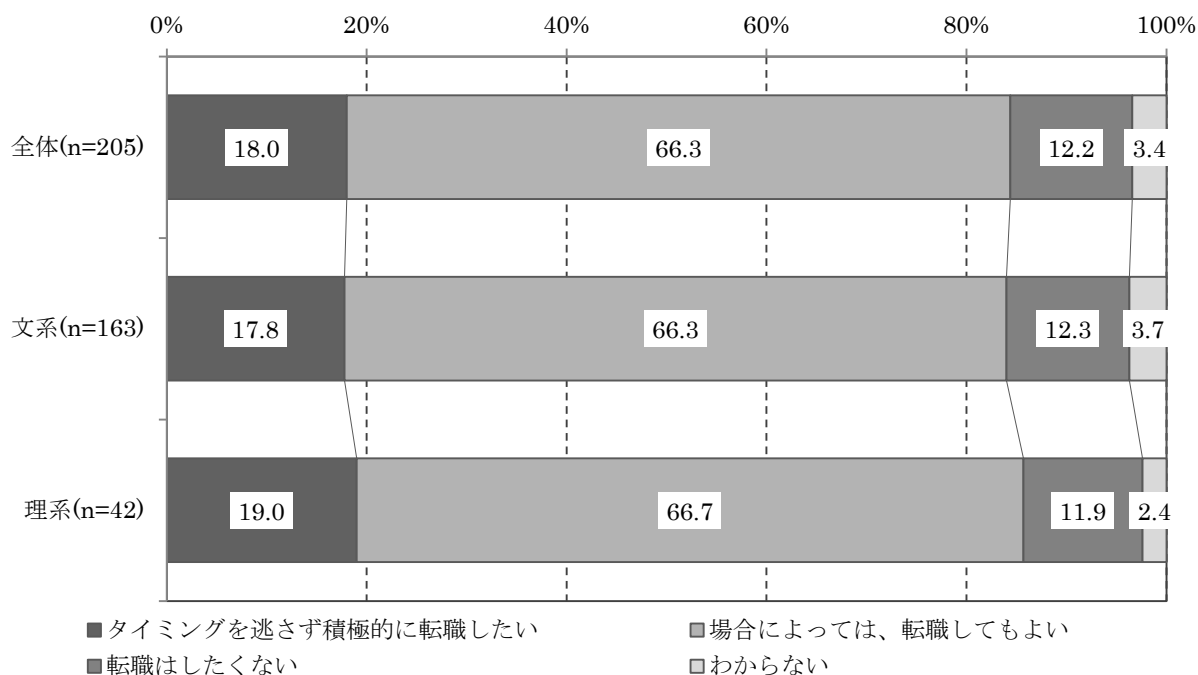
職業別（図 2-2-4）で見ると、いずれの職業においても「場合によっては、転職してもよい」が最も高く、そのうち会社員、会社役員は 71.8% と最も高くなっている。

図 2-2-4 【職業別】「転職」へのイメージ



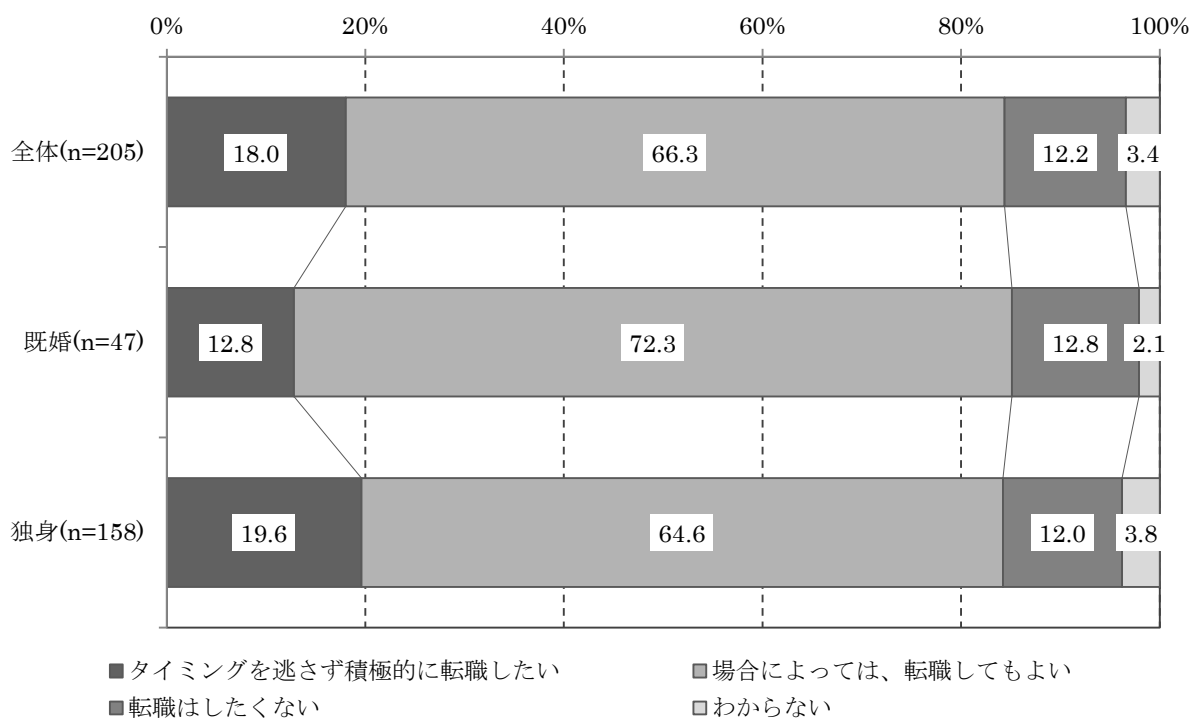
専攻別（図 2-2-5）で見ると、文系、理系ともに「場合によっては、転職してもよい」が最も高く、そのうち理系は 66.7%と最も高くなっている。

図 2-2-5 【専攻別】「転職」へのイメージ



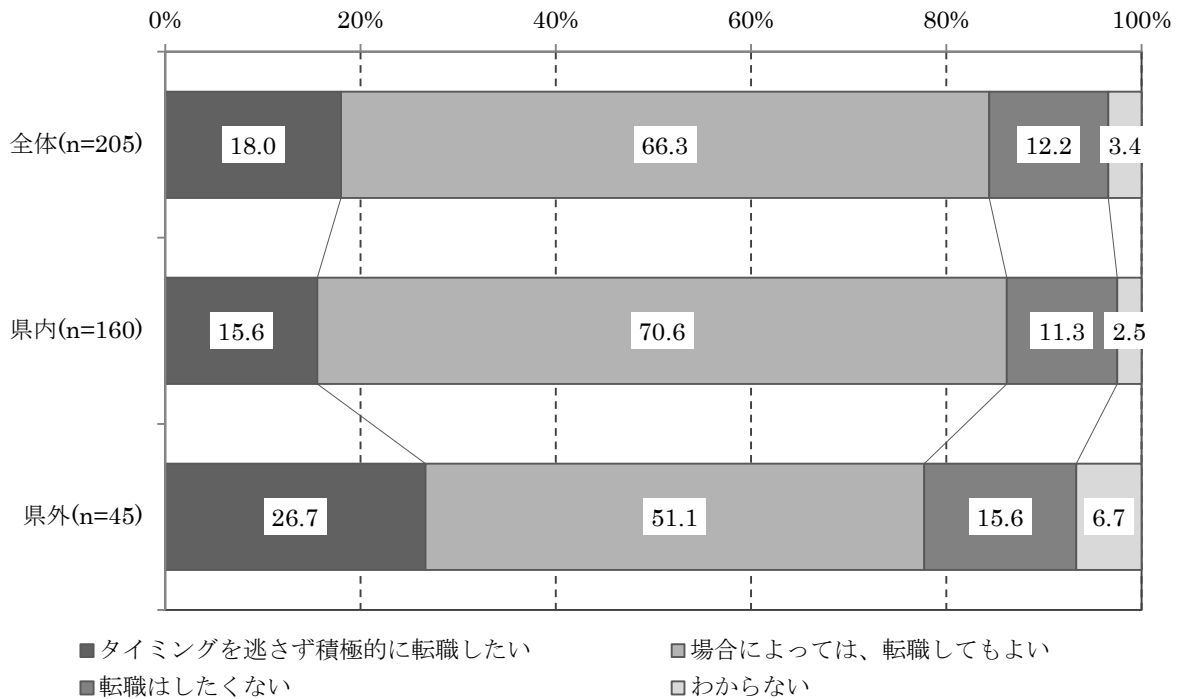
婚姻の状況別（図 2-2-6）で見ると、既婚、独身ともに「場合によっては、転職してもよい」が最も高く、そのうち既婚は 72.3%と最も高くなっている。

図 2-2-6 【婚姻の状況別】「転職」へのイメージ



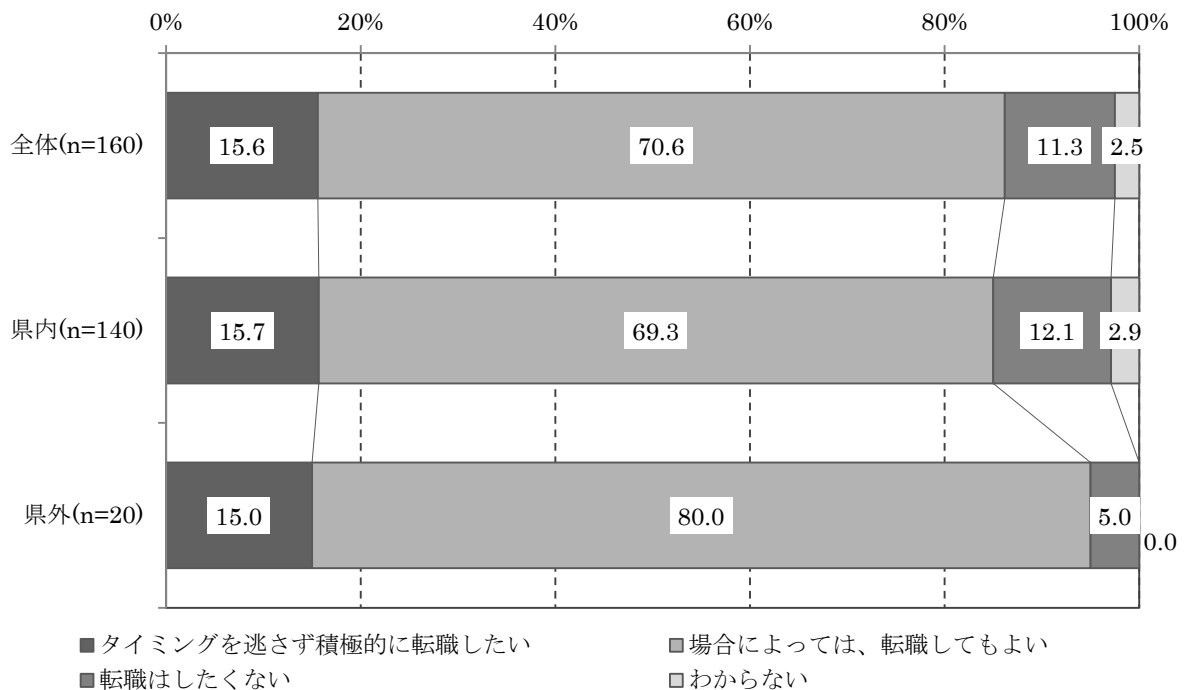
地元別（図 2-2-7）で見ると、県内、県外ともに「場合によっては、転職してもよい」が最も高く、そのうち県内は70.6%と最も高くなっている。

図 2-2-7 【地元別】「転職」へのイメージ



居住地域別（図 2-2-8）で見ると、県内、県外ともに「場合によっては、転職してもよい」が最も高く、そのうち県外は80.0%と最も高くなっている。（回答者は地元が県内の方のみ）

図 2-2-8 【居住地域別】「転職」へのイメージ



※ 地元が県内の方の回答

問3 就職先企業・団体の選択時に重視した(する)こと

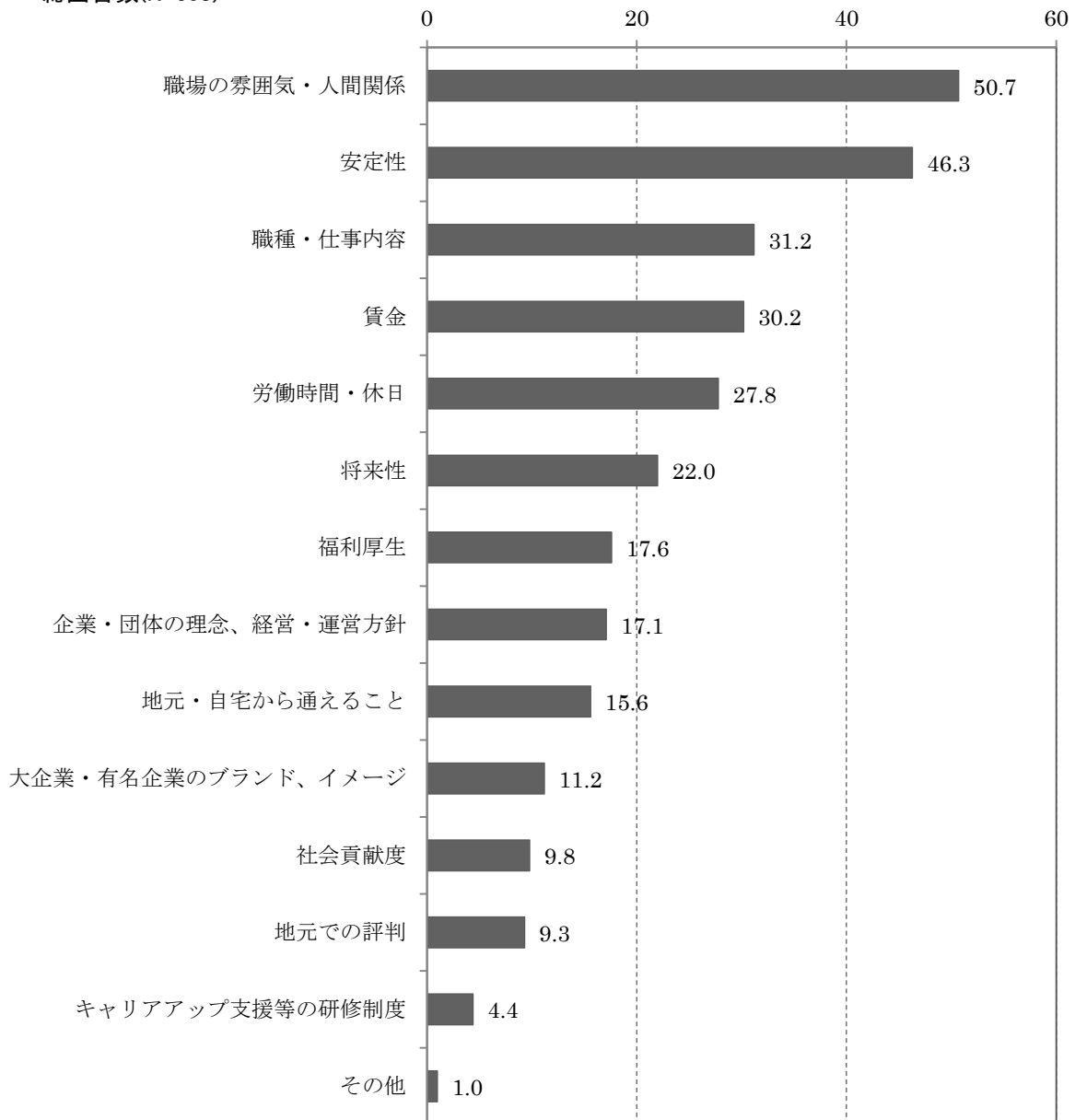
問3 あなたが就職先企業・団体の選択時に重視した(する)ことは何ですか。
(3つまで)

全体(図3-1)で見ると、「職場の雰囲気・人間関係」が50.7%と最も高く、次いで「安定性」が46.3%、「職種・仕事内容」が31.2%の順となっている。

図3-1 就職先企業・団体の選択時に重視した(する)こと

回答者数(n=205)

総回答数(N=603)

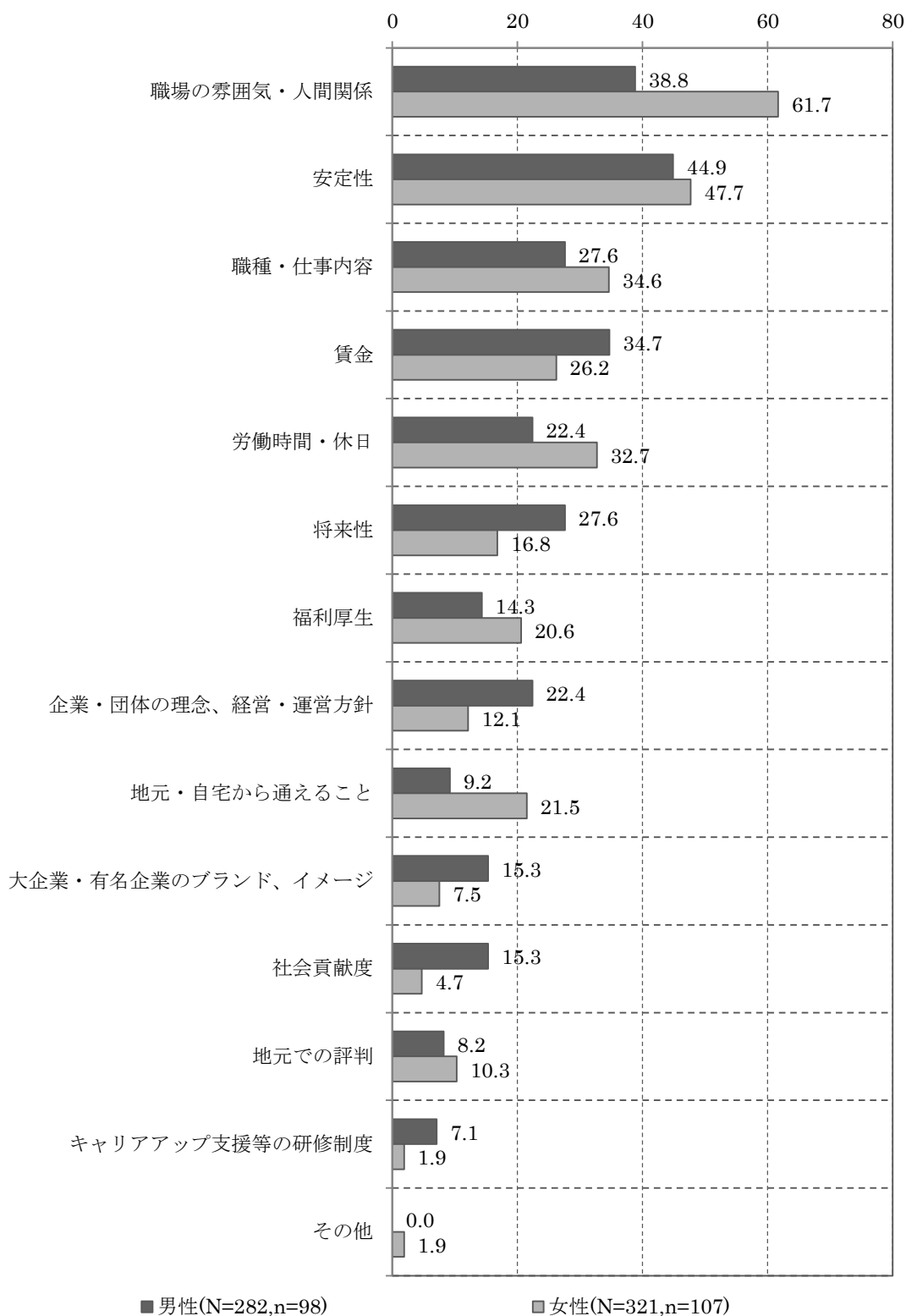


※「その他」の主な内容

- ・自分のやりたい仕事ができるかどうか。

性別（図 3-2）で見ると、男性は「安定性」が 44.9%と最も高くなっている。女性は「職場の雰囲気・人間関係」が 61.7%と最も高くなっている。

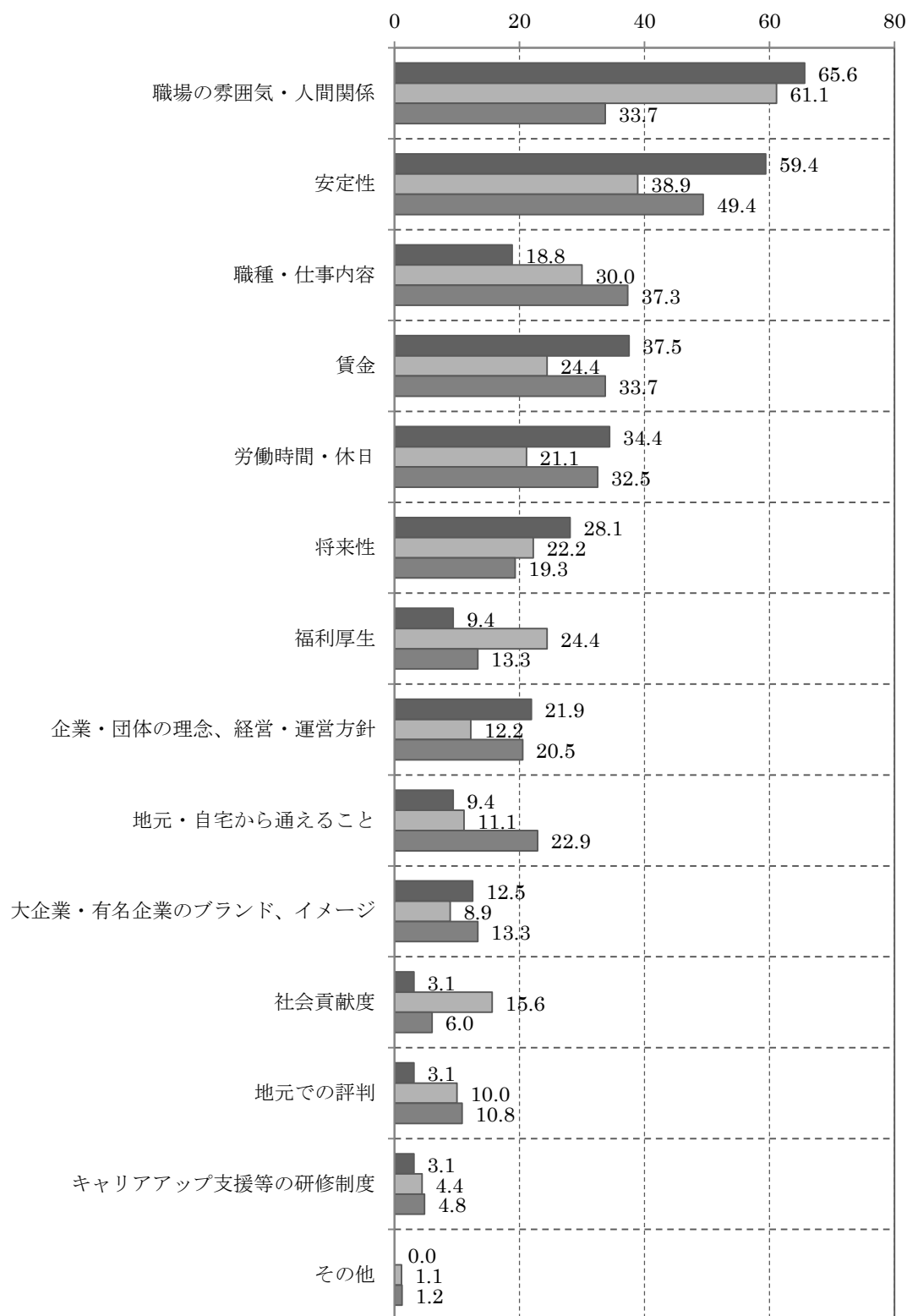
図 3-2 【性別】 就職先企業・団体の選択時に重視した(すること)



※ N=総回答数 n=回答者数

年代別（図 3-3）で見ると、18 歳から 24 歳においては「職場の雰囲気・人間関係」が最も高く、そのうち 18 歳または 19 歳は 65.6%と最も高くなっている。25 歳から 29 歳は「安定性」が 49.4%と最も高くなっている。

図 3-3 【年代別】 就職先企業・団体の選択時に重視した(すること)

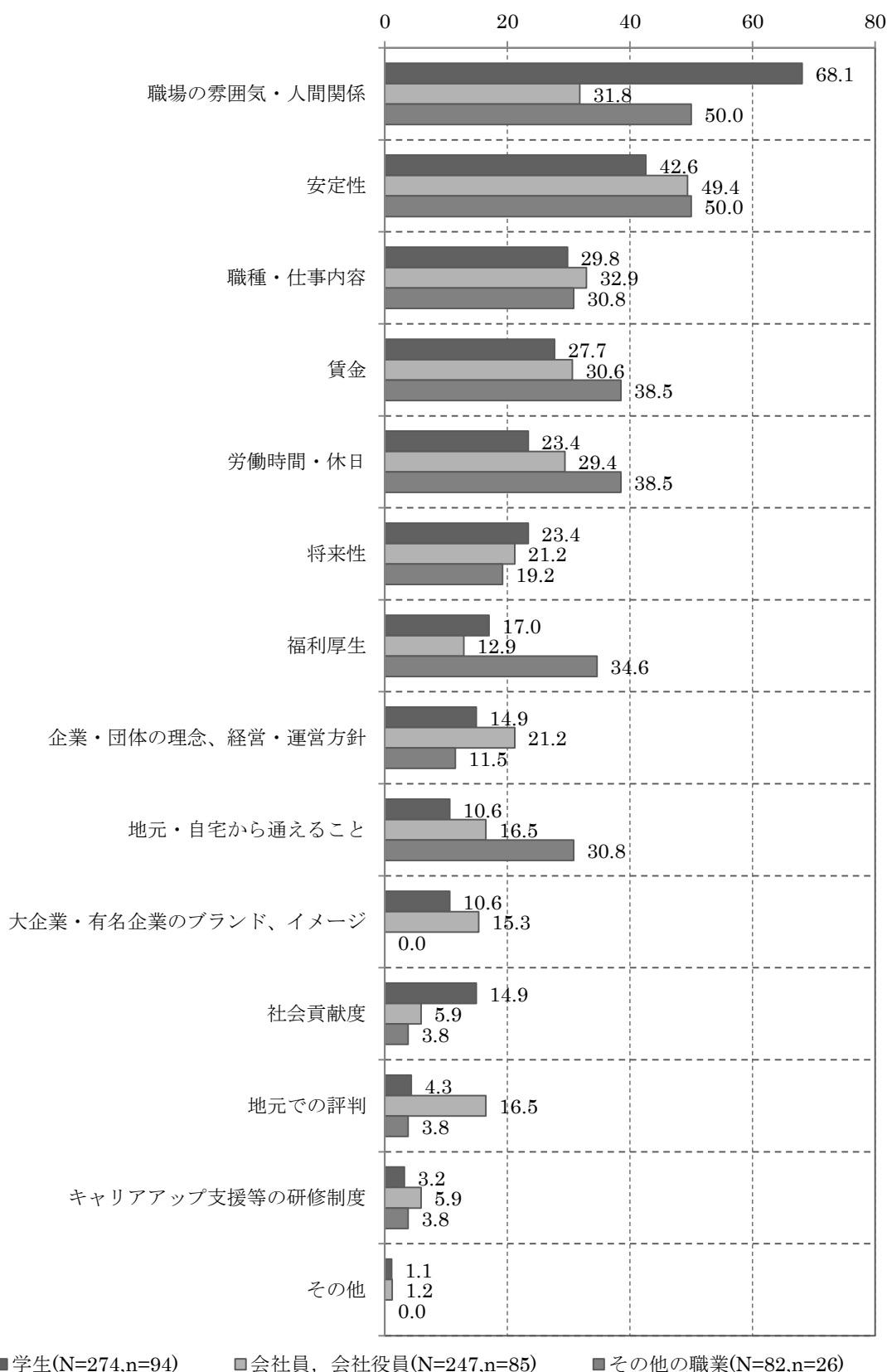


■ 18歳または19歳(N=98,n=32) ■ 20歳から24歳(N=257,n=90) ■ 25歳から29歳(N=248,n=83)

※ N=総回答数 n=回答者数

職業別（図 3-4）で見ると、学生は「職場の雰囲気・人間関係」が 68.1%と最も高くなっている。会社員、会社役員は「安定性」が 49.4%と最も高くなっている。その他の職業は「職場の雰囲気・人間関係」「安定性」がともに 50.0%と最も高くなっている。

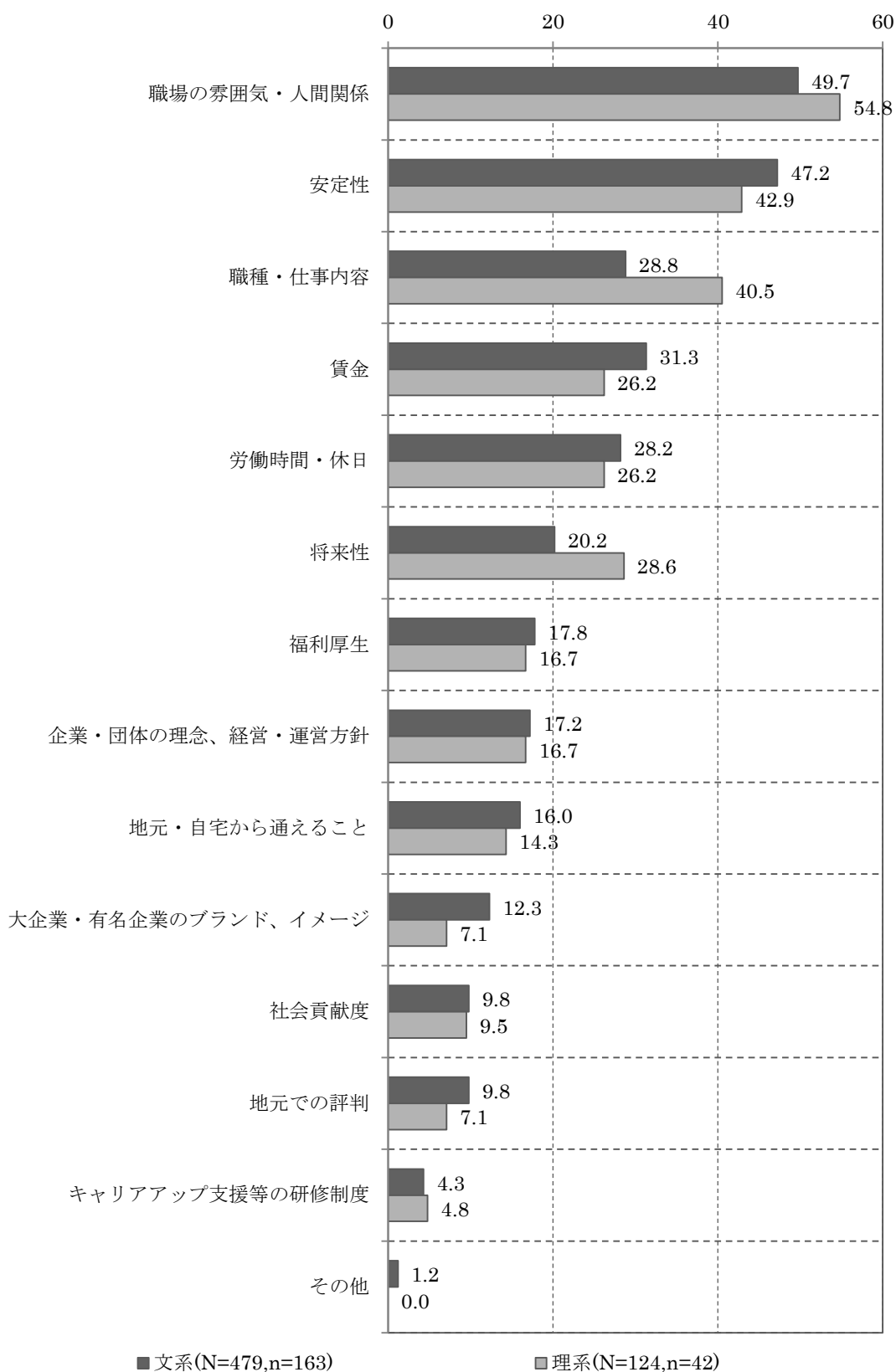
図 3-4 【職業別】 就職先企業・団体の選択時に重視した(すること)



※ N=総回答数 n=回答者数

専攻別（図 3-5）で見ると、文系、理系ともに「職場の雰囲気・人間関係」が最も高く、そのうち理系は 54.8%と最も高くなっている。

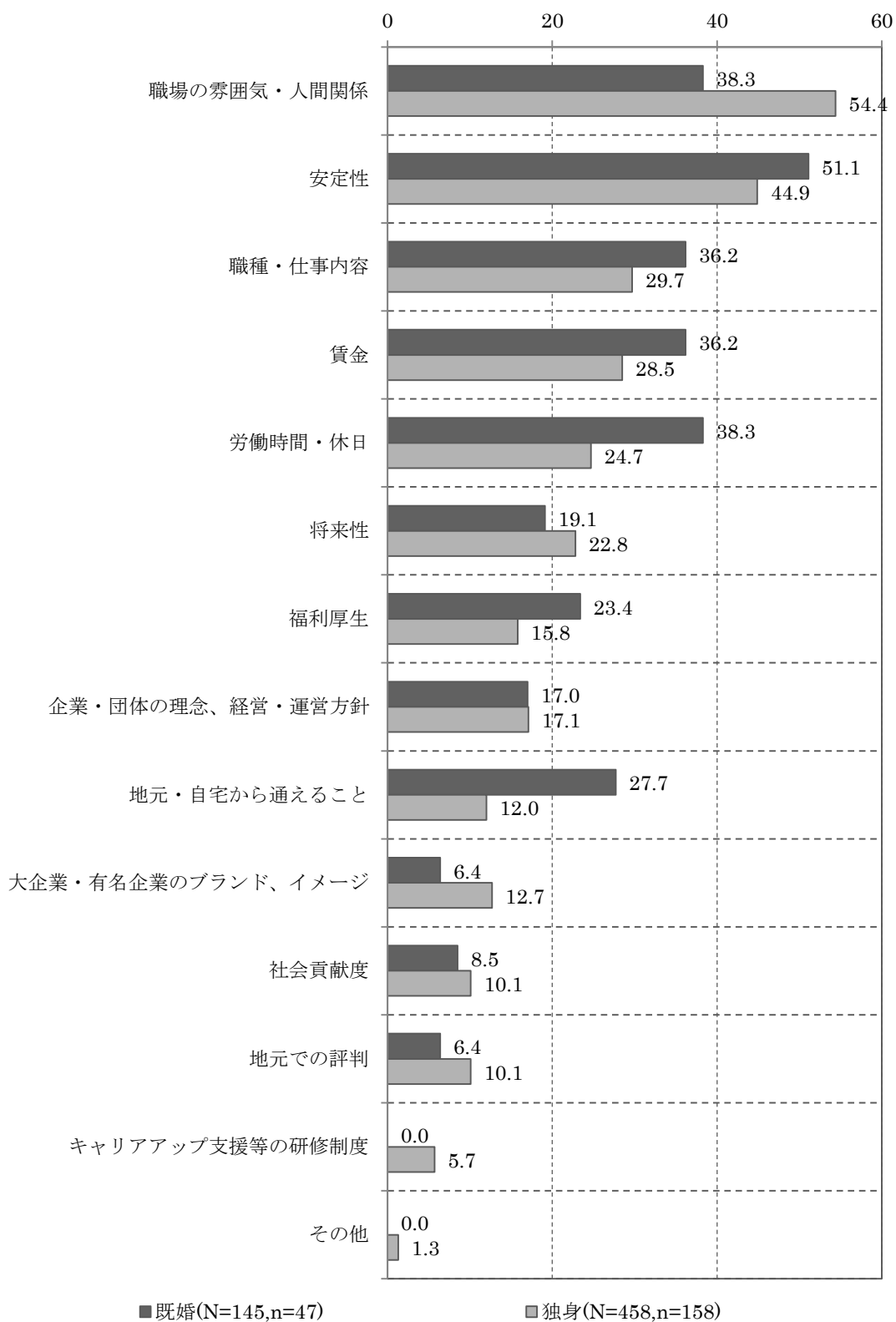
図 3-5 【専攻別】 就職先企業・団体の選択時に重視した(すること)



※ N=総回答数 n=回答者数

婚姻の状況別（図 3-6）でみると、既婚は「安定性」が 51.1%と最も高くなっている。独身は「職場の雰囲気・人間関係」が 54.4%と最も高くなっている。

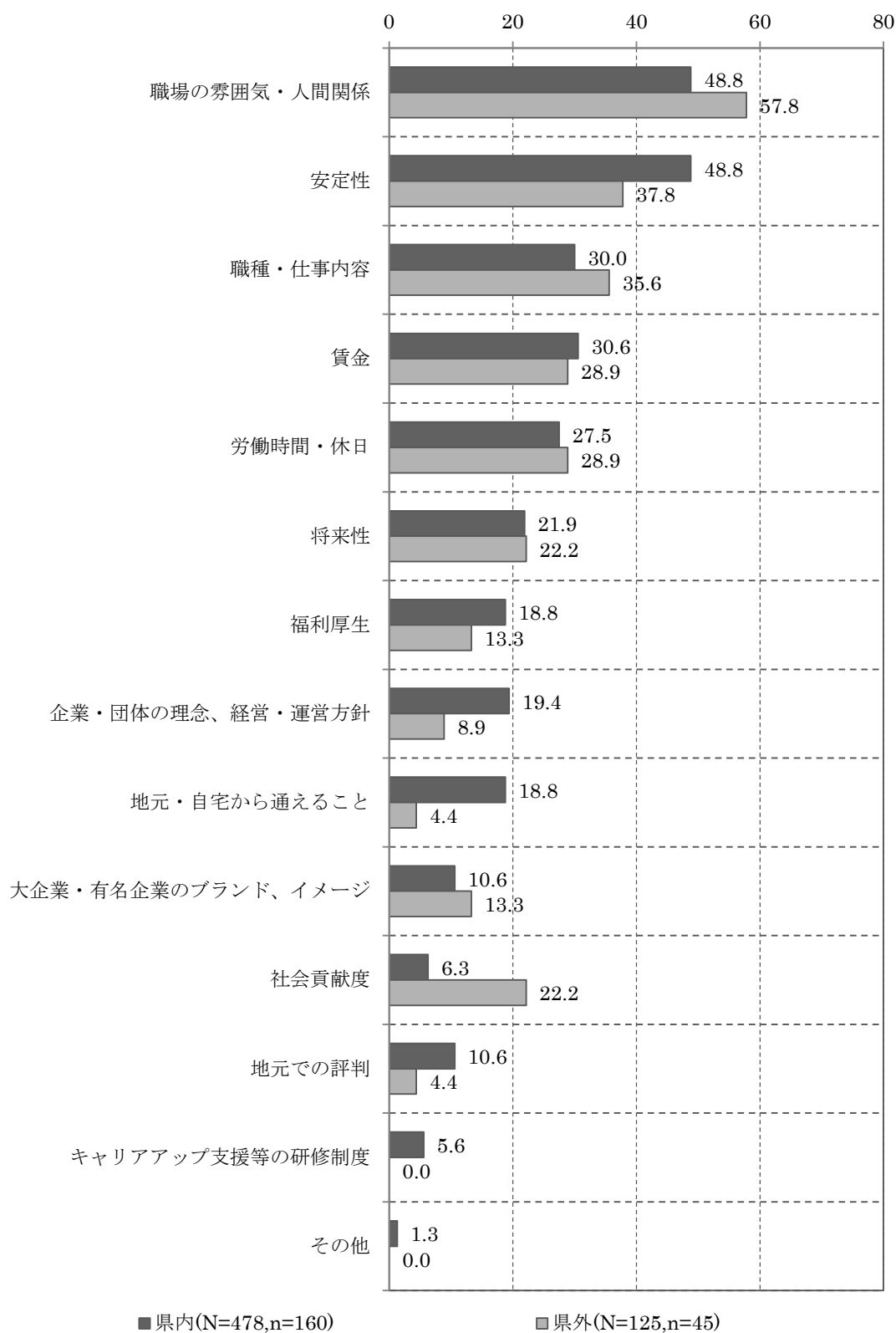
図 3-6 【婚姻の状況別】 就職先企業・団体の選択時に重視した(する)こと



※ N=総回答数 n=回答者数

地元別（図 3-7）で見ると、県内、県外ともに「職場の雰囲気・人間関係」が最も高く、県内は 48.8%、県外は 57.8 となっている。県内は「安定性」も 48.8%と最も高くなっている。

図 3-7 【地元別】 就職先企業・団体の選択時に重視した(すること)



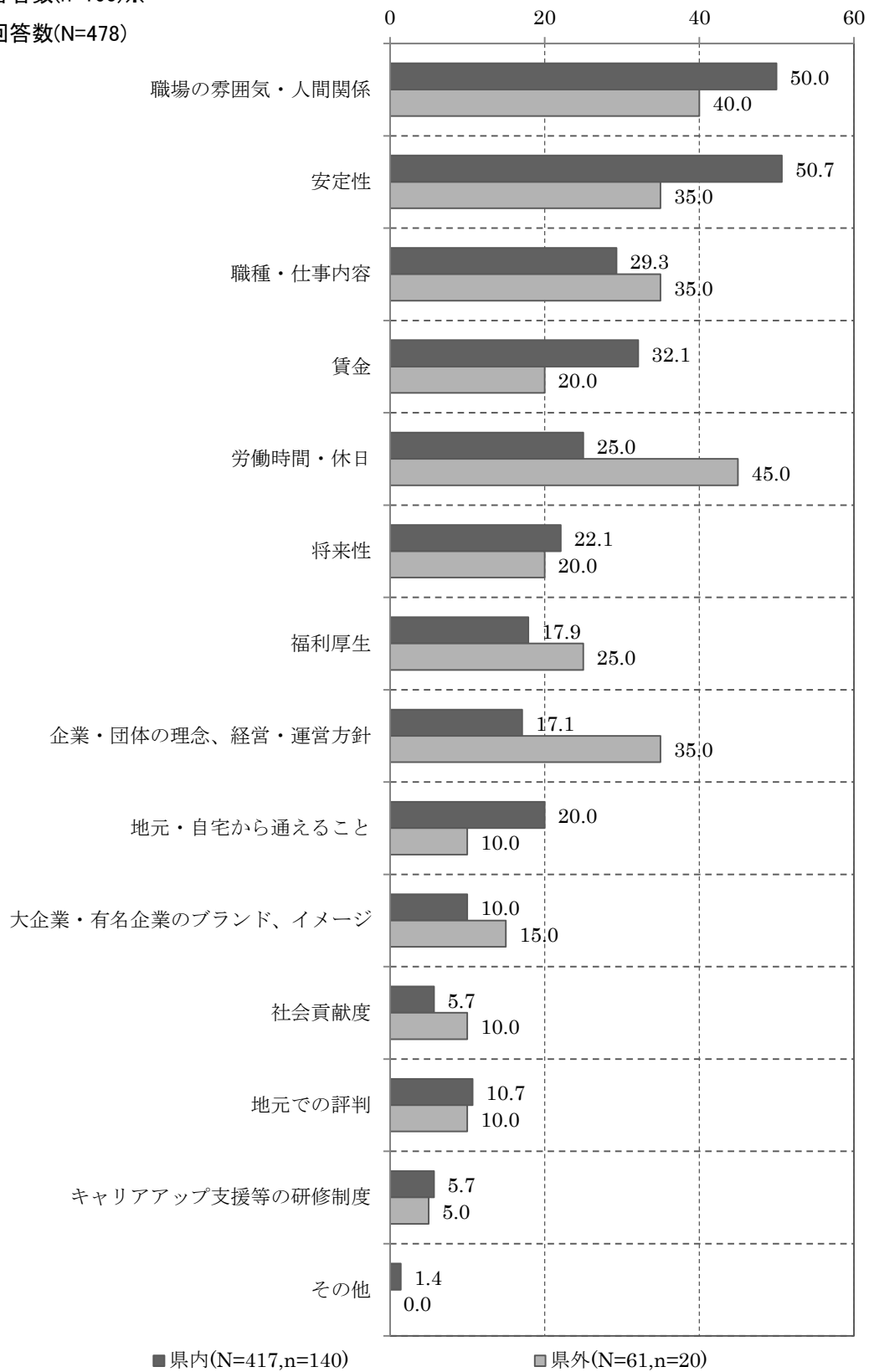
※ N=総回答数 n=回答者数

居住地域別（図 3-8）で見ると、県内は「安定性」が 50.7%と最も高くなっている。県外は「労働時間・休日」が 45.0%と最も高くなっている。（回答者は地元が県内の方のみ）

図 3-8 【居住地域別】 就職先企業・団体の選択時に重視した(する)こと

回答者数(n=160)※

総回答数(N=478)



※ 地元が県内の方の回答

問4 就職時に参考にした(する)情報源

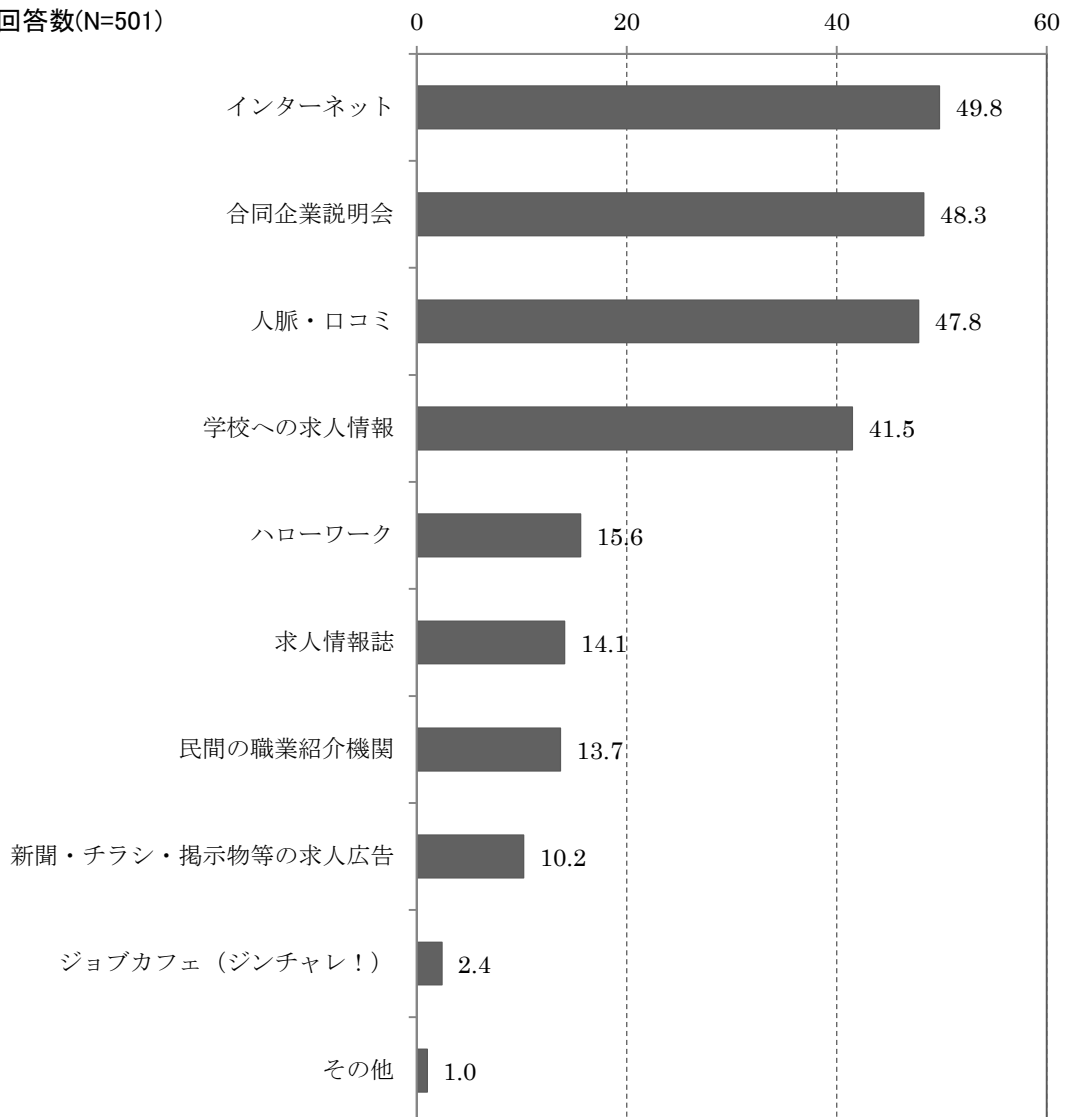
問4 あなたが就職時に参考にした(する)情報源は何ですか。
(3つまで)

全体(図4-1)で見ると、「インターネット」が49.8%と最も高く、次いで「合同企業説明会」が48.3%、「人脈・ロコミ」が47.8%の順となっている。

図4-1 就職時に参考にした(する)情報源

回答者数(n=205)

総回答数(N=501)

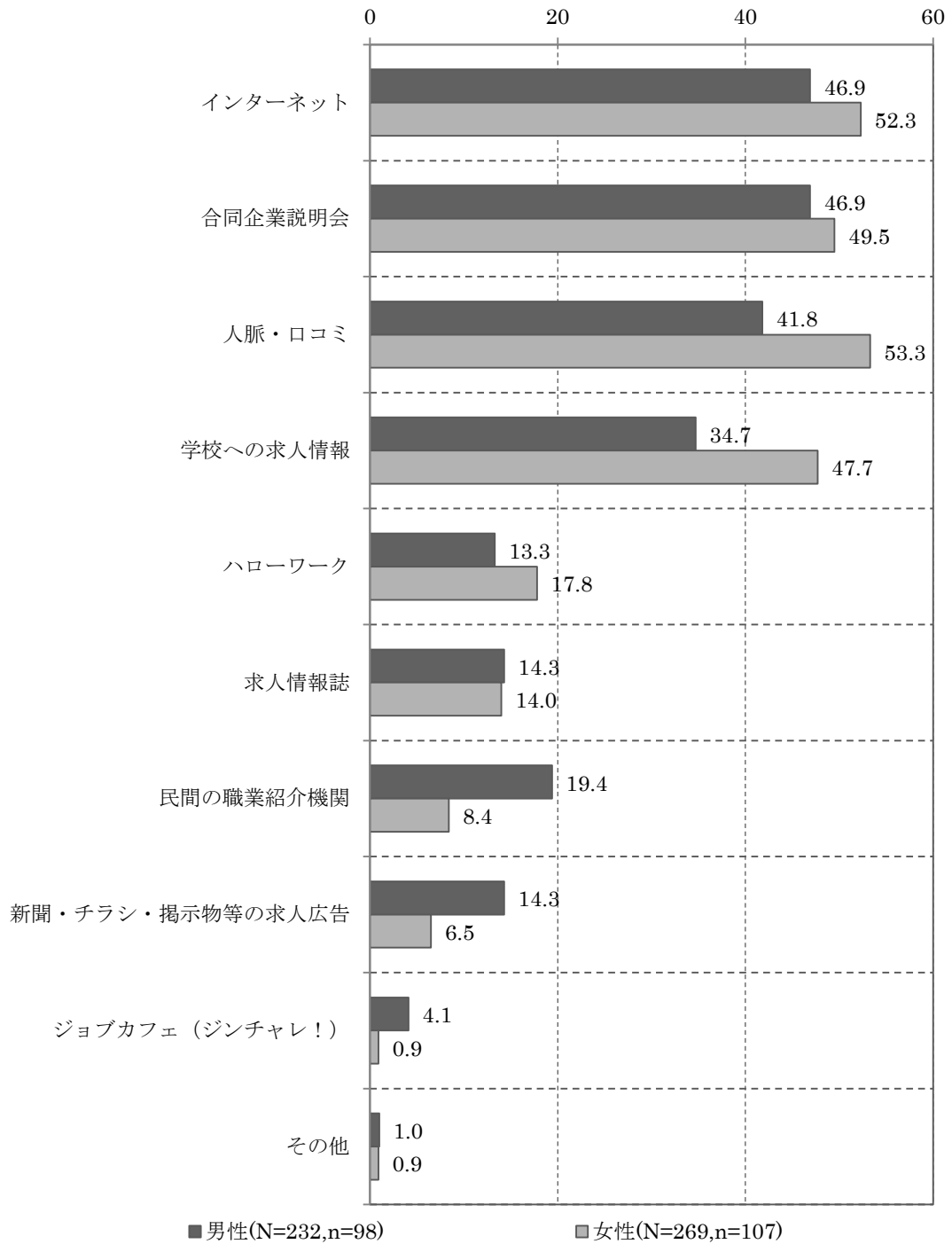


※「その他」の主な内容

・インターン。

性別（図 4-2）で見ると、男性は「インターネット」「合同企業説明会」がともに 46.9%と最も高くなっている。女性は「人脈・口コミ」が 53.3%と最も高くなっている。

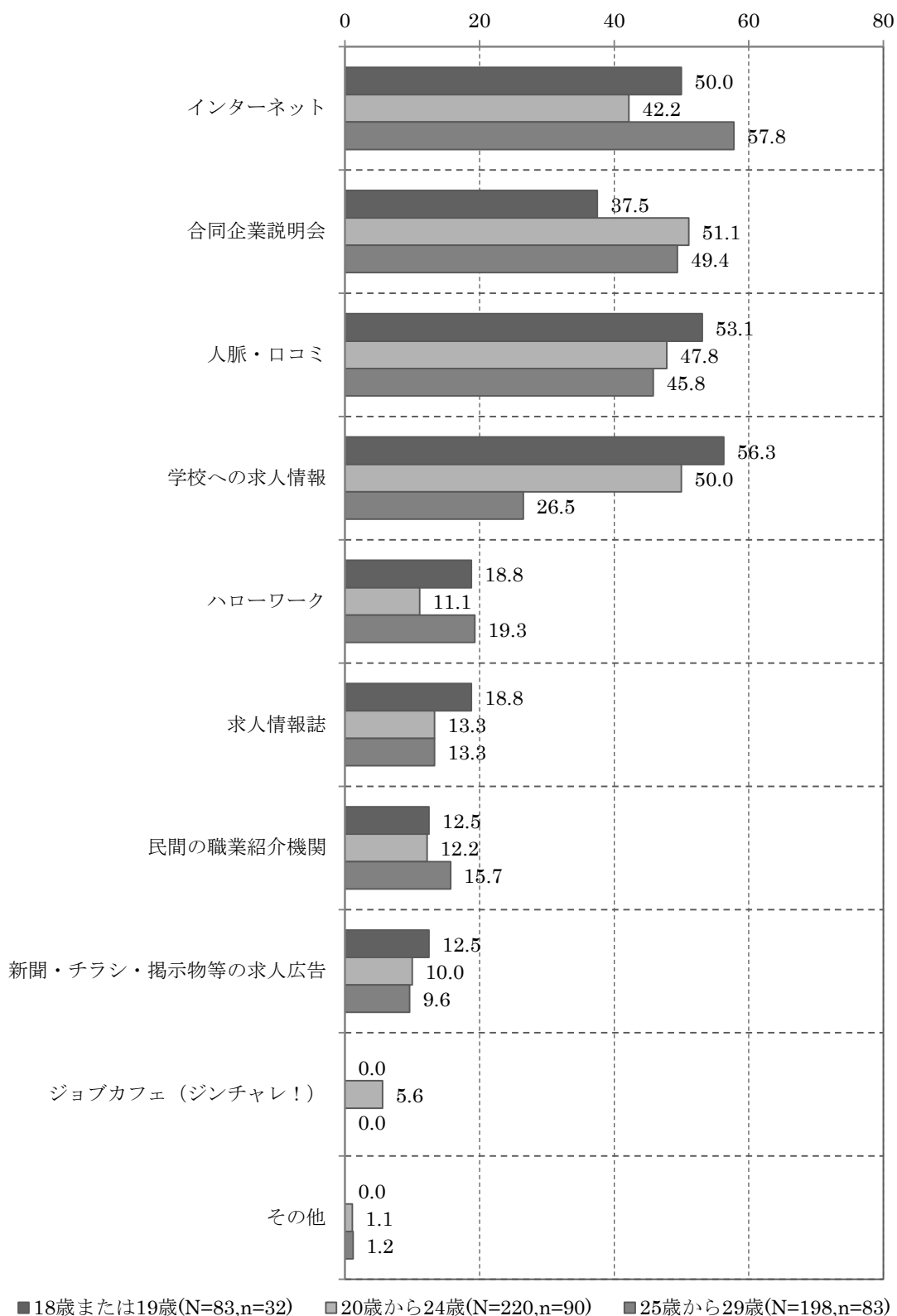
図 4-2 【性別】 就職時に参考にした(する)情報源



※ N=総回答数 n=回答者数

年代別（図 4-3）で見ると、18 歳または 19 歳は「学校への求人情報」が 56.3%と最も高くなっている。20 歳から 24 歳は「合同企業説明会」が 51.1%と最も高くなっている。25 歳から 29 歳は「インターネット」が 57.8%と最も高くなっている。

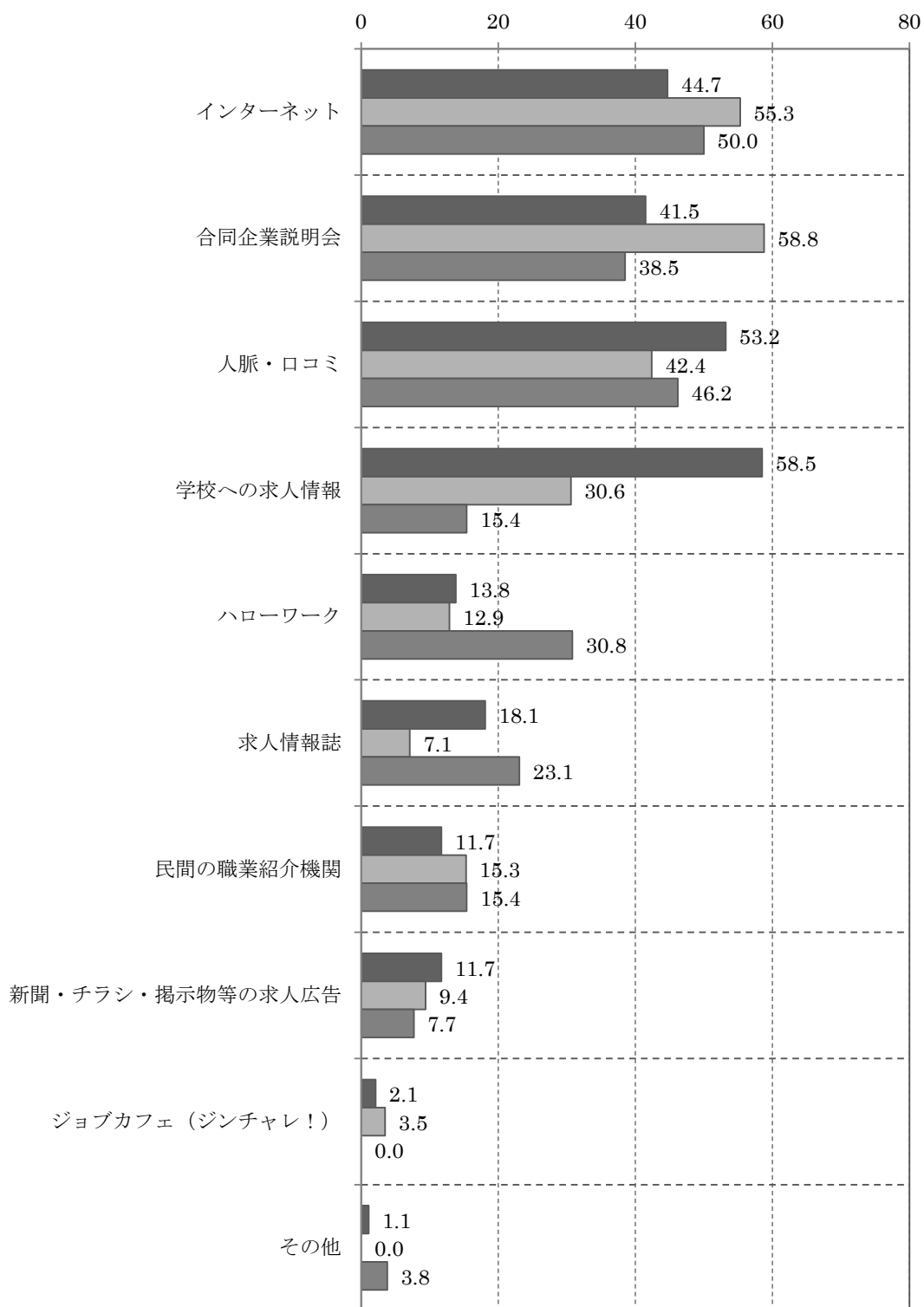
図 4-3 【年代別】 就職時に参考にした(する)情報源



※ N=総回答数 n=回答者数

職業別（図 4-4）で見ると、学生は「学校への求人情報」が 58.5%と最も高くなっている。会社員、会社役員は「合同企業説明会」が 58.5%と最も高くなっている。その他の職業は「インターネット」が 50.0%と最も高くなっている。

図 4-4 【職業別】 就職時に参考にした(する)情報源

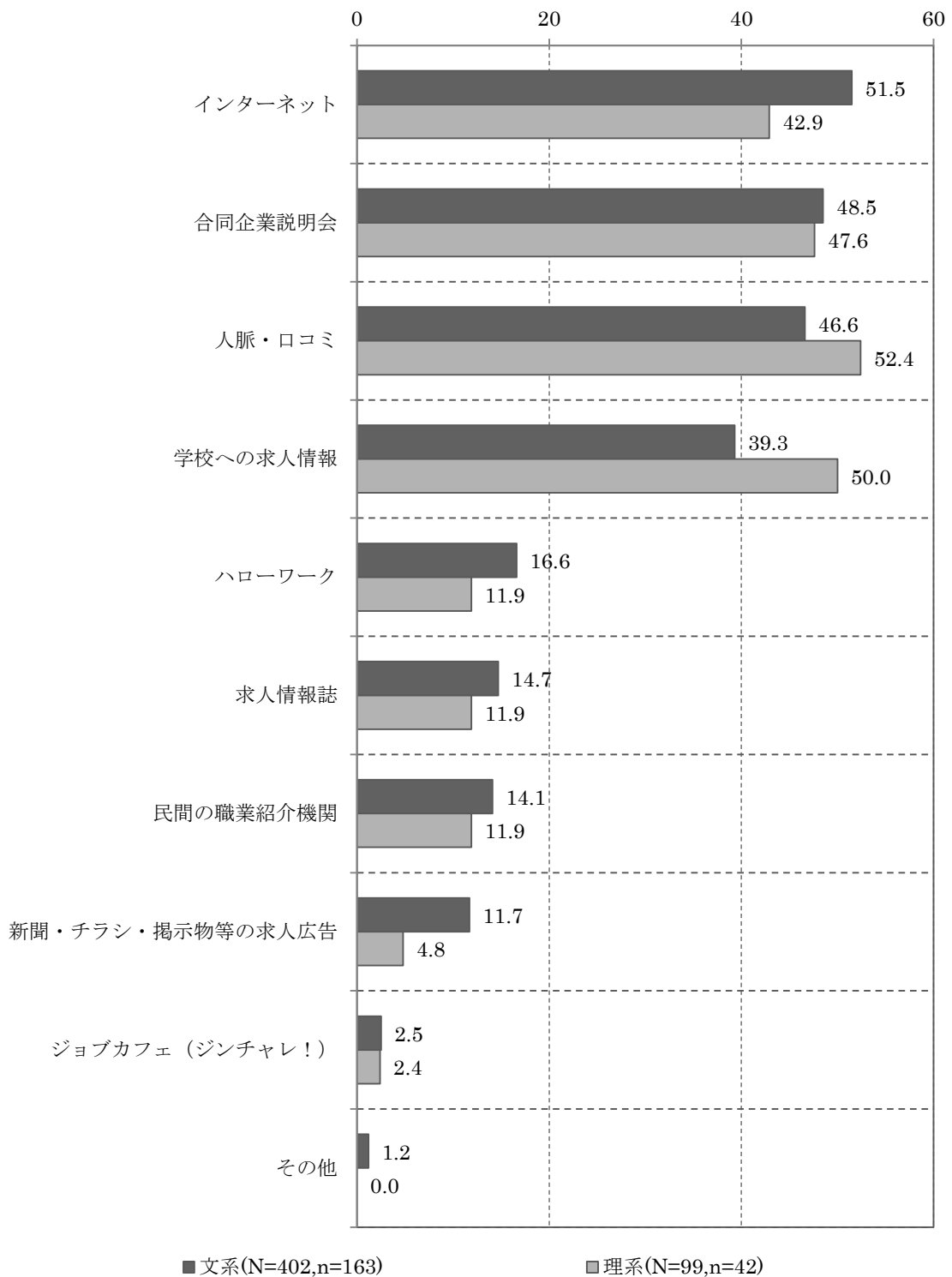


■ 学生(N=241,n=94) □ 会社員, 会社役員(N=200,n=85) ▨ その他の職業(N=60,n=26)

※ N=総回答数 n=回答者数

専攻別（図 4-5）で見ると、文系は「インターネット」が 51.5%と最も高くなっている。理系は「人脈・口コミ」が 52.4%と最も高くなっている。

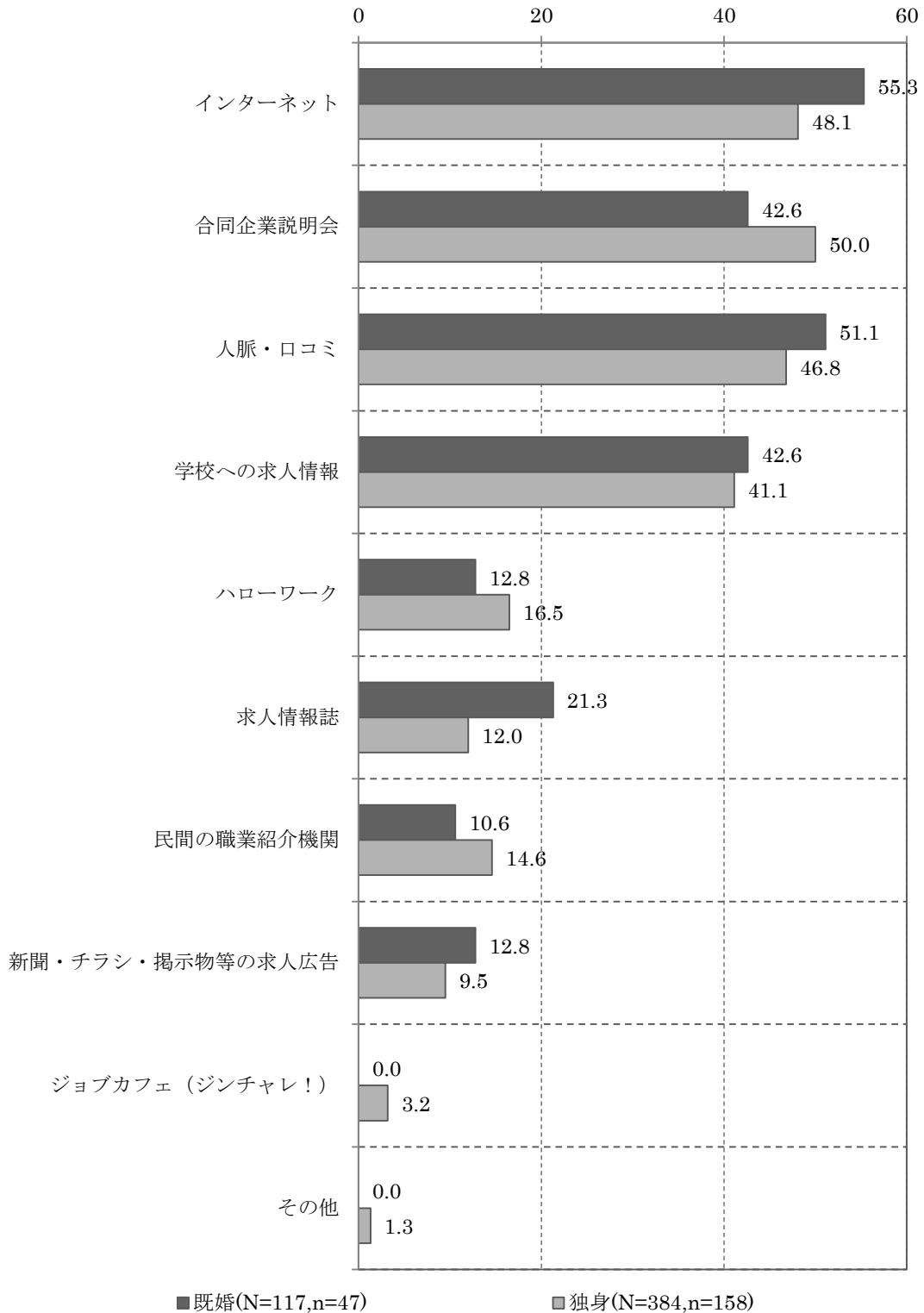
図 4-5 【専攻別】 就職時に参考にした(する)情報源



※ N=総回答数 n=回答者数

婚姻の状況別（図 4-6）でみると、既婚は「インターネット」が 55.3%と最も高くなっている。独身は「合同企業説明会」が 50.0%と最も高くなっている。

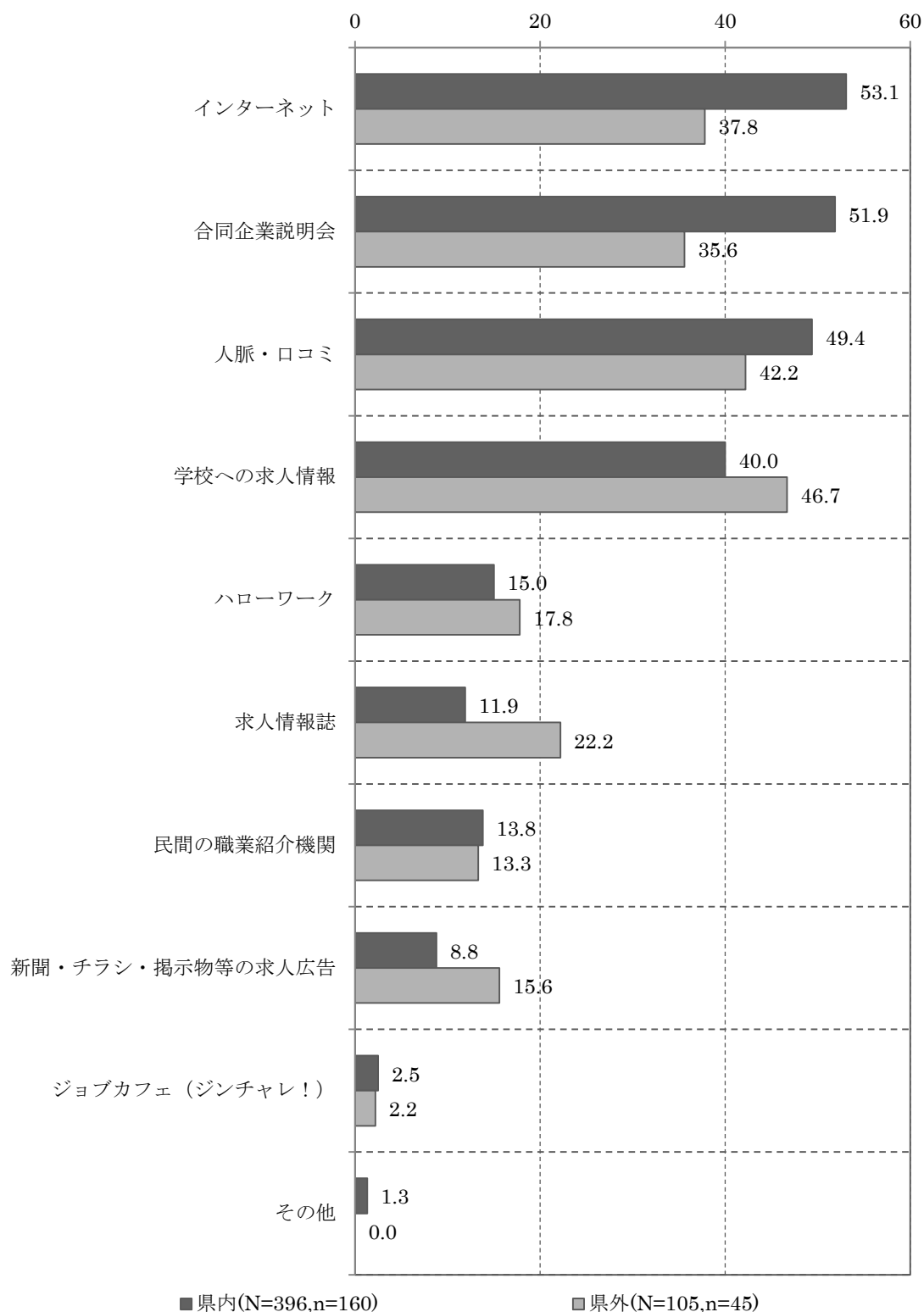
図 4-6 【婚姻の状況別】 就職時に参考にした(する)情報源



※ N=総回答数 n=回答者数

地元別（図4-7）で見ると、県内は「インターネット」が53.1%と最も高くなっている。県外は「学校への求人情報」が46.7%と最も高くなっている。

図4-7【地元別】就職時に参考にした(する)情報源



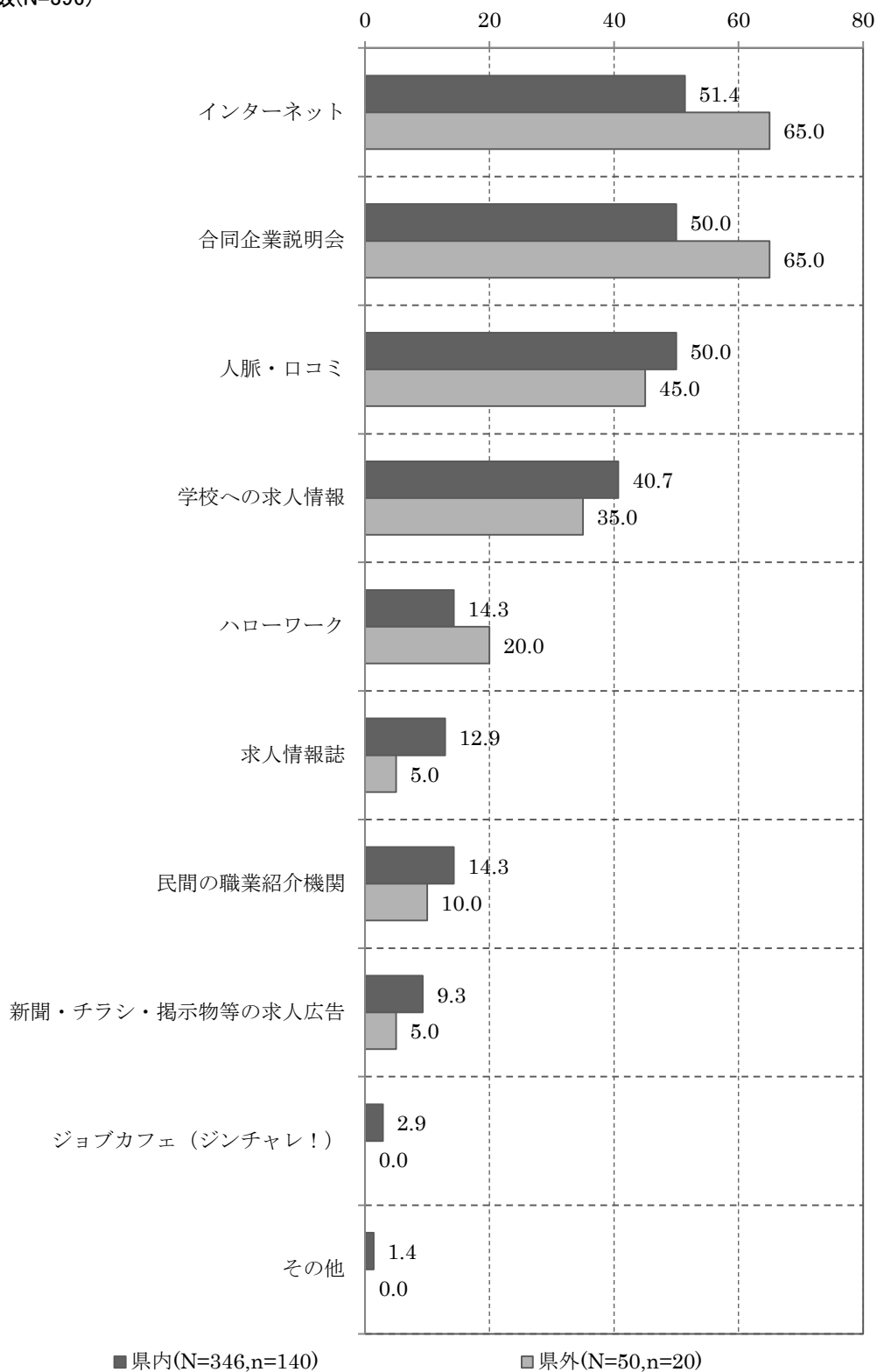
※ N=総回答数 n=回答者数

居住地域別（図 4-8）で見ると、県内、県外ともに「インターネット」が最も高く、そのうち県外は 65.0%と最も高くなっている。県外は「合同企業説明会」も 65.0%と最も高くなっている。（回答者は地元が県内の方のみ）

図 4-8 【居住地域別】 就職時に参考にした(する)情報源

回答者数(n=160)※

総回答数(N=396)



※ 地元が県内の方の回答

問5 就職時に参考にした(する)意見

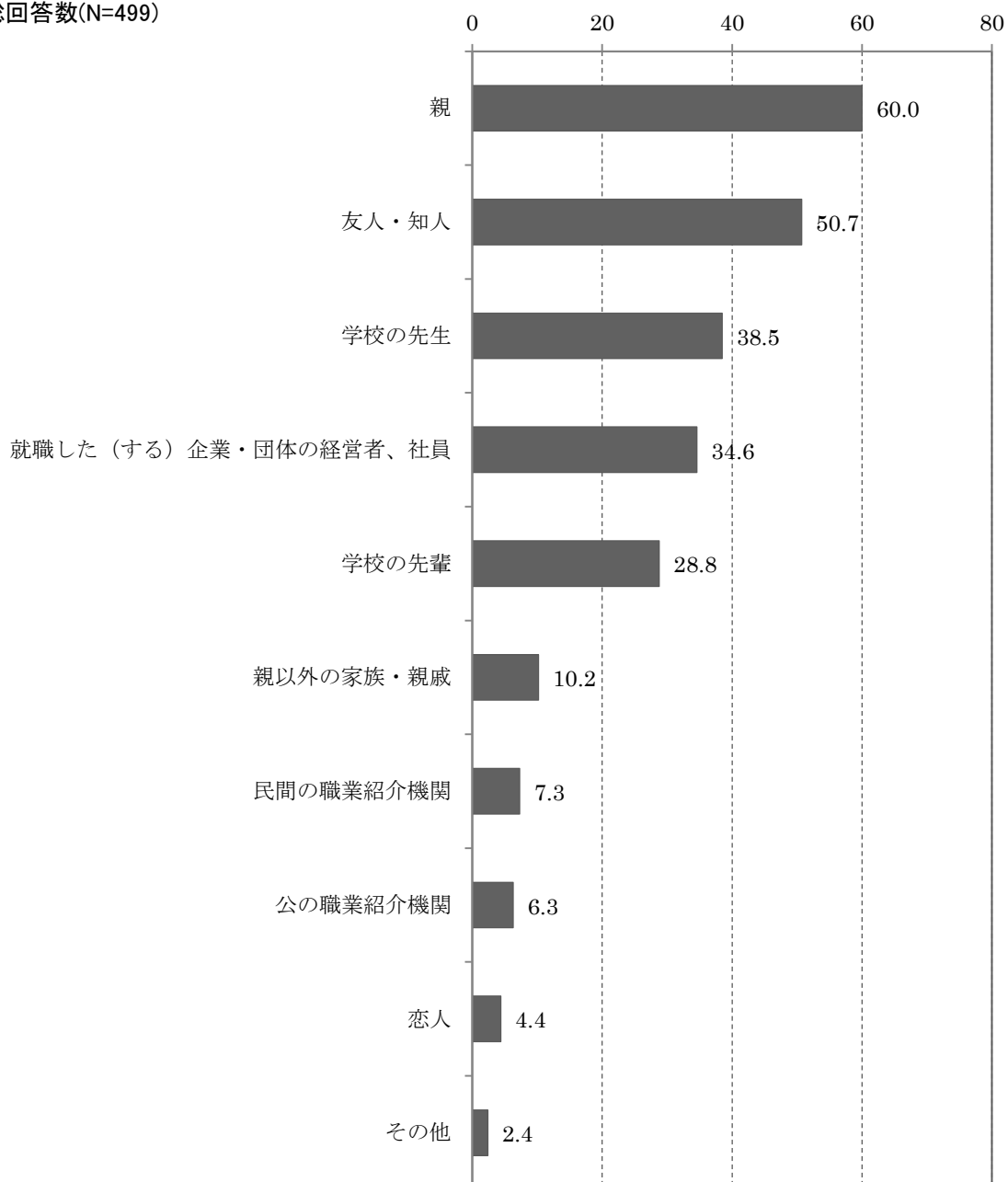
問5 あなたが就職時に参考にした(する)のは誰の意見ですか。
(3つまで)

全体(図5-1)で見ると、「親」が60.0%と最も高くなっており、次いで「友人・知人」が50.7%、「学校の先生」が38.5%の順となっている。

図5-1 就職時に参考にした(する)意見

回答者数(n=205)

総回答数(N=499)

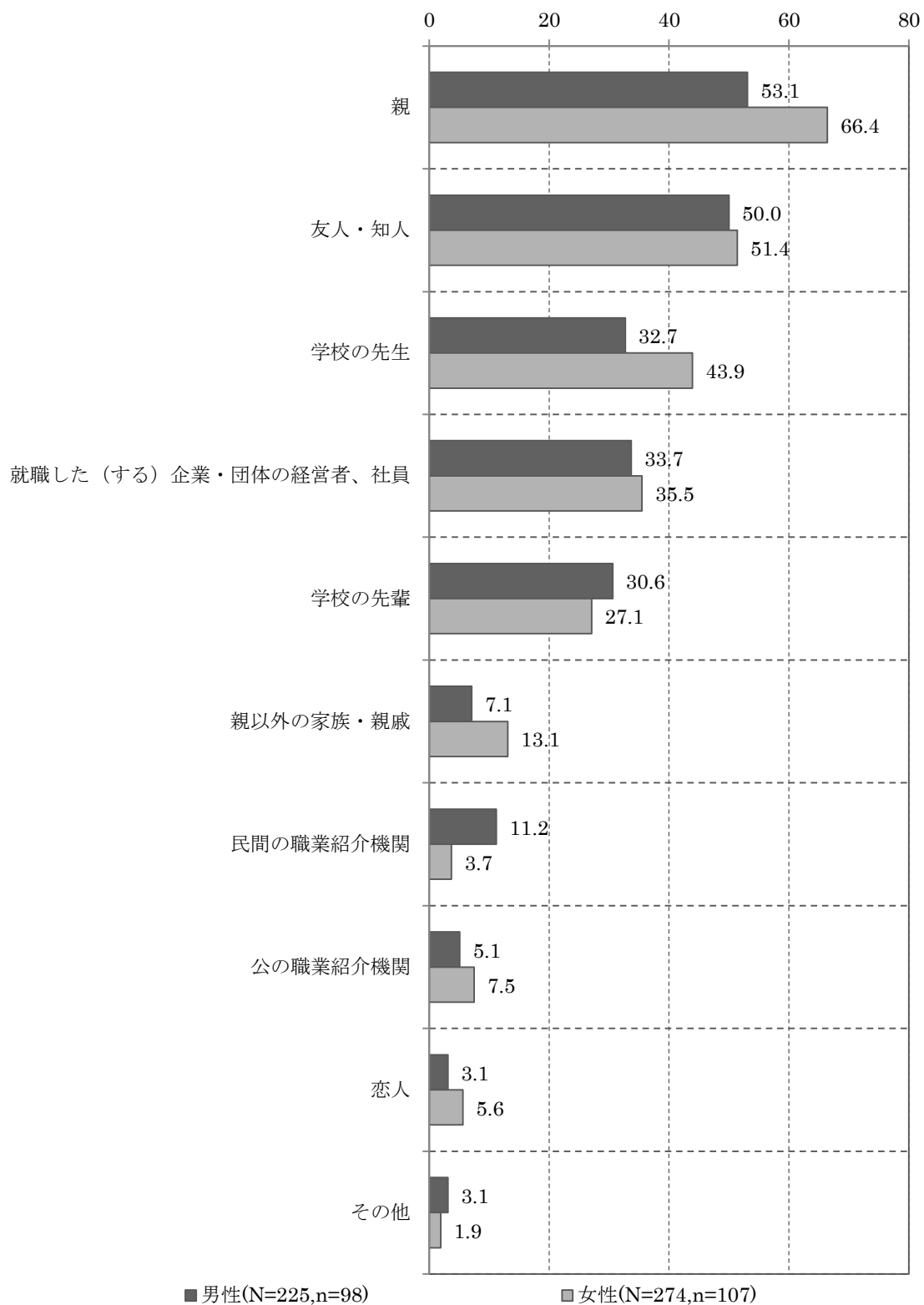


※「その他」の主な内容

- ・特に誰にもしていない。
- ・いない。

性別（図 5-2）で見ると、男女ともに「親」が最も高く、そのうち女性は66.4%と最も高くなっている。

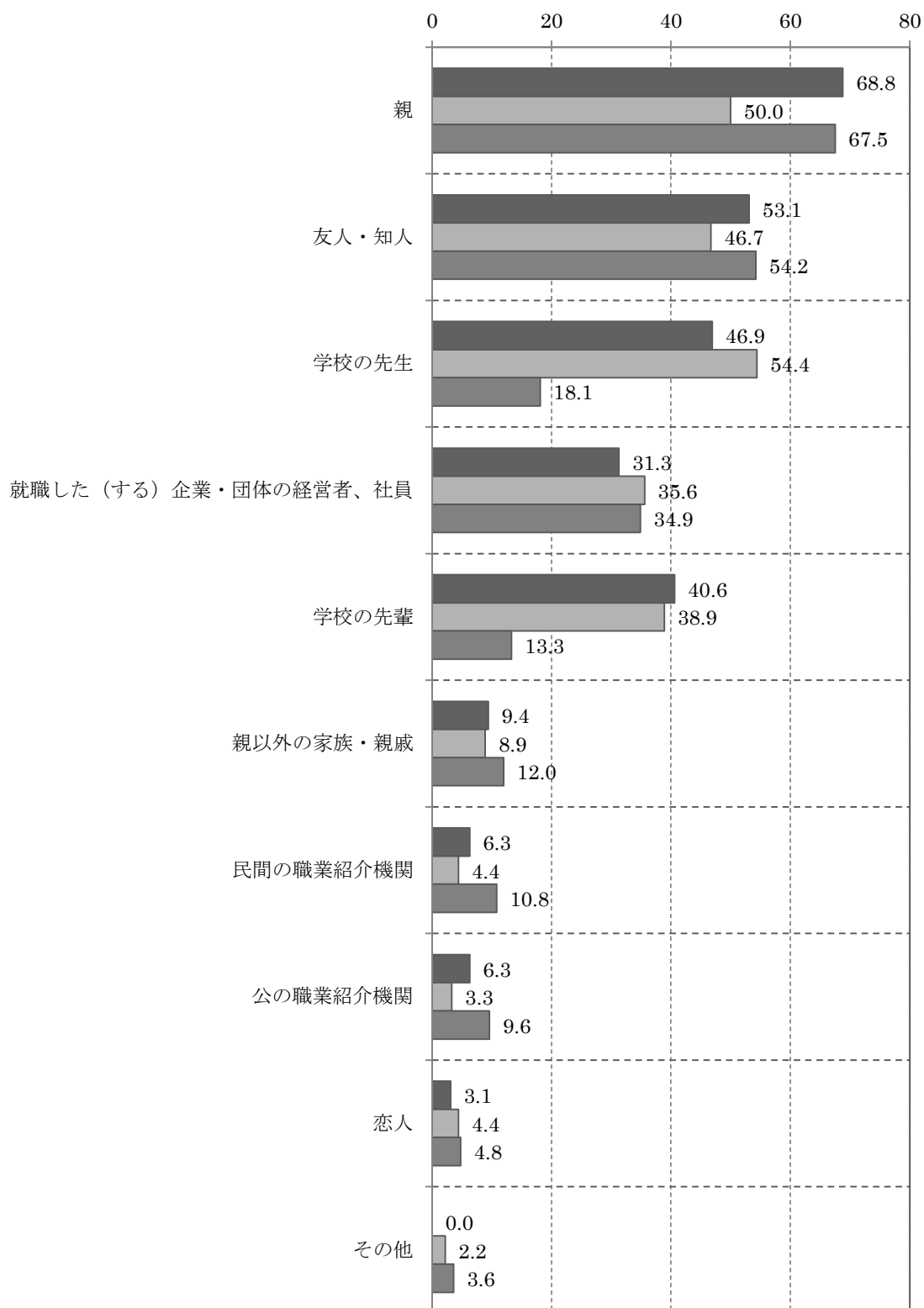
図 5-2 【性別】 就職時に参考にした(する)意見



※ N=総回答数 n=回答者数

年代別（図 5-3）で見ると、18 歳または 19 歳、25 歳から 29 歳ともに「親」が最も高く、そのうち 18 歳または 19 歳は 68.8%と最も高くなっている。20 歳から 24 歳は「学校の先生」が 54.4%と最も高くなっている。

図 5-3 【年代別】 就職時に参考にした(する)意見

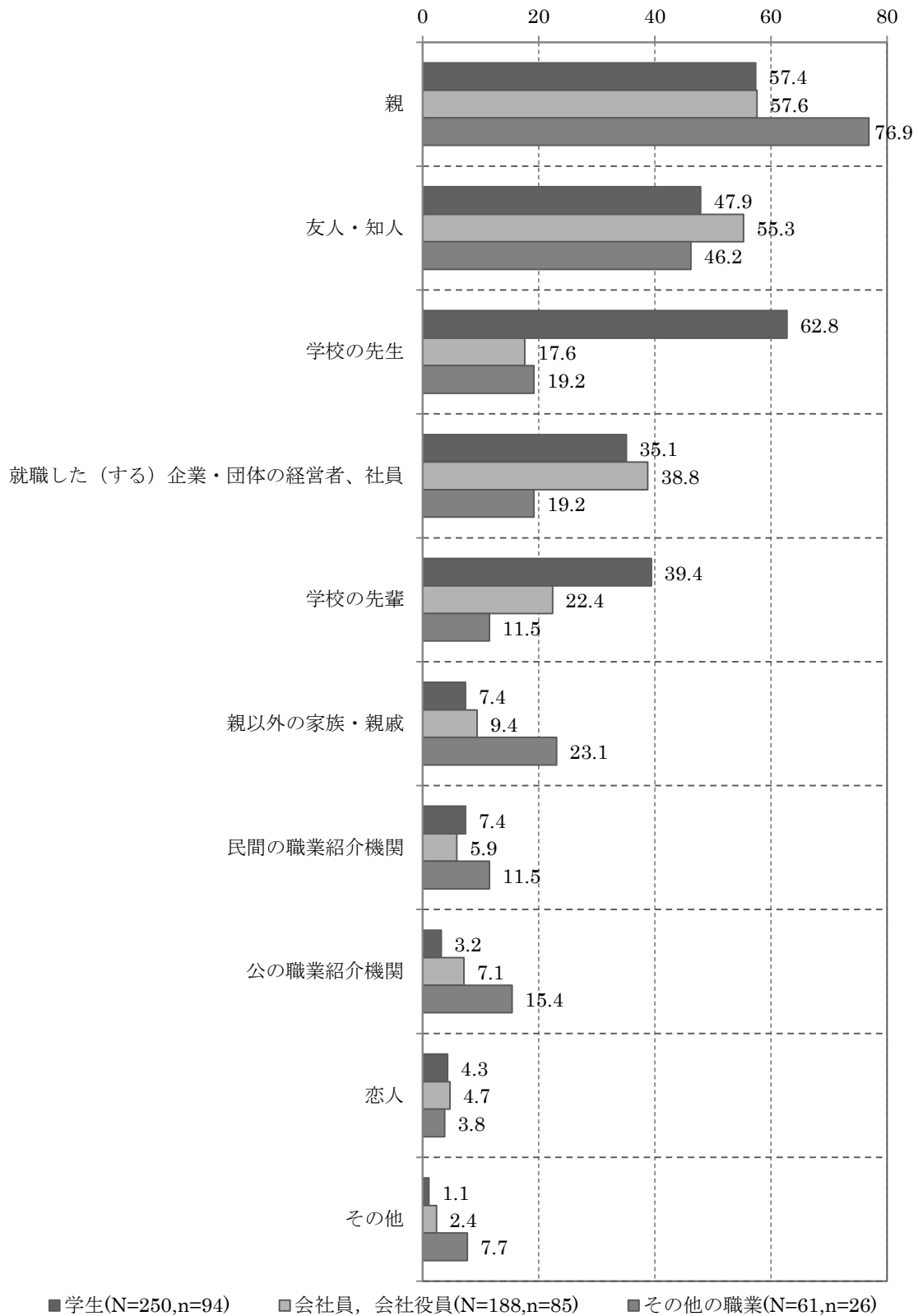


■ 18歳または19歳(N=85,n=32) □ 20歳から24歳(N=224,n=90) ■ 25歳から29歳(N=190,n=83)

※ N=総回答数 n=回答者数

職業別（図 5-4）で見ると、学生は「学校の先生」が 62.8%と最も高くなっている。会社員、会社役員、その他の職業ともに「親」が最も高く、そのうちその他の職業が 76.9%と最も高くなっている。

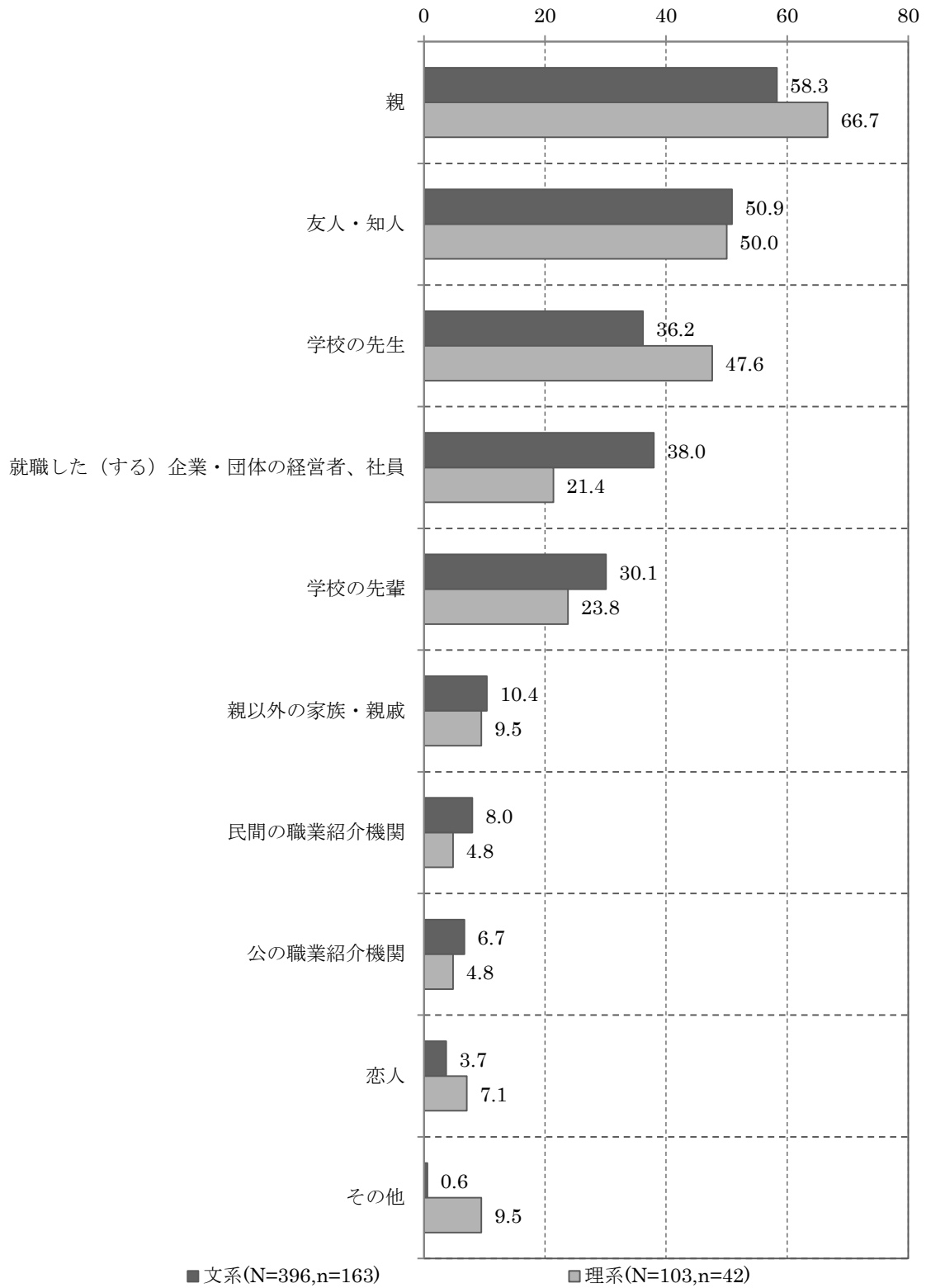
図 5-4 【職業別】 就職時に参考にした(する)意見



※ N=総回答数 n=回答者数

専攻別（図 5-5）で見ると、文系、理系ともに「親」が最も高く、そのうち理系は 66.7%と最も高くなっている。

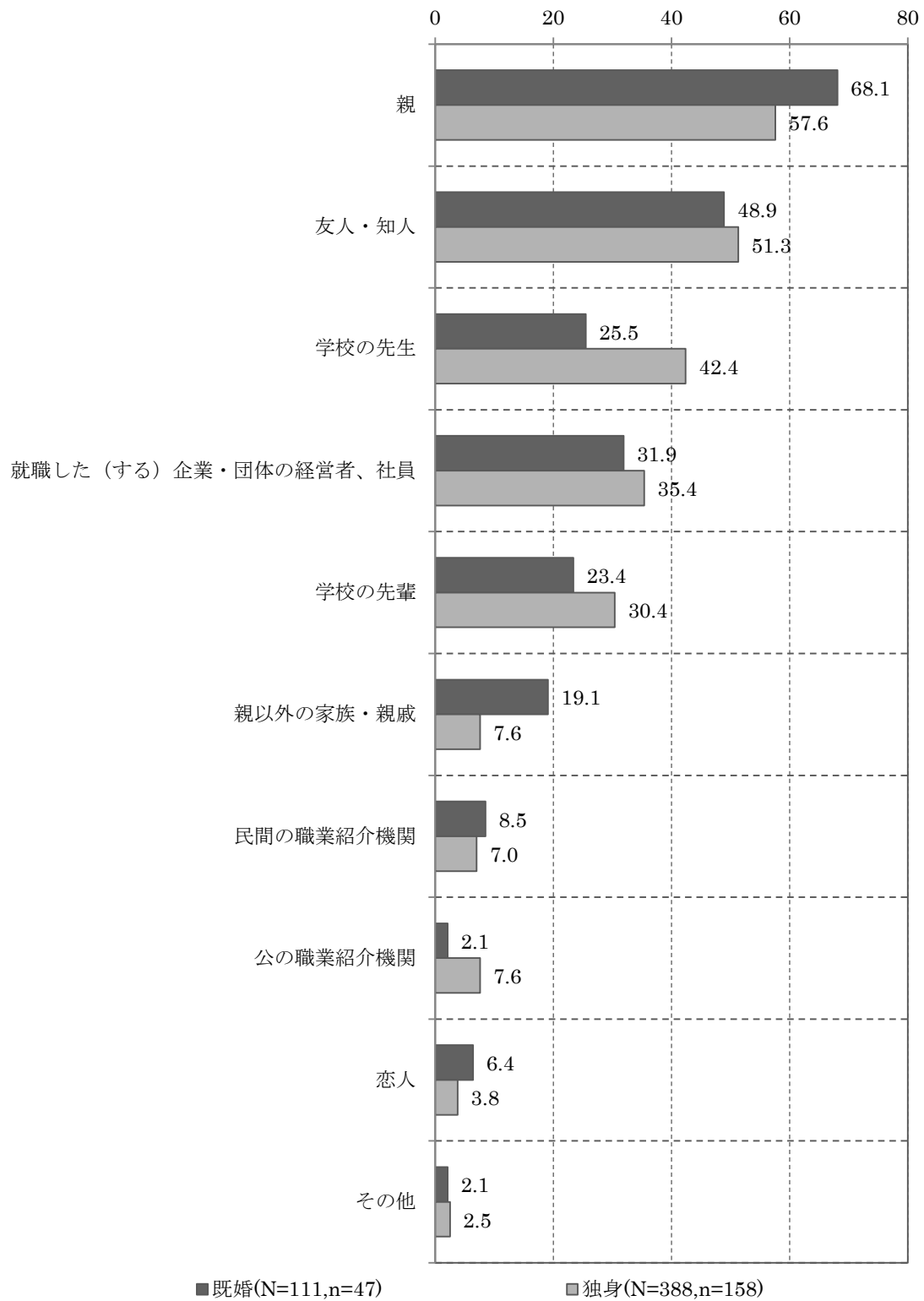
図 5-5 【専攻別】 就職時に参考にした(する)意見



※ N=総回答数 n=回答者数

婚姻の状況別（図 5-6）で見ると、既婚、独身ともに「親」が最も高く、そのうち既婚は 68.1%と最も高くなっている。

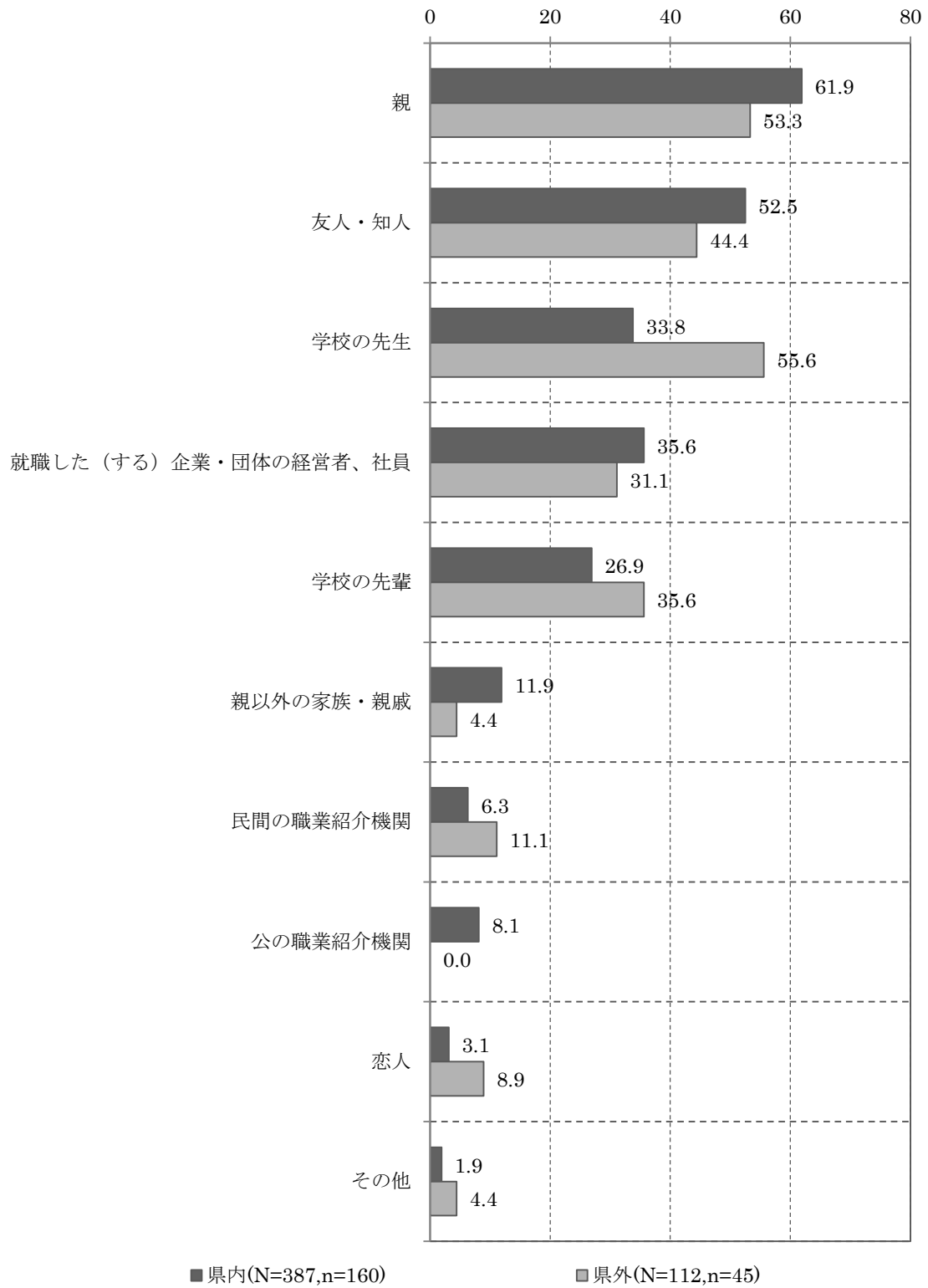
図 5-6 【婚姻の状況別】 就職時に参考にした(する)意見



※ N=総回答数 n=回答者数

地元別（図 5-7）で見ると、県内は「親」が 61.9%と最も高くなっている。県外は「学校の先生」が 55.6%と最も高くなっている。

図 5-7 【地元別】 就職時に参考にした(する)意見



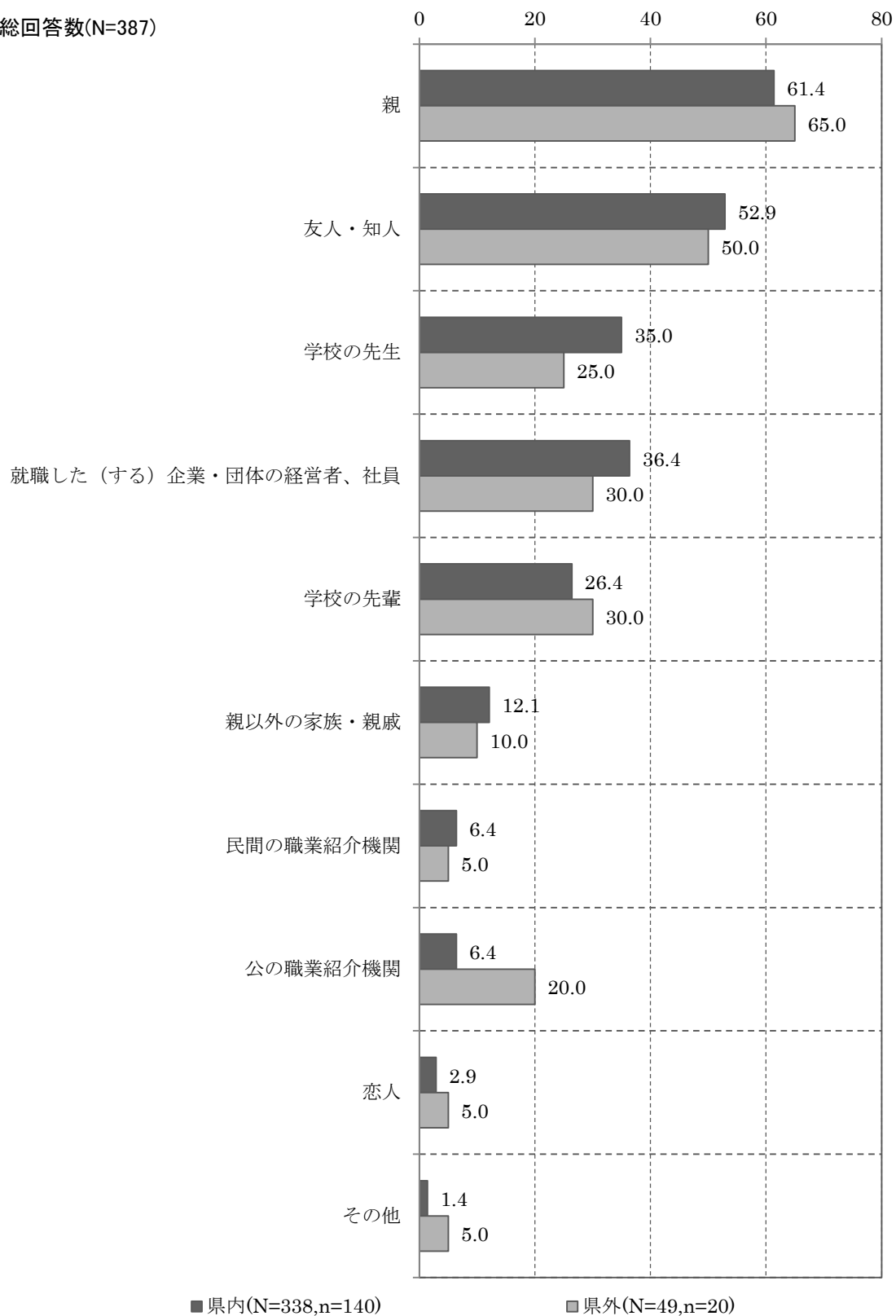
※ N=総回答数 n=回答者数

居住地域別（図 5-8）で見ると、県内、県外ともに「親」が最も高く、そのうち県外は 65.0%と最も高くなっている。（回答者は地元が県内の方のみ）

図 5-8 【居住地域別】 就職時に参考にした(する)意見

回答者数(n=160)※

総回答数(N=387)



※ 地元が県内の方の回答

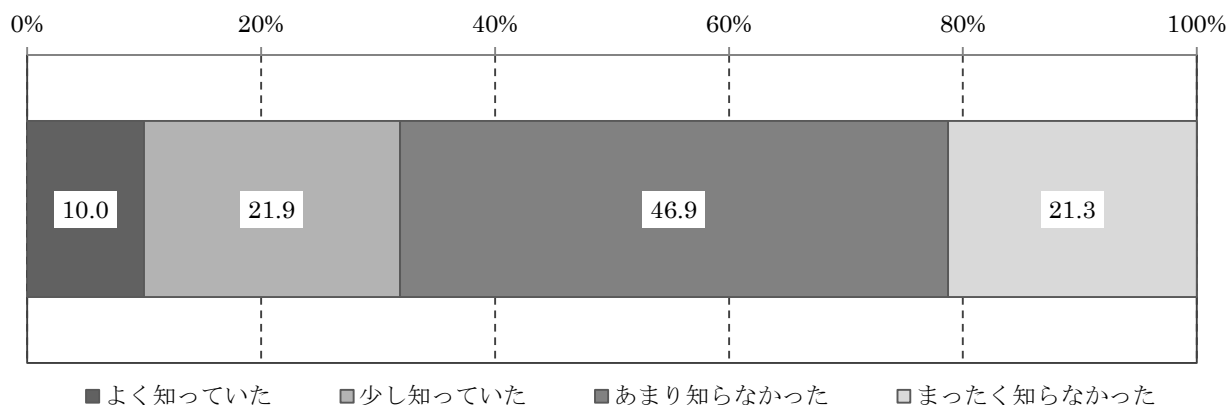
問6 地元企業のことを知っていたか

問6 あなたは中学・高校卒業時までには地元企業のことを知っていましたか。
(1つだけ)

全体（図6-1）で見ると、「あまり知らなかった」が46.9%と最も高く、次いで「少し知っていた」が21.9%、「全く知らなかった」が21.3%、「良く知っていた」が10.0%の順となっている。（回答者は地元が県内の方のみ）

図6-1 地元企業のことを知っていたか

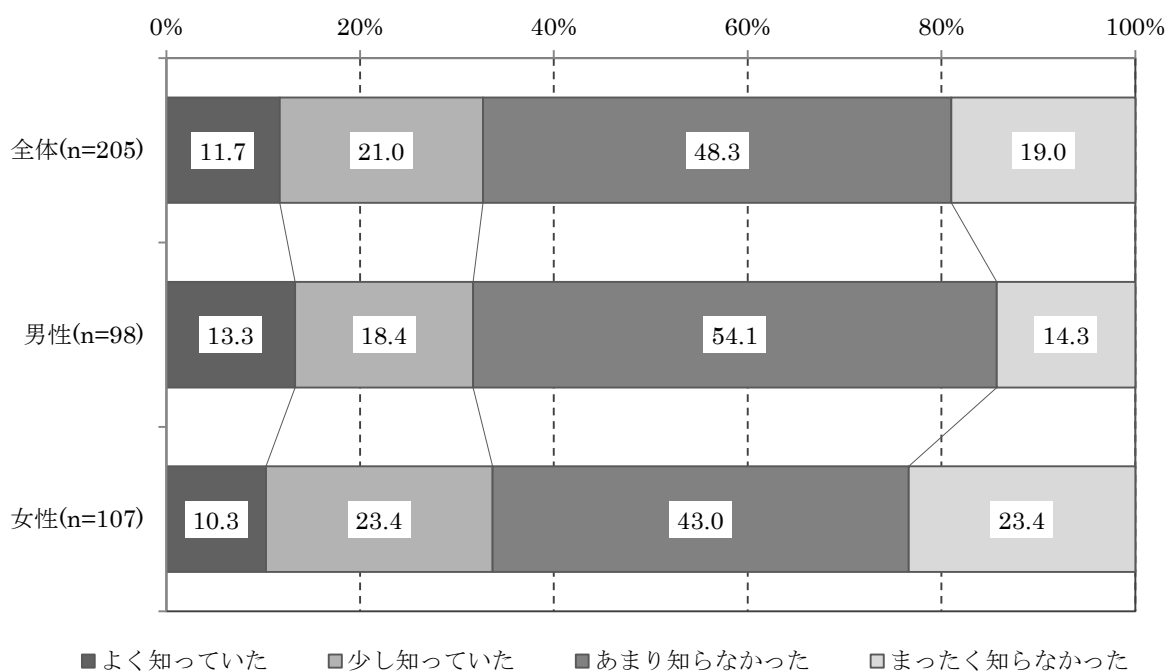
回答者数(n=160)



※ 地元が県内の方の回答

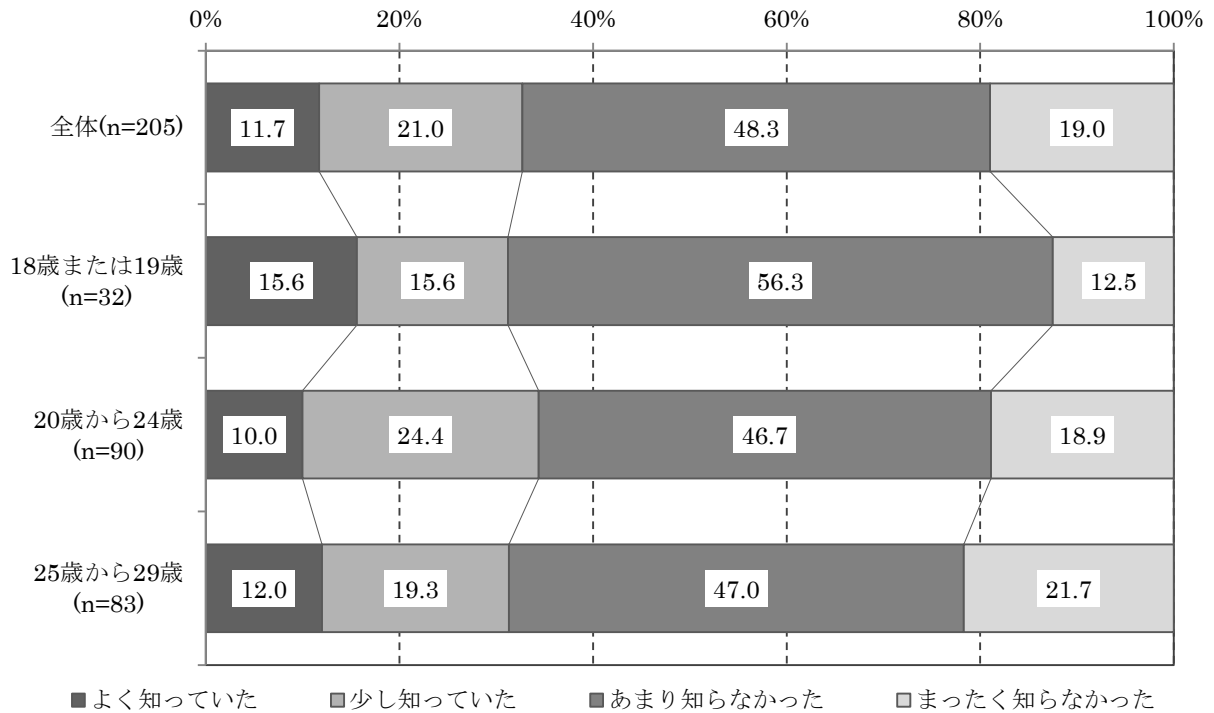
性別（図6-2）で見ると、男女ともに「あまり知らなかった」が最も高く、そのうち男性は54.1%と最も高くなっている。

図6-2【性別】 地元企業のことを知っていたか



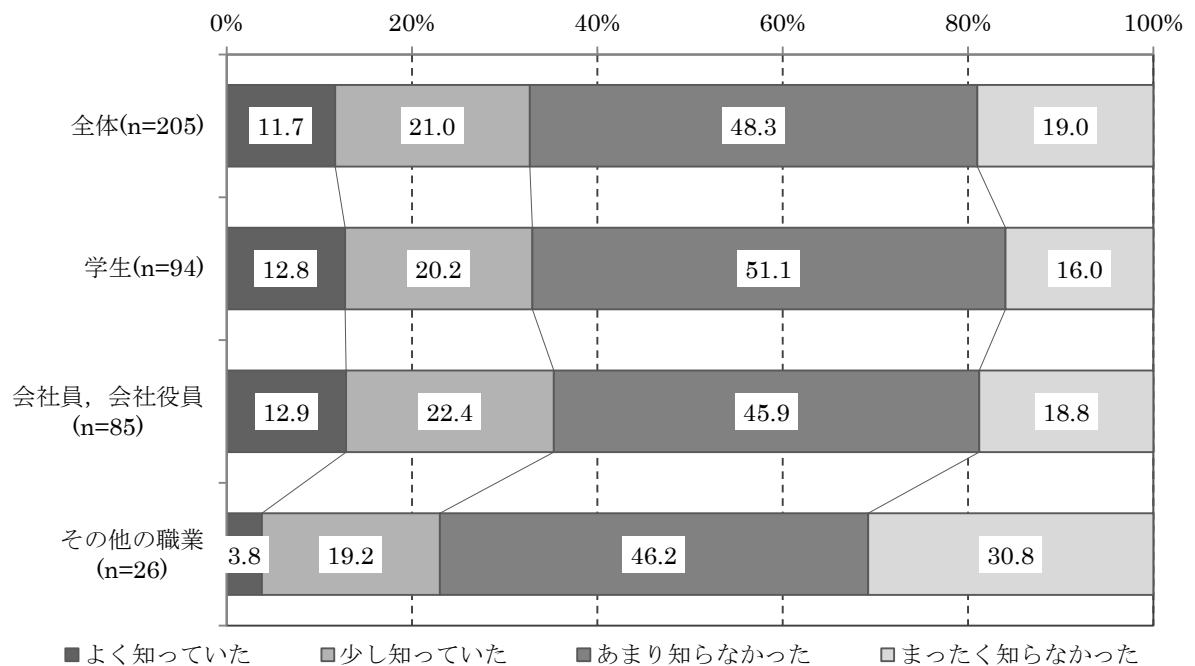
年代別（図 6-3）で見ると、いずれの年代においても「あまり知らなかった」が最も高く、そのうち 18 歳または 19 歳は 56.3% と最も高くなっている。

図 6-3 【年代別】 地元企業のことを知っていたか



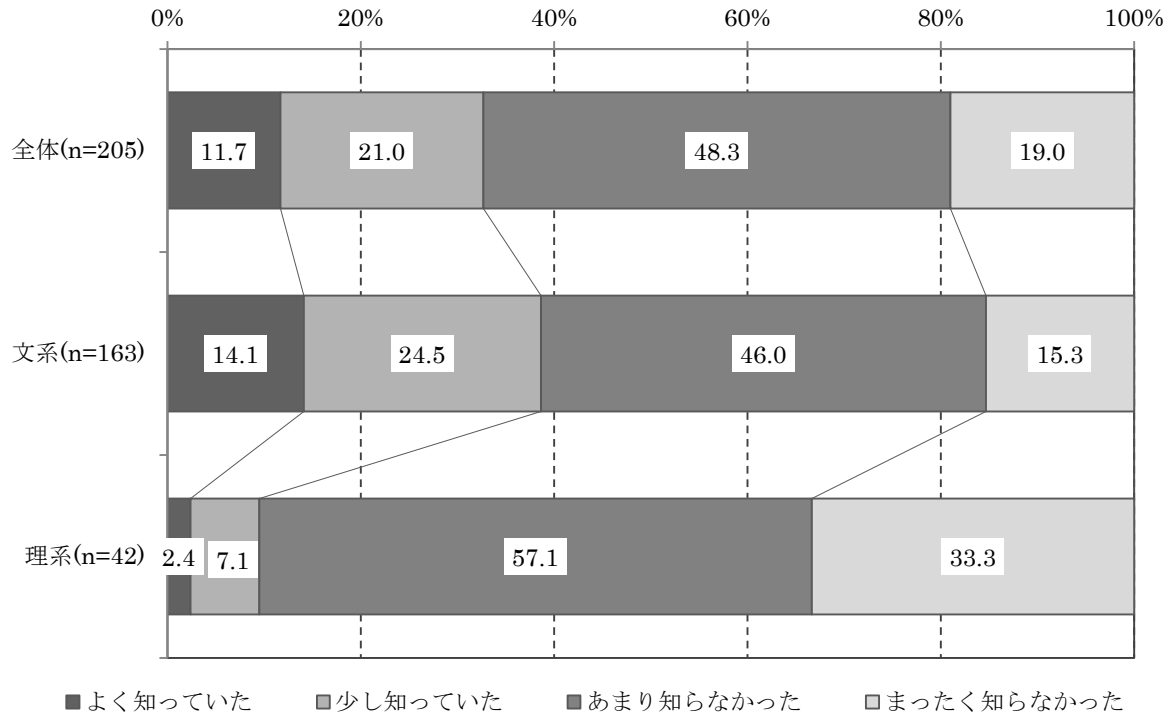
職業別（図 6-4）で見ると、いずれの職業においても「あまり知らなかった」が最も高く、そのうち学生は 51.1% と最も高くなっている。

図 6-4 【職業別】 地元企業のことを知っていたか



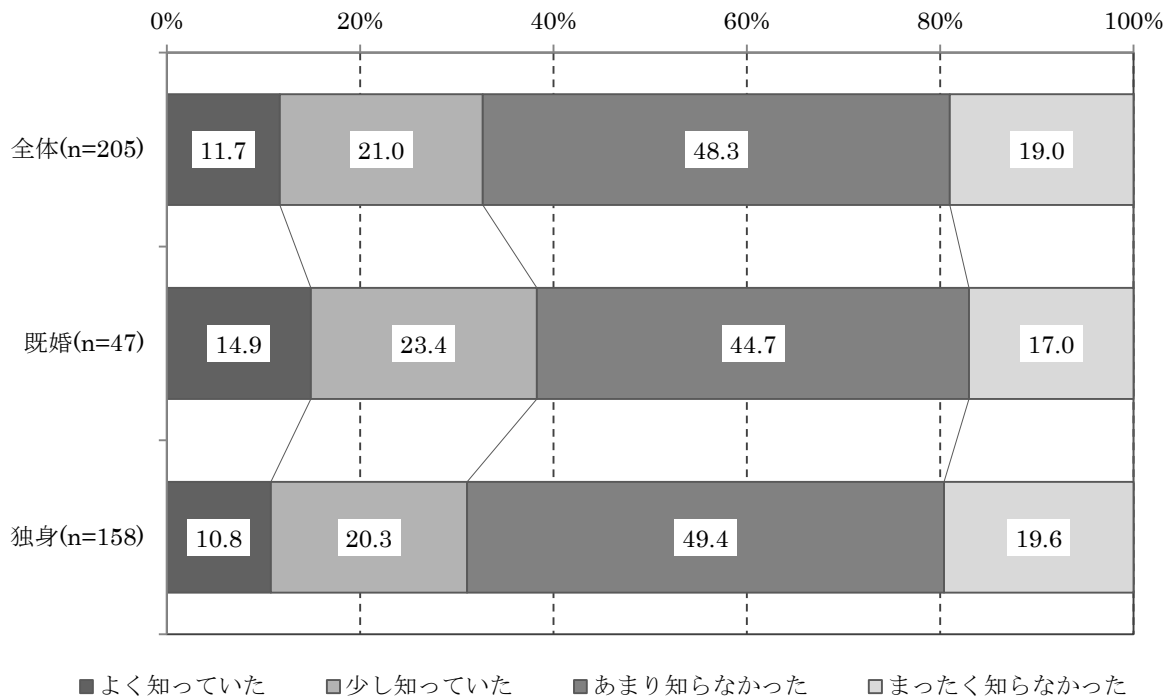
専攻別（図 6-5）で見ると、文系、理系ともに「あまり知らなかった」が最も高く、そのうち理系は 57.1%と最も高くなっている。

図 6-5 【専攻別】 地元企業のことを知っていたか



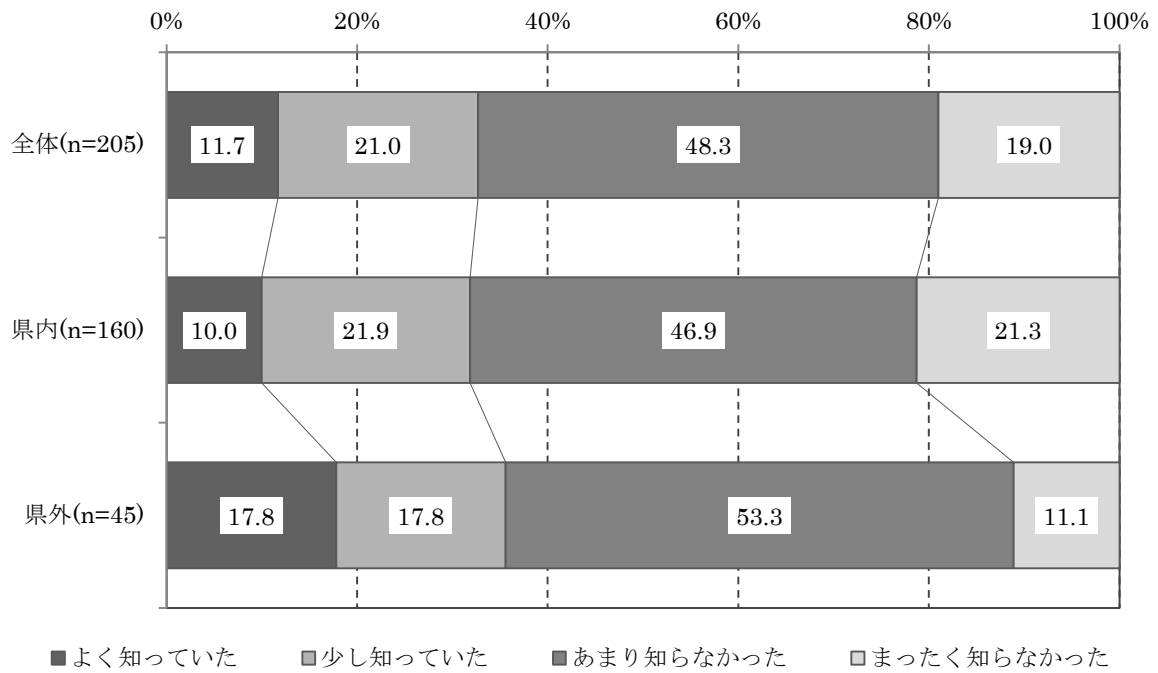
婚姻の状況別（図 6-6）で見ると、既婚、独身ともに「あまり知らなかった」が最も高く、そのうち独身は 49.4%と最も高くなっている。

図 6-6 【婚姻の状況別】 地元企業のことを知っていたか



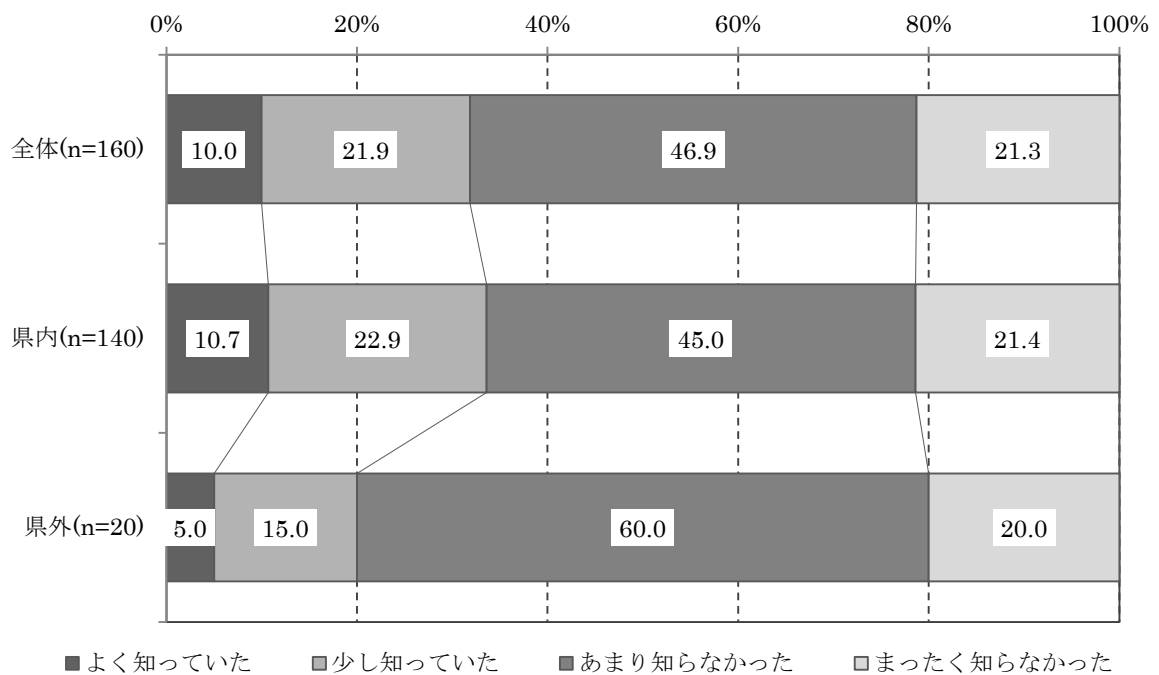
地元別（図 6-7）で見ると、県内、県外ともに「あまり知らなかった」が最も高く、そのうち県外は 53.3%と最も高くなっている。

図 6-7 【地元別】 地元企業のことを知っていたか



居住地域別（図 6-8）で見ると、県内、県外ともに「あまり知らなかった」が最も高く、そのうち県外は 60.0%と最も高くなっている。（回答者は地元が県内の方のみ）

図 6-8 【居住地域別】 地元企業のことを知っていたか



※ 地元が県内の方の回答

問7 岐阜県内で就職するために期待する行政支援

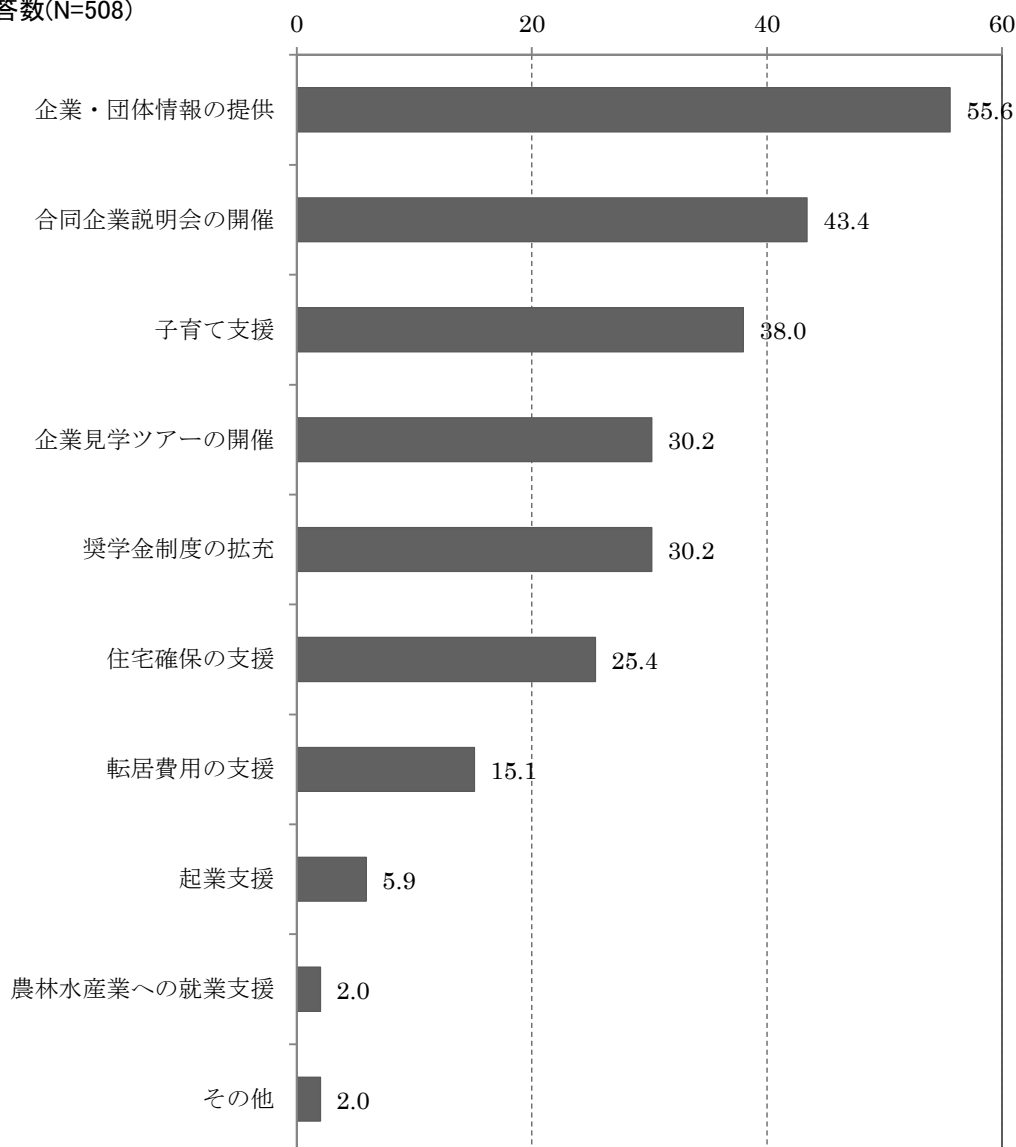
問7 あなたが岐阜県内で就職するために期待する行政支援は何ですか。
(3つまで)

全体(図7-1)で見ると、「企業・団体情報の提供」が55.6%と最も高く、次いで「合同企業説明会の開催」が43.4%、「子育て支援」が38.0%の順となっている。

図7-1 岐阜県内で就職するために期待する行政支援

回答者数(n=205)

総回答数(N=508)

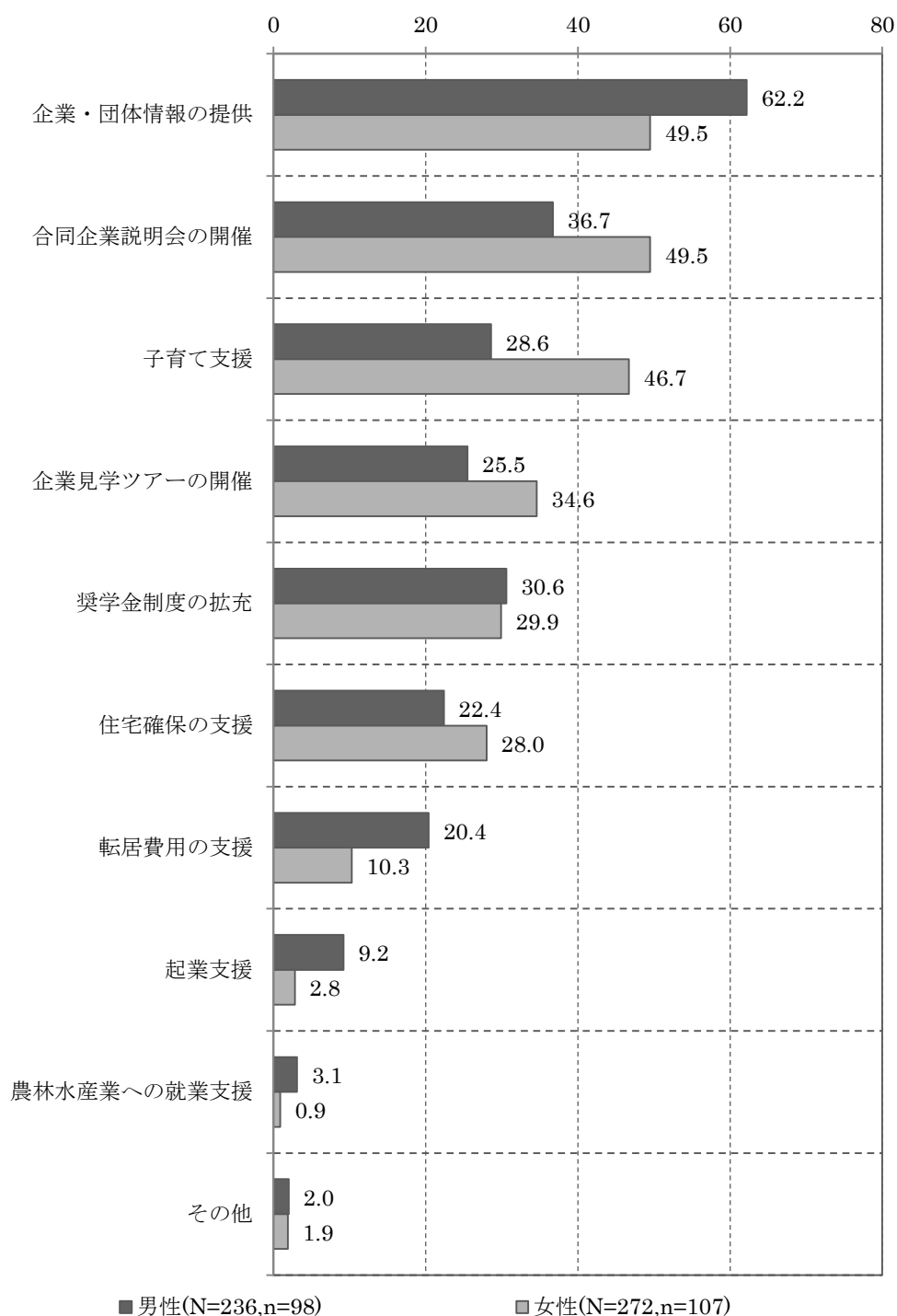


※「その他」の内容

- ・賃金の高さ。
- ・就職したくなるような優良な企業を増やす。企業への直接の支援。
- ・交通手段や費用の支援。

性別(図7-2)で見ると、男女ともに「企業・団体情報の提供」が最も高く、男性は62.2%、女性は49.5%となっている。女性は「合同企業説明会の開催」も49.5%と最も高くなっている。

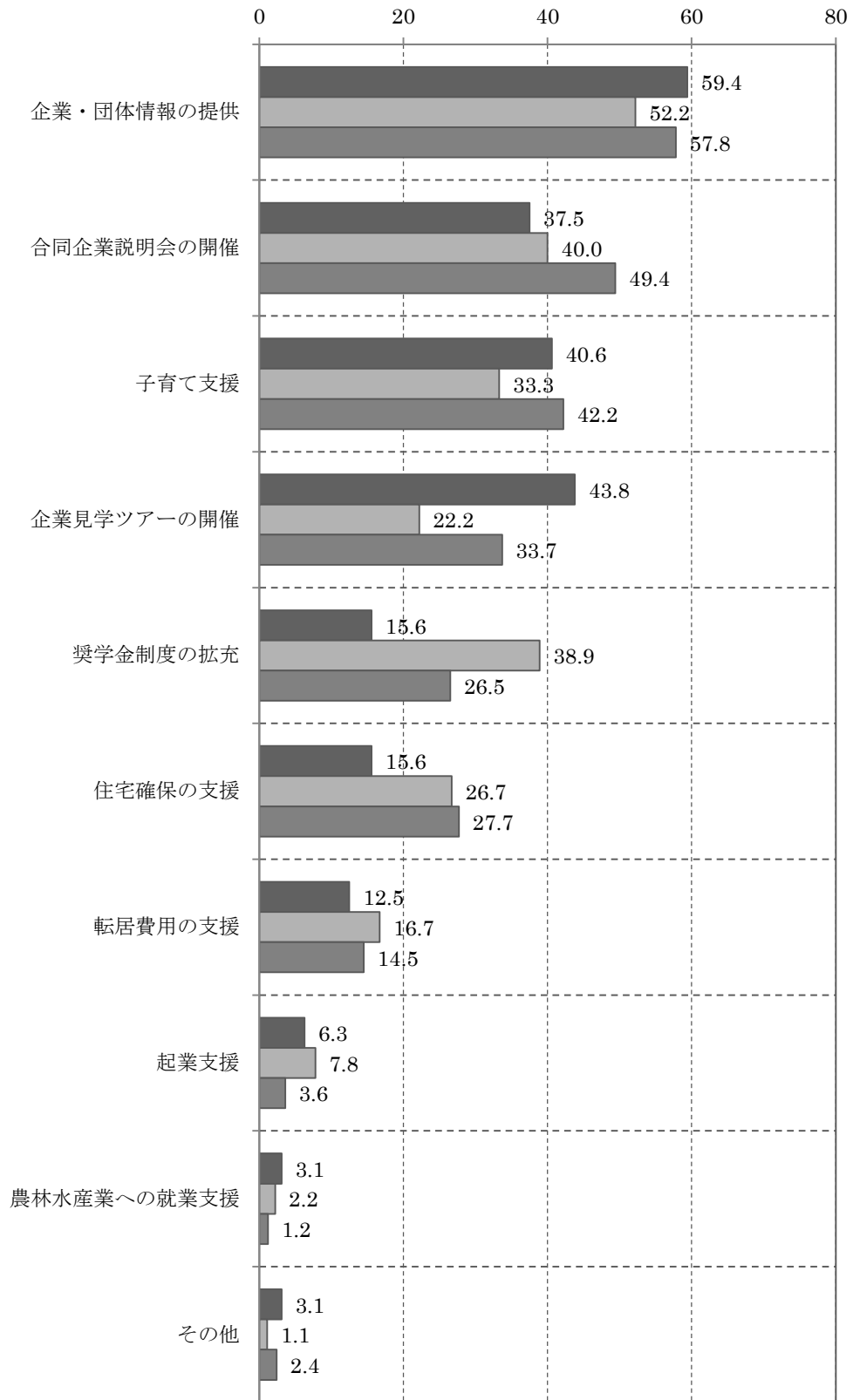
図7-2【性別】岐阜県内で就職するために期待する行政支援



※ N=総回答数 n=回答者数

年代別（図 7-3）で見ると、いずれの年代においても「企業・団体情報の提供」が最も高く、そのうち 18 歳または 19 歳は 59.4%と最も高くなっている。

図 7-3 【年代別】 岐阜県内で就職するために期待する行政支援

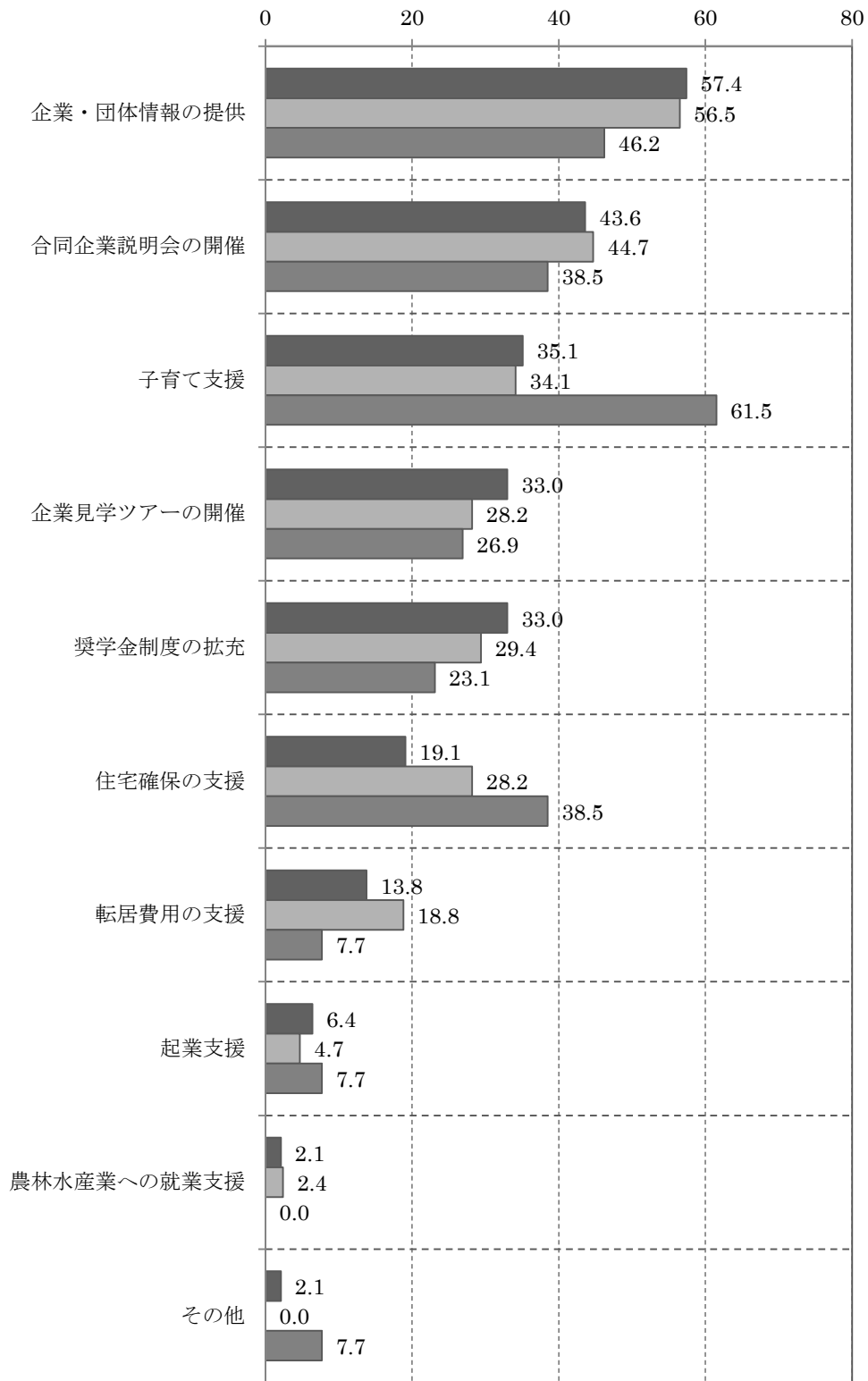


■ 18歳または19歳(N=76,n=32) ■ 20歳から24歳(N=217,n=90) ■ 25歳から29歳(N=215,n=83)

※ N=総回答数 n=回答者数

職業別（図7-4）で見ると学生、会社員、会社役員は「企業・団体情報の提供」が最も高く、そのうち学生は57.4%と最も高くなっている。その他の職業は「子育て支援」が61.5%と最も高くなっている。

図7-4 【職業別】 岐阜県内で就職するために期待する行政支援

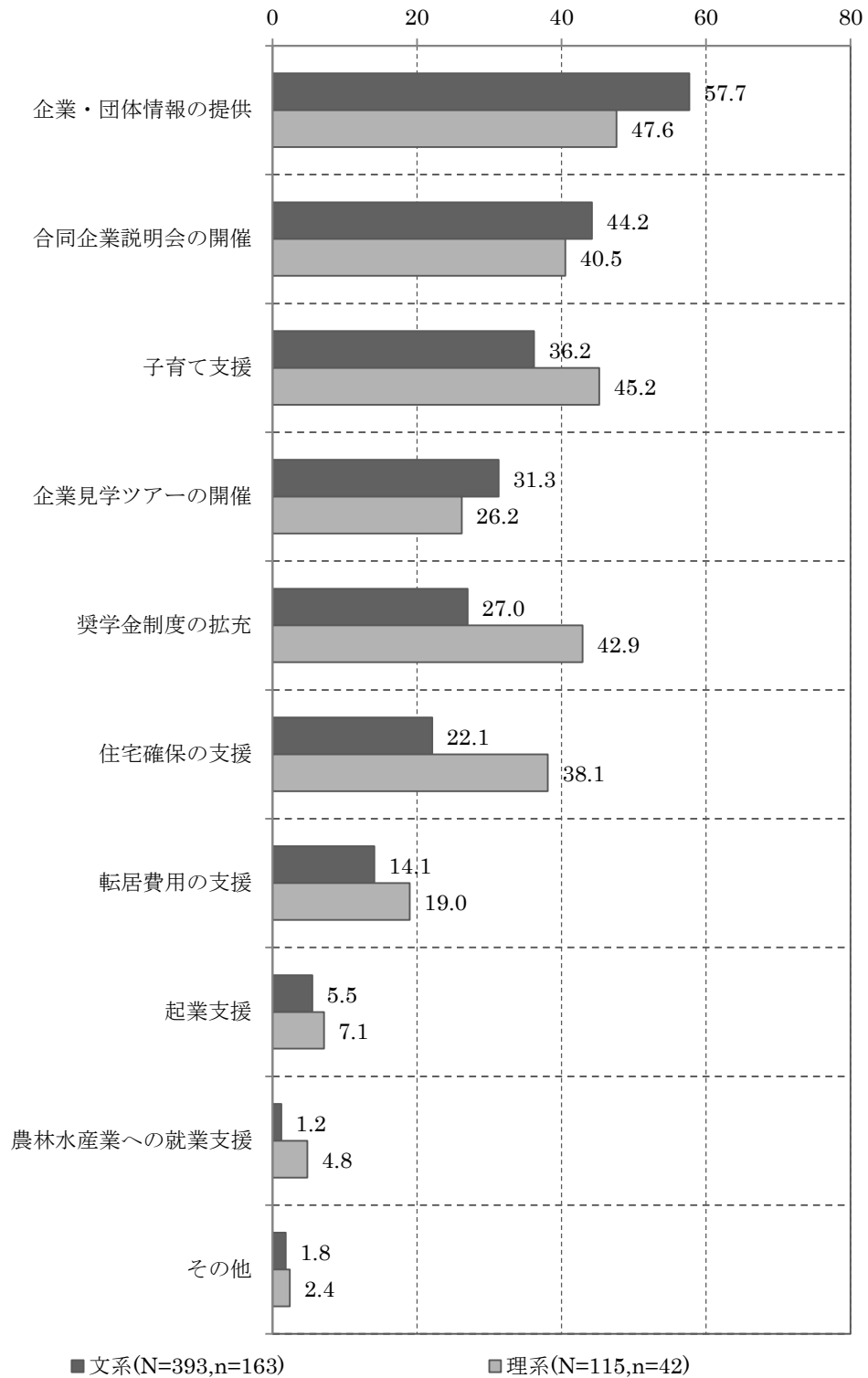


■ 学生(N=231,n=94) □ 会社員, 会社役員(N=210,n=85) ▒ その他の職業(N=67,n=26)

※ N=総回答数 n=回答者数

専攻別（図 7-5）で見ると、文系、理系ともに「企業・団体情報の提供」が最も高く、そのうち文系は 57.7%と最も高くなっている。

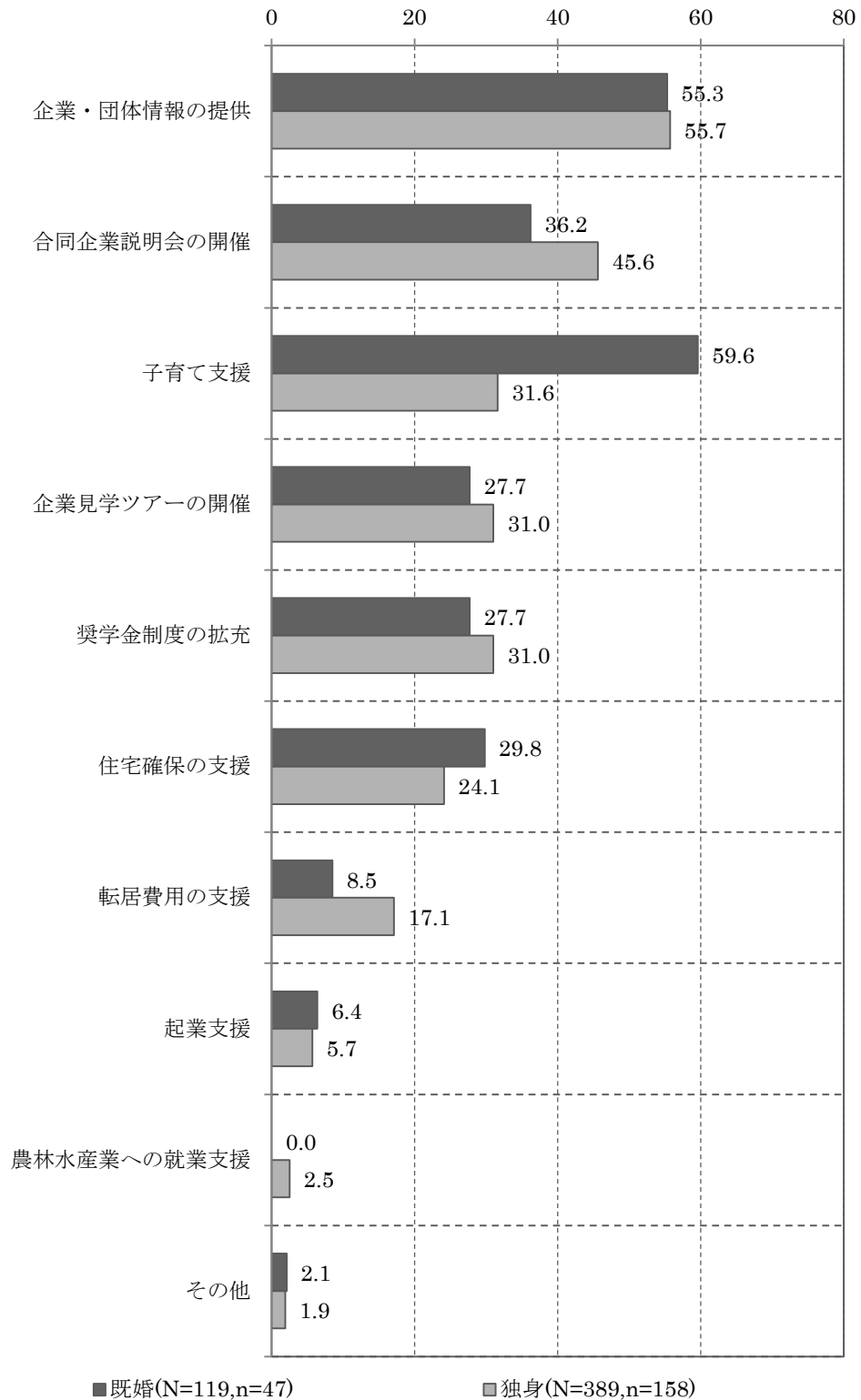
図 7-5 【専攻別】 岐阜県内で就職するために期待する行政支援



※ N=総回答数 n=回答者数

婚姻の状況別（図 7-6）でみると、既婚は「子育て支援」が 59.6%と最も高くなっている。独身は「企業・団体情報の提供」が 55.7%と最も高くなっている。

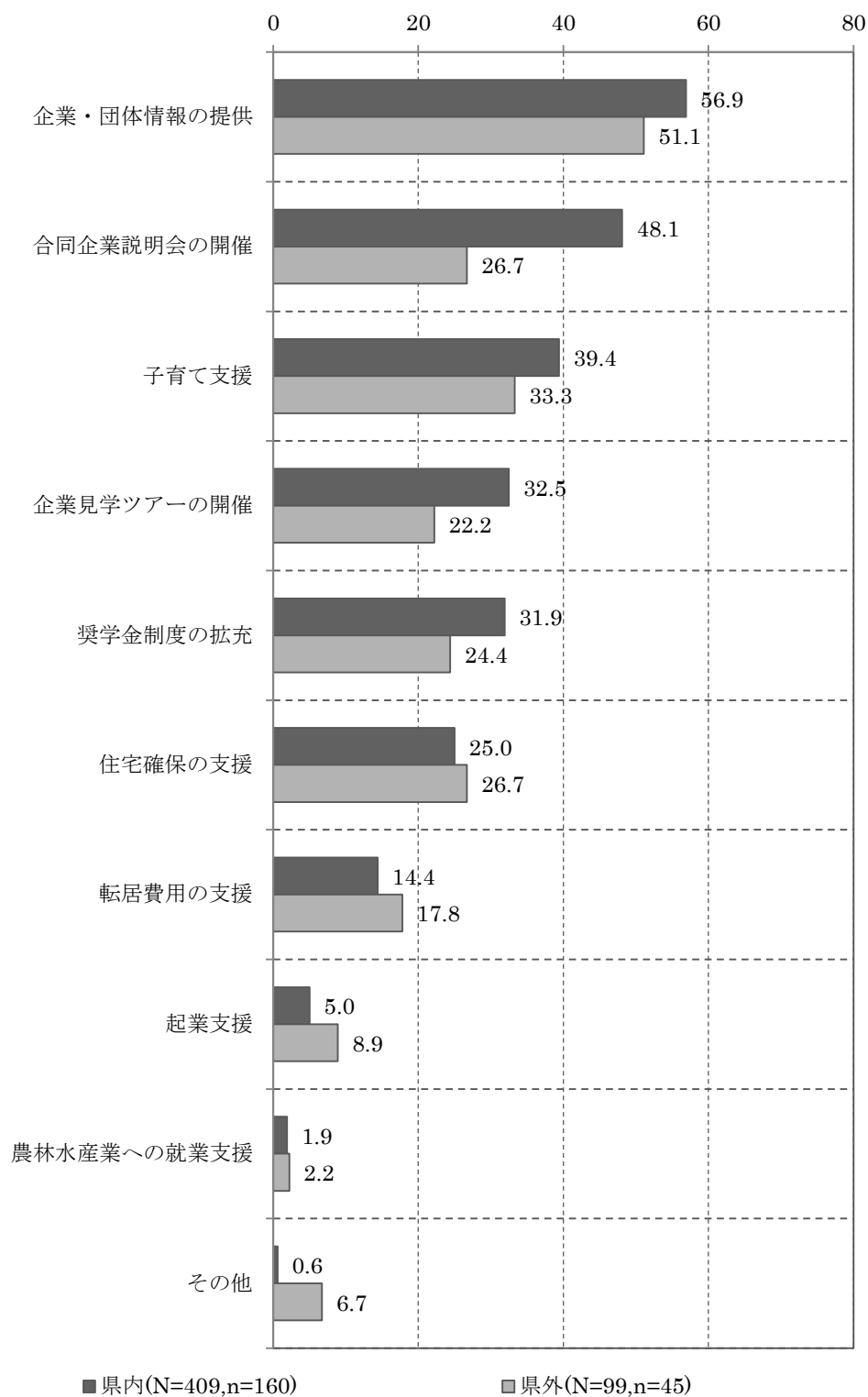
図 7-6 【婚姻の状況別】 岐阜県内で就職するために期待する行政支援



※ N=総回答数 n=回答者数

地元別（図 7-7）で見ると、県内、県外ともに「企業・団体情報の提供」が最も高く、そのうち県内は 56.9%と最も高くなっている。

図 7-7 【地元別】 岐阜県内で就職するために期待する行政支援



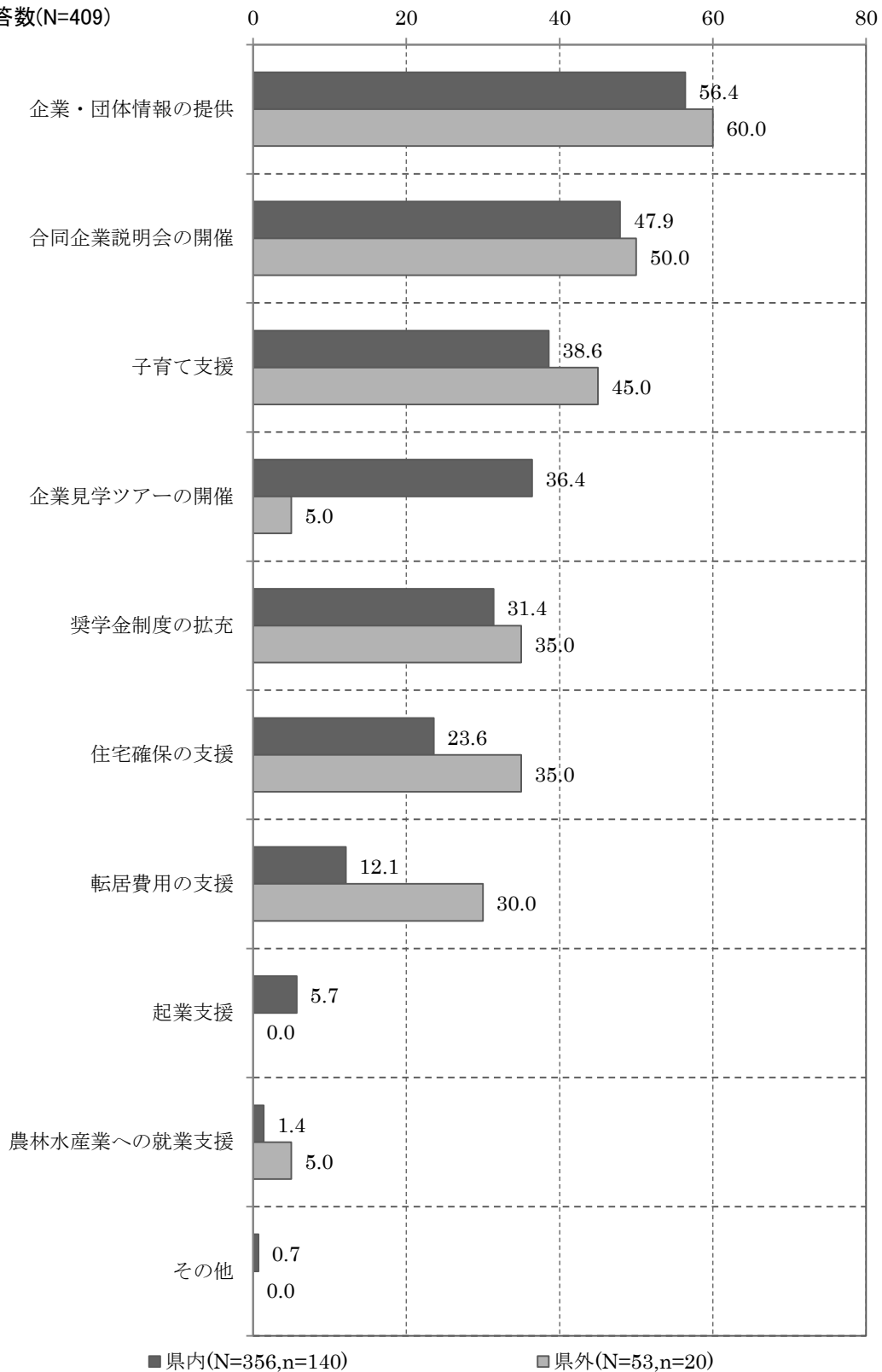
※ N=総回答数 n=回答者数

居住地域別（図 7-8）で見ると、県内、県外ともに「企業・団体情報の提供」が最も高く、そのうち県外は60.0%と最も高くなっている。（回答者は地元が県内の方のみ）

図 7-8 【居住地域別】 岐阜県内で就職するために期待する行政支援

回答者数(n=160)※

総回答数(N=409)



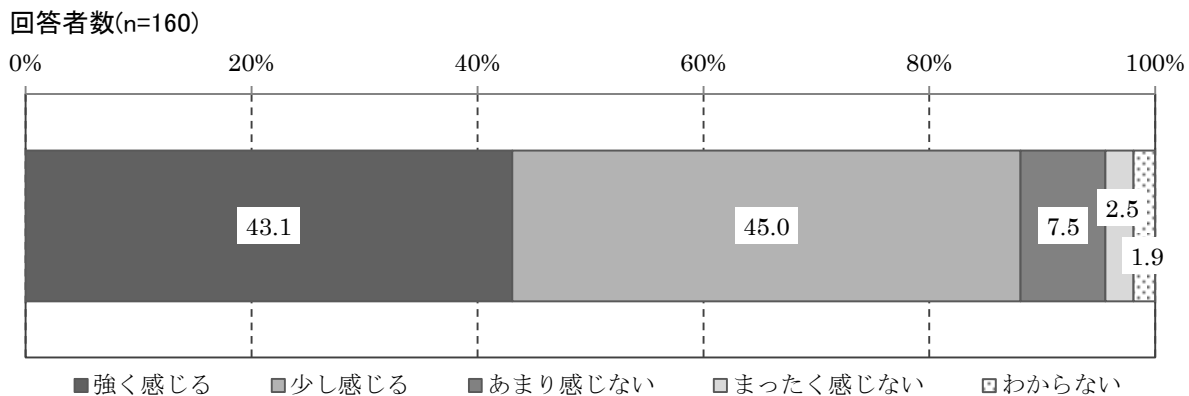
※ 地元が県内の方の回答

問8 地元への愛着

問8 あなたは地元に愛着を感じますか。
(1つだけ)

全体(図8-1)で見ると、「少し感じる」が45.0%と最も高く、次いで「強く感じる」が43.1%、「あまり感じない」が7.5%、「まったく感じない」が2.5%、「わからない」が1.9%の順となっている。(回答者は地元が県内の方のみ)

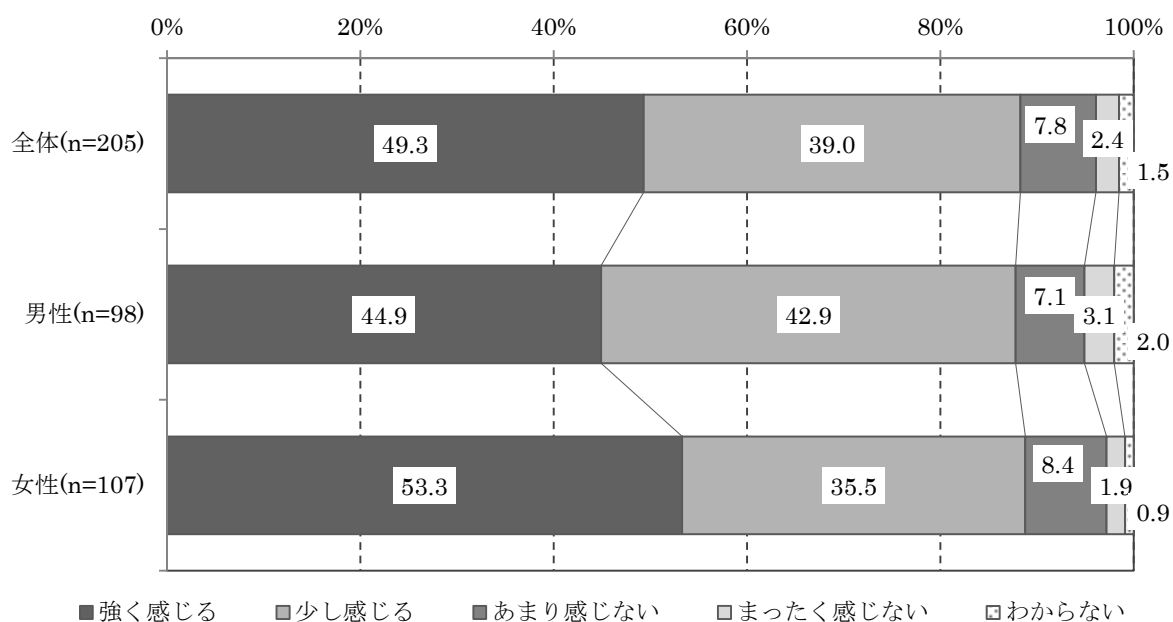
図8-1 地元への愛着



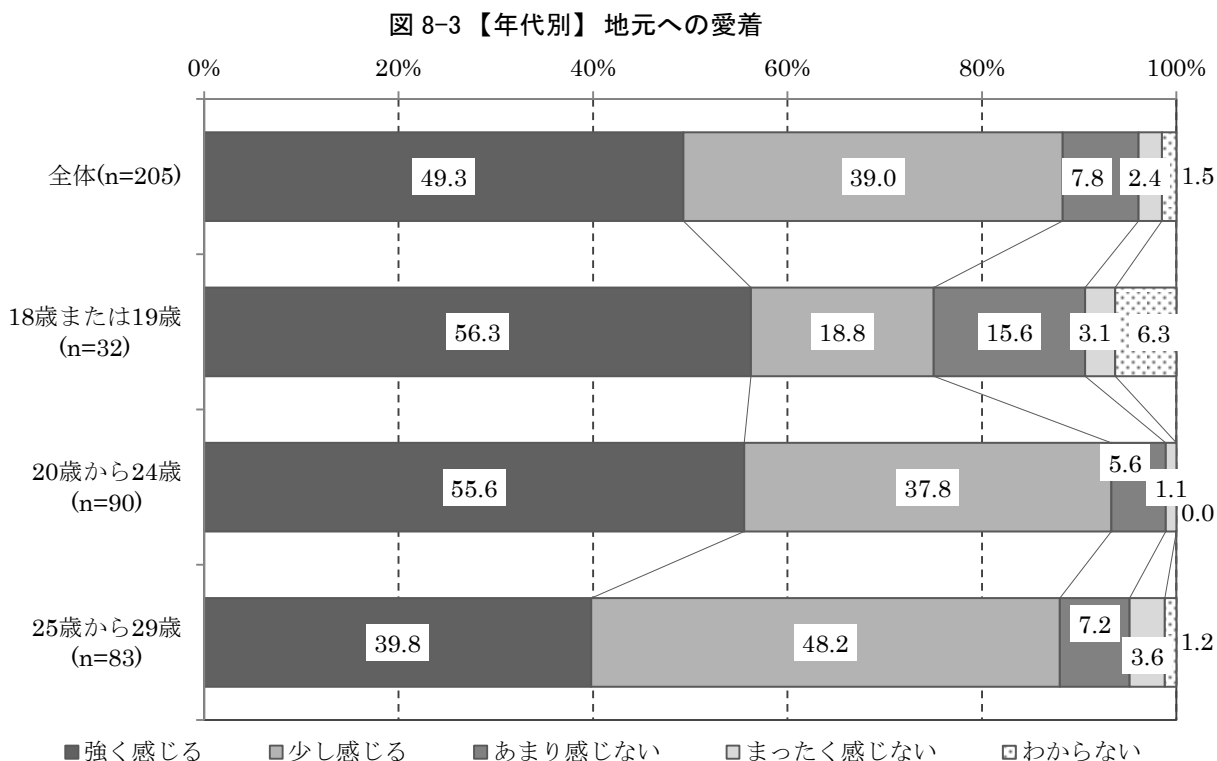
※地元が県内の方の回答

性別(図8-2)で見ると、男女ともには「強く感じる」が最も高く、そのうち女性は53.3%と最も高くなっている。

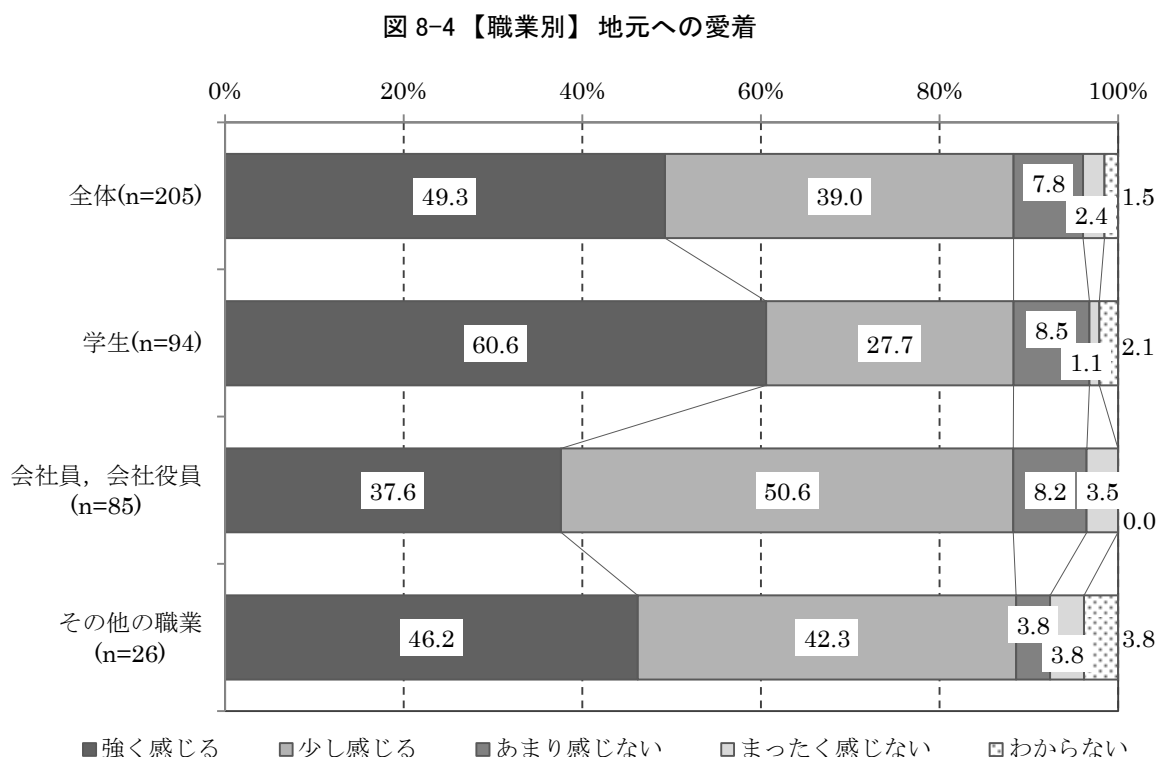
図8-2【性別】 地元への愛着



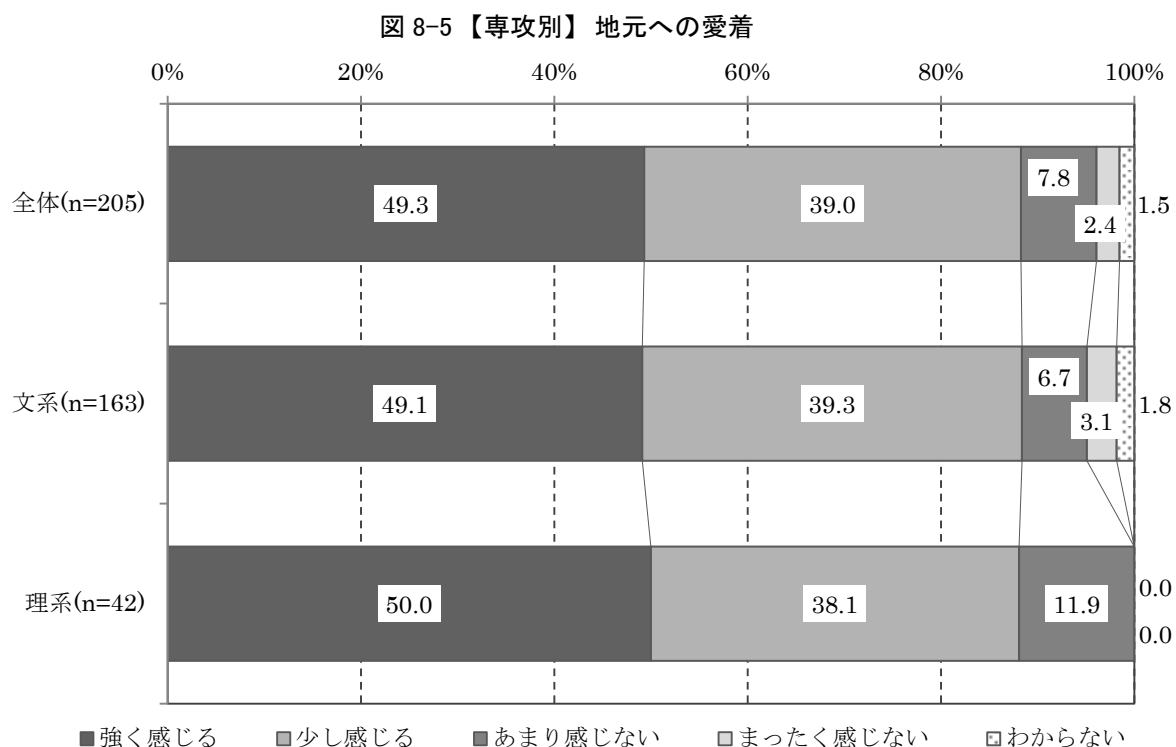
年代別（図 8-3）で見ると、18 歳から 24 歳は「強く感じる」が最も高く、そのうち 18 歳または 19 歳が 56.3%と最も高くなっている。25 歳から 29 歳は「少し感じる」が 48.2%と最も高くなっている。



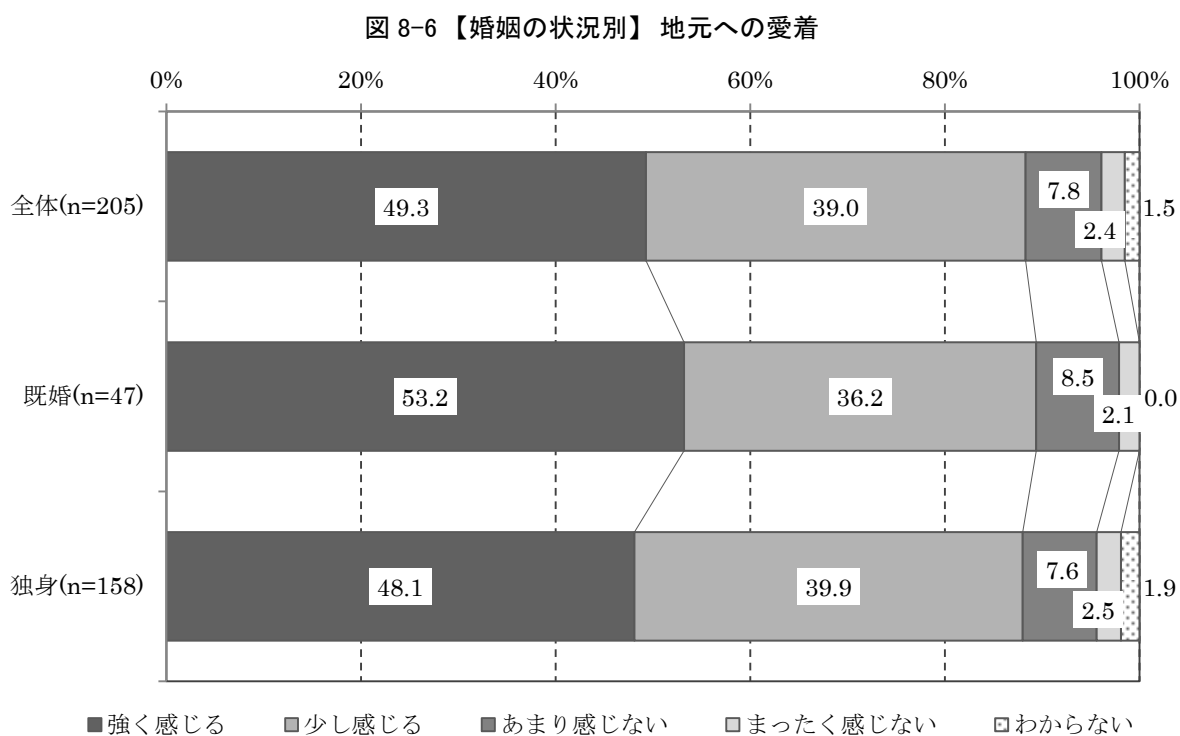
職業別（図 8-4）で見ると、学生とその他の職業は「強く感じる」が最も高く、そのうち学生は 60.6%と最も高くなっている。会社員、会社役員は「少し感じる」が 50.6%と最も高くなっている。



専攻別（図 8-5）で見ると、文系、理系ともに「強く感じる」が最も高く、そのうち理系は 50.0%と最も高くなっている。

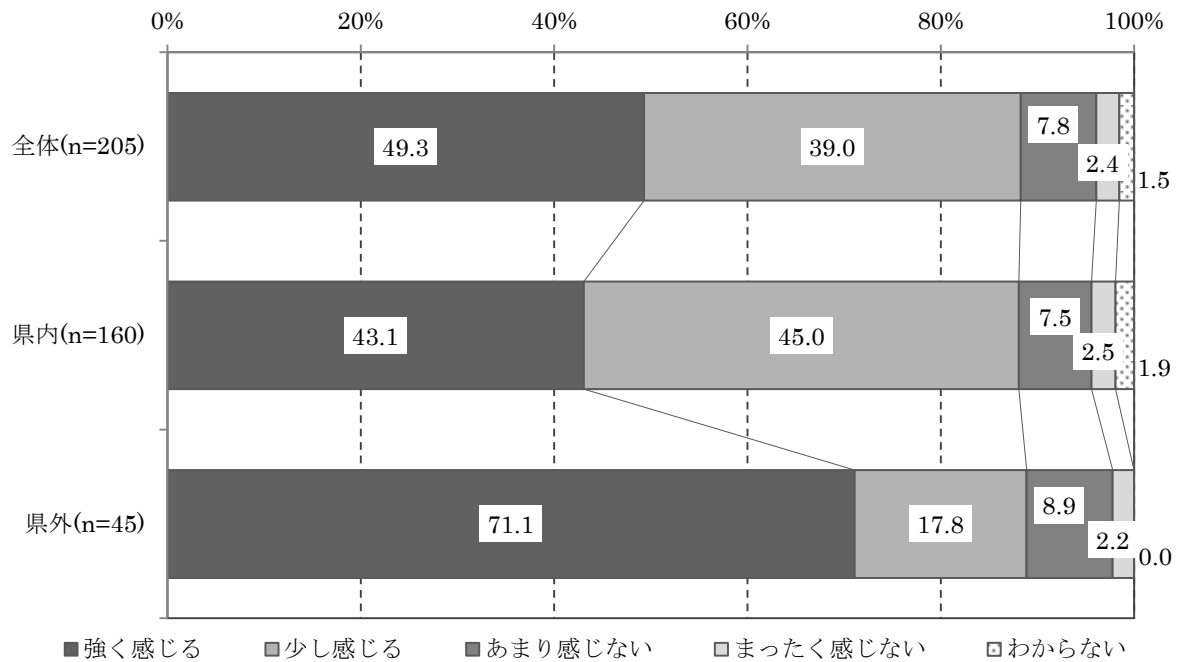


婚姻の状況別（図 8-6）で見ると、既婚、独身ともに「強く感じる」が最も高く、そのうち既婚は 53.2%と最も高くなっている。



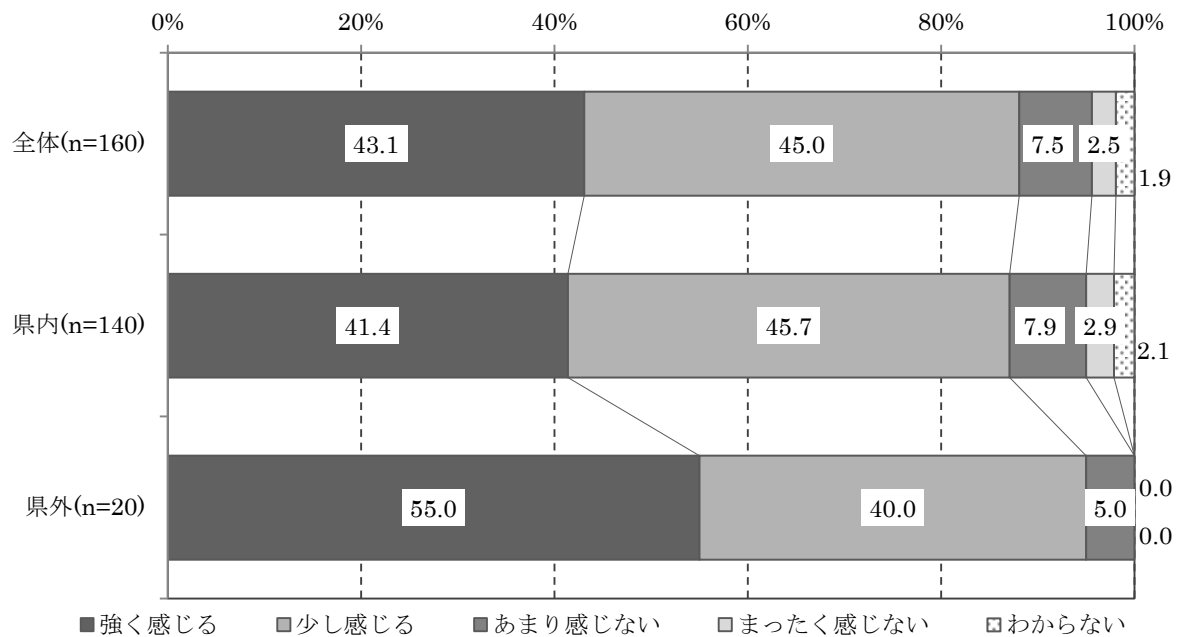
地元別（図 8-7）で見ると、県内は「少し感じる」が 45.0%と最も高くなっている。県外は「強く感じる」が 71.1%と最も高くなっている。

図 8-7 【地元別】 地元への愛着



居住地域別（図 8-8）で見ると、県内は「少し感じる」が 45.7%と最も高くなっている。県外は「強く感じる」が 55.0%と最も高くなっている。（回答者は地元が県内の方のみ）

図 8-8 【居住地域別】 地元への愛着



※ 地元が県内の方の回答

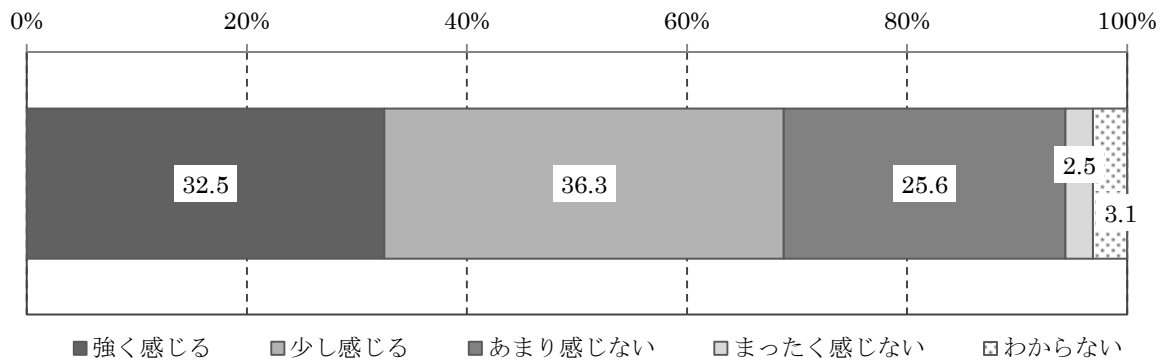
問8-2 地元への誇り

問8-2 あなたは地元に誇りを感じますか。
(1つだけ)

全体（図 8-2-1）で見ると、「少し感じる」が 36.3%と最も高く、次いで「強く感じる」が 32.5%、「あまり感じない」が 25.6%、「わからない」が 3.1%、「まったく感じない」が 2.5%の順となっている。（回答者は地元が県内の方のみ）

図 8-2-1 地元への誇り

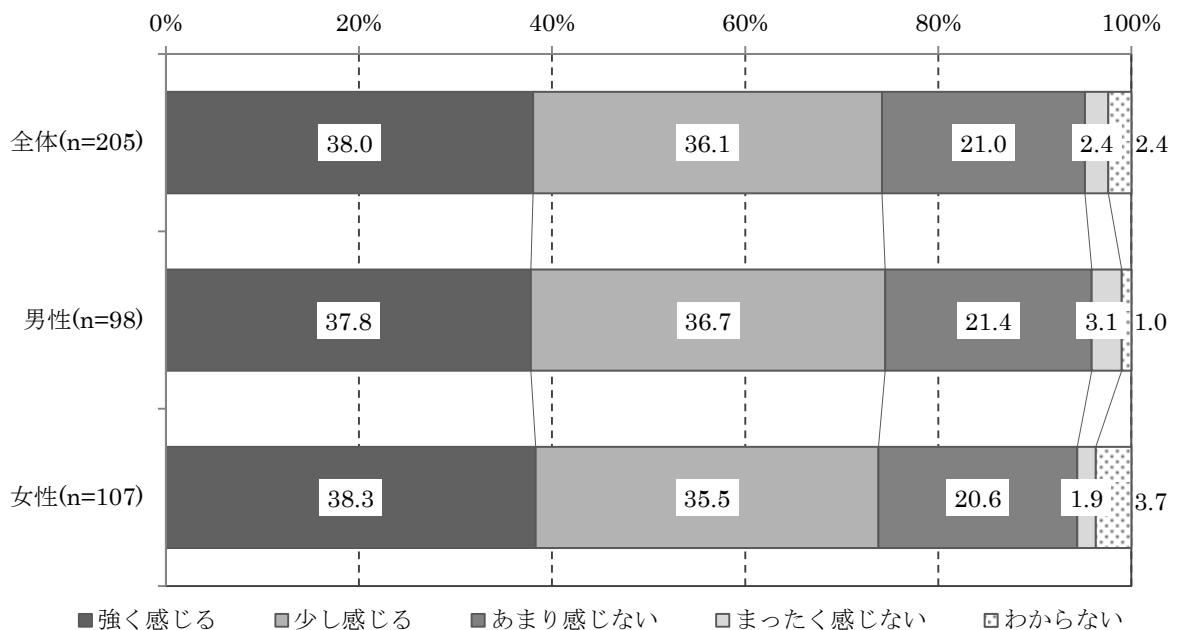
回答者数(n=160)



※地元が県内の方の回答

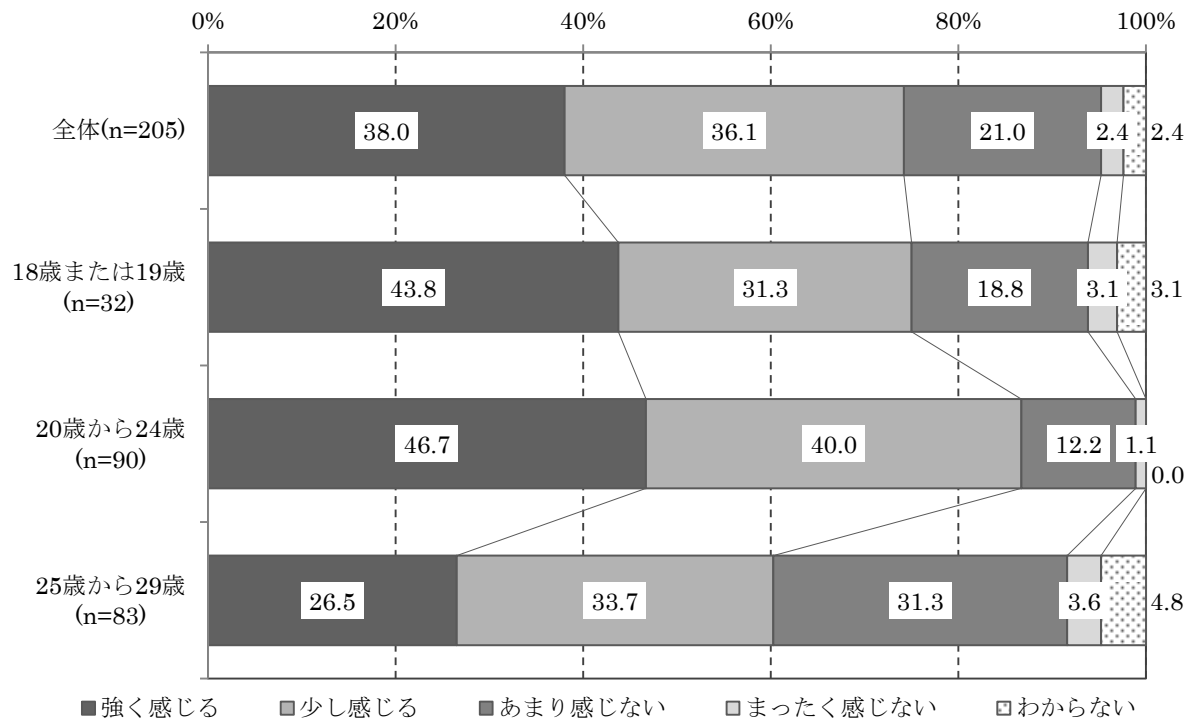
性別（図 8-2-2）で見ると、男女ともに「強く感じる」が最も高く、そのうち女性は 38.3%と最も高くなっている。

図 8-2-2 【性別】 地元への誇り



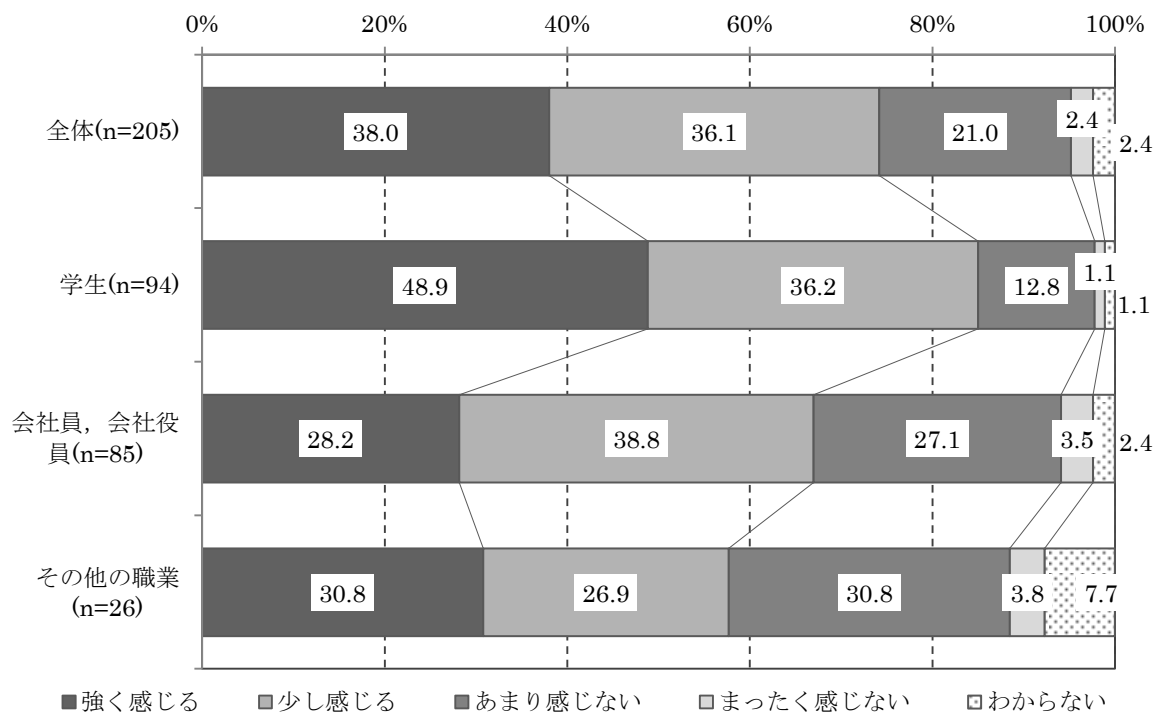
年代別（図 8-2-3）で見ると、18 歳から 24 歳は「強く感じる」が最も高く、そのうち 20 歳から 24 歳が 46.7%と最も高くなっている。25 歳から 29 歳は「少し感じる」が 33.7%と最も高くなっている。

図 8-2-3 【年代別】 地元への誇り



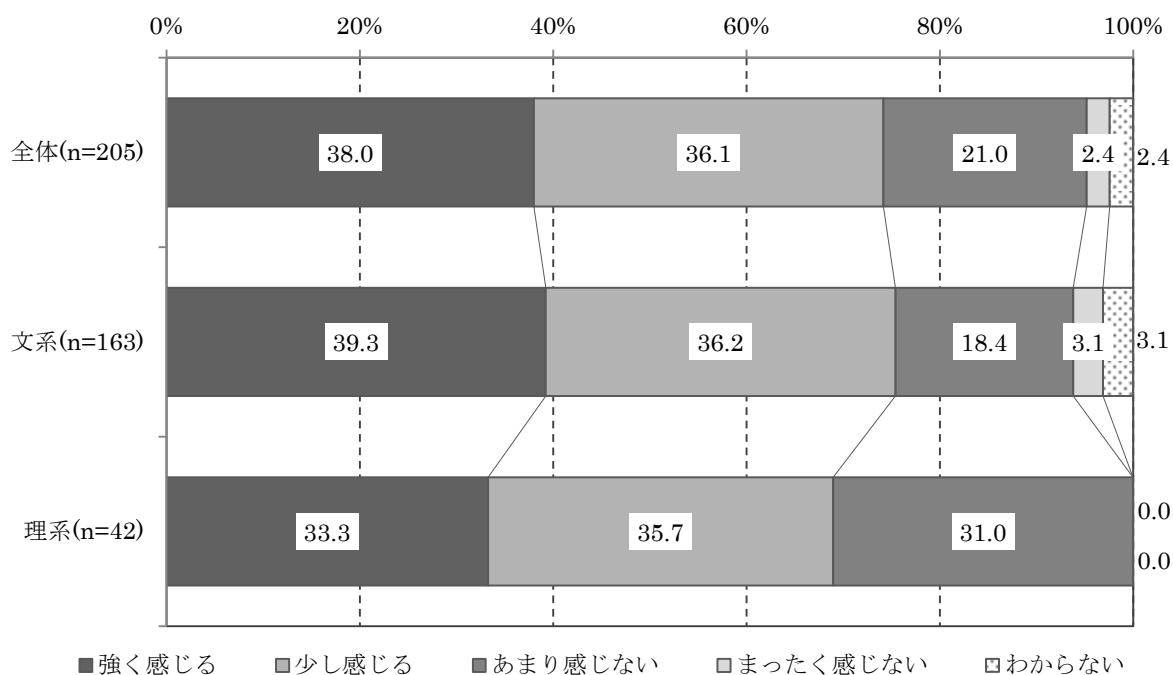
職業別（図 8-2-4）で見ると、学生、その他の職業ともに「強く感じる」が最も高く、そのうち学生は 48.9%と最も高くなっている。会社員、会社役員は「少し感じる」が 38.8%と最も高くなっている。

図 8-2-4 【職業別】 地元への誇り



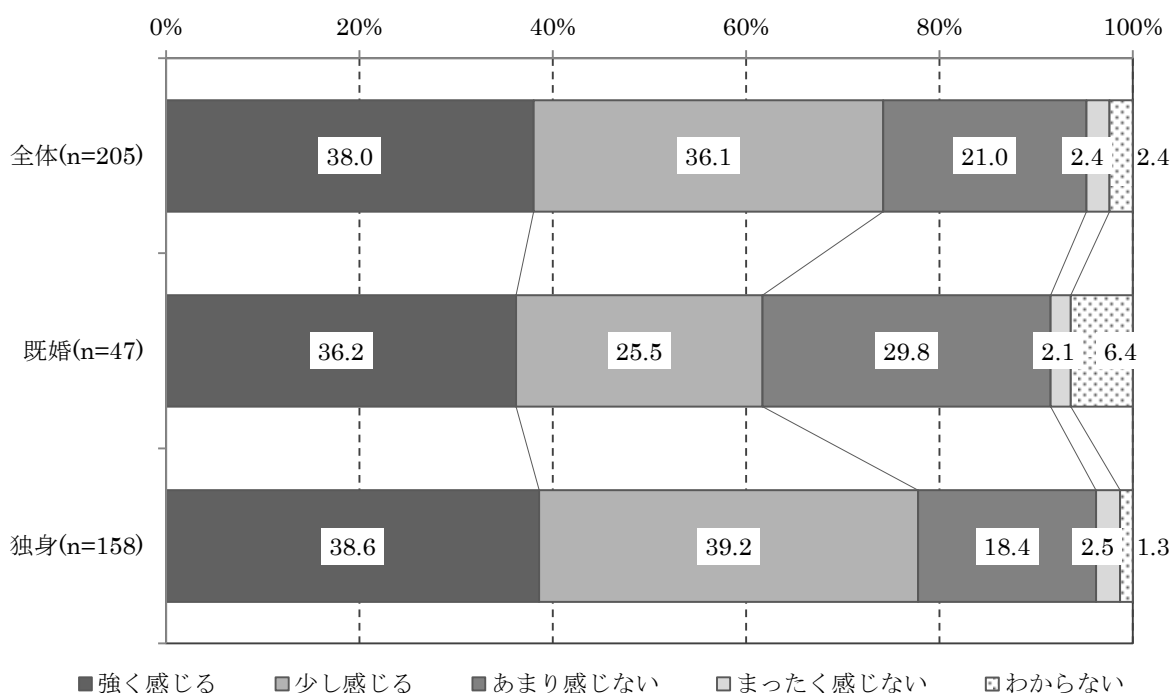
専攻別（図 8-2-5）で見ると、文系は「強く感じる」が 39.3%と最も高くなっている。理系は「少し感じる」が 35.7%と最も高くなっている。

図 8-2-5 【専攻別】 地元への誇り



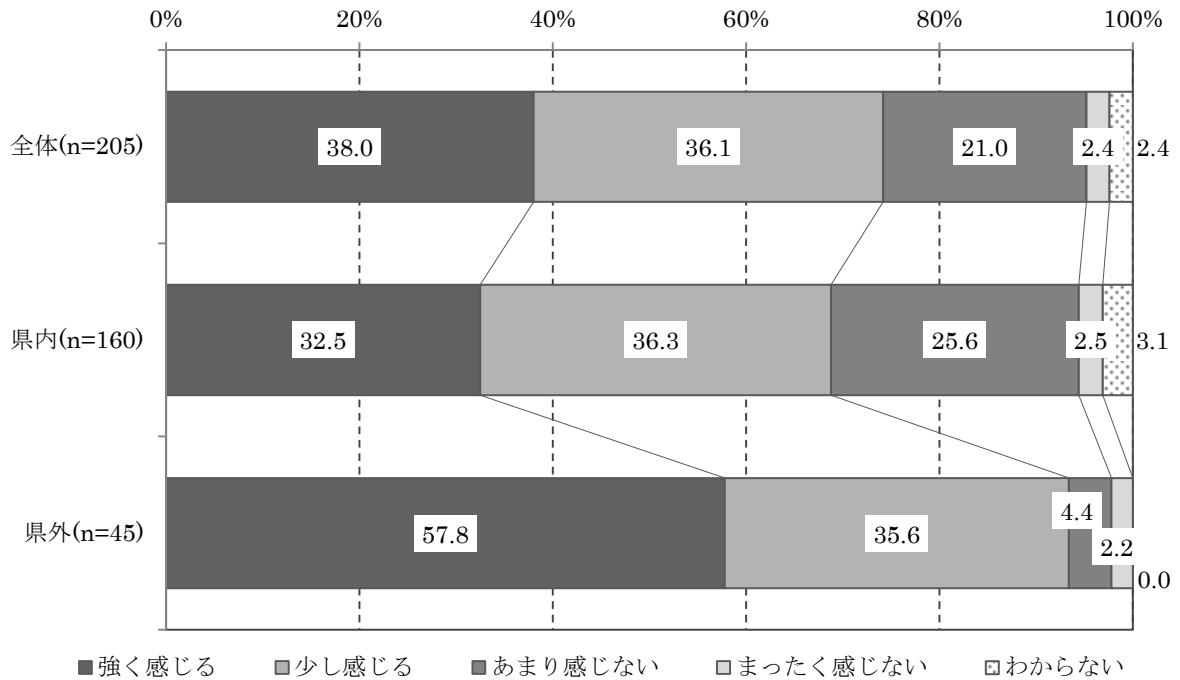
婚姻の状況別（図 8-2-6）で見ると、既婚は「強く感じる」が 36.2%と最も高くなっている。独身は「少し感じる」が 39.2%と最も高くなっている。

図 8-2-6 【婚姻の状況別】 地元への誇り



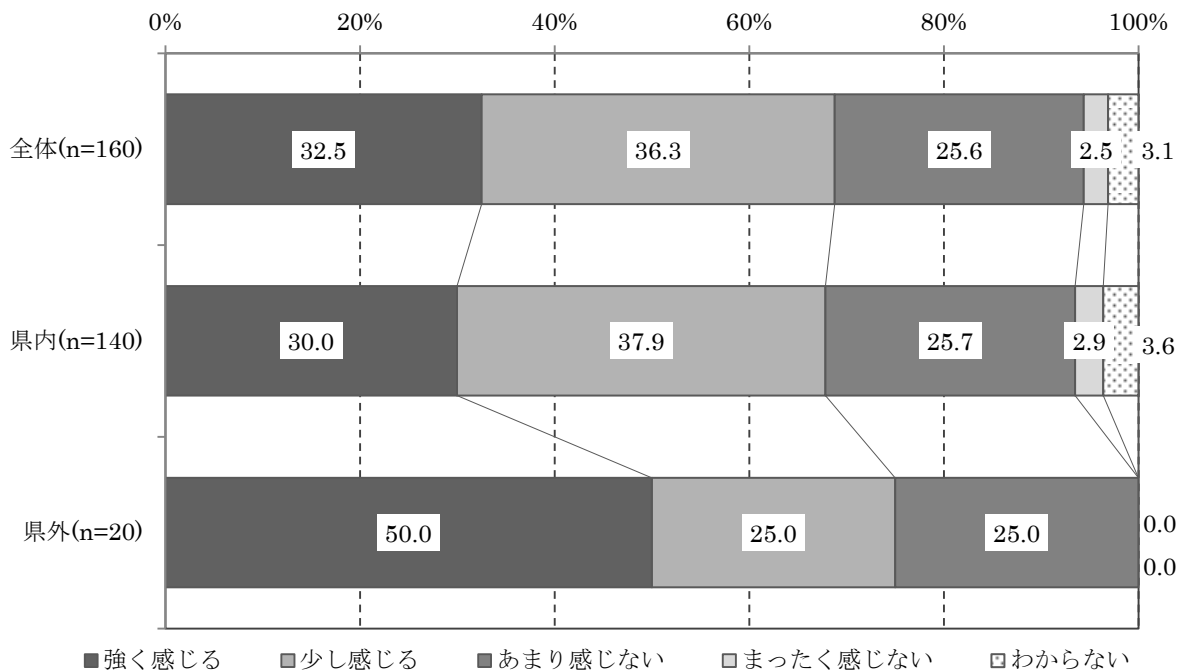
地元別（図 8-2-7）で見ると、県内は「少し感じる」が 36.3%と最も高くなっている。県外は「強く感じる」が 57.8%と最も高くなっている。

図 8-2-7 【地元別】 地元への誇り



居住地域別（図 8-2-8）で見ると、県内は「少し感じる」が 37.9%と最も高くなっている。県外は「強く感じる」が 50.0%と最も高くなっている。（回答者は地元が県内の方のみ）

図 8-2-8 【居住地域別】 地元への誇り



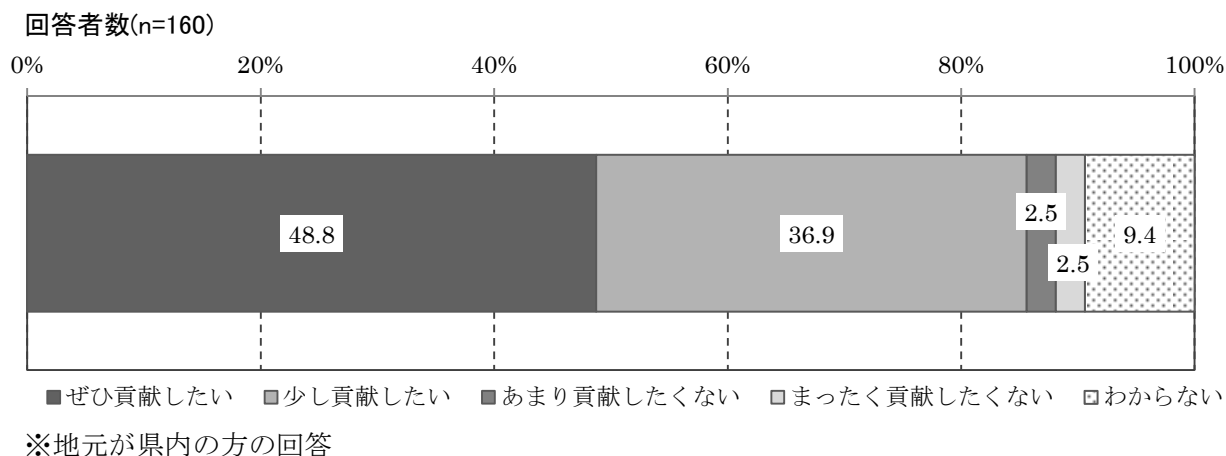
※ 地元が県内の方の回答

問9 地元の活性化への貢献

問9 あなたは地元の活性化に貢献したいと思いますか。
(1つだけ)

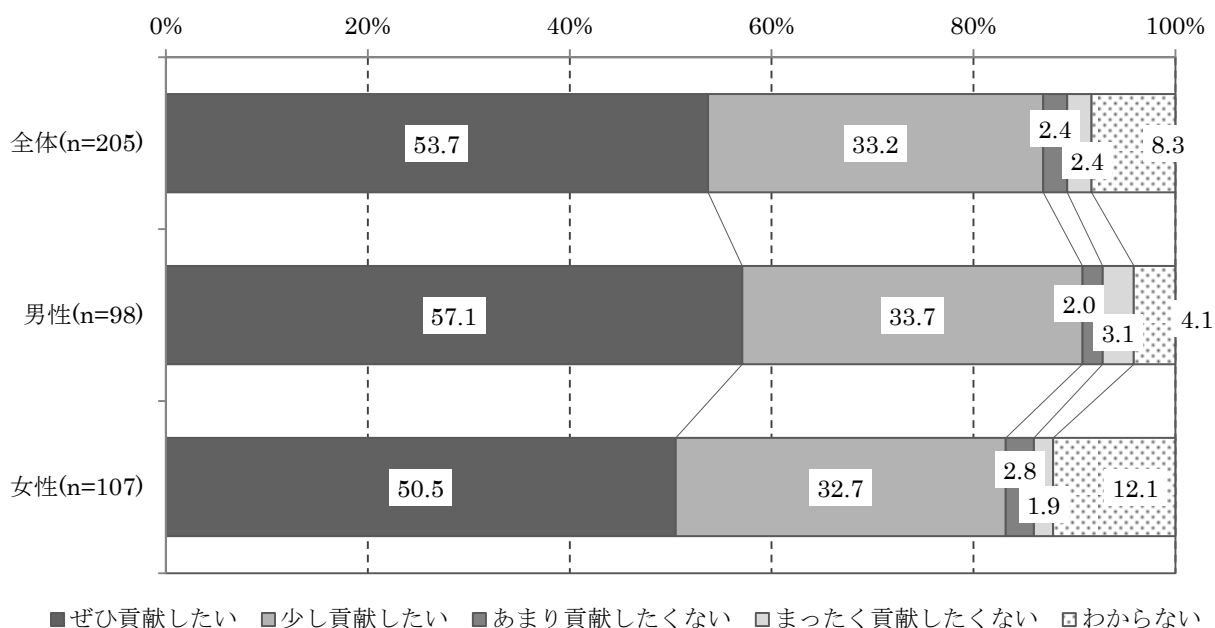
全体（図9-1）で見ると、「ぜひ貢献したい」が48.8%と最も高く、次いで「少し貢献したい」が36.9%、「わからない」が9.4%、「あまり貢献したくない」「まったく貢献したくない」がともに2.5%の順となっている。（回答者は地元が県内の方のみ）

図9-1 地元の活性化への貢献



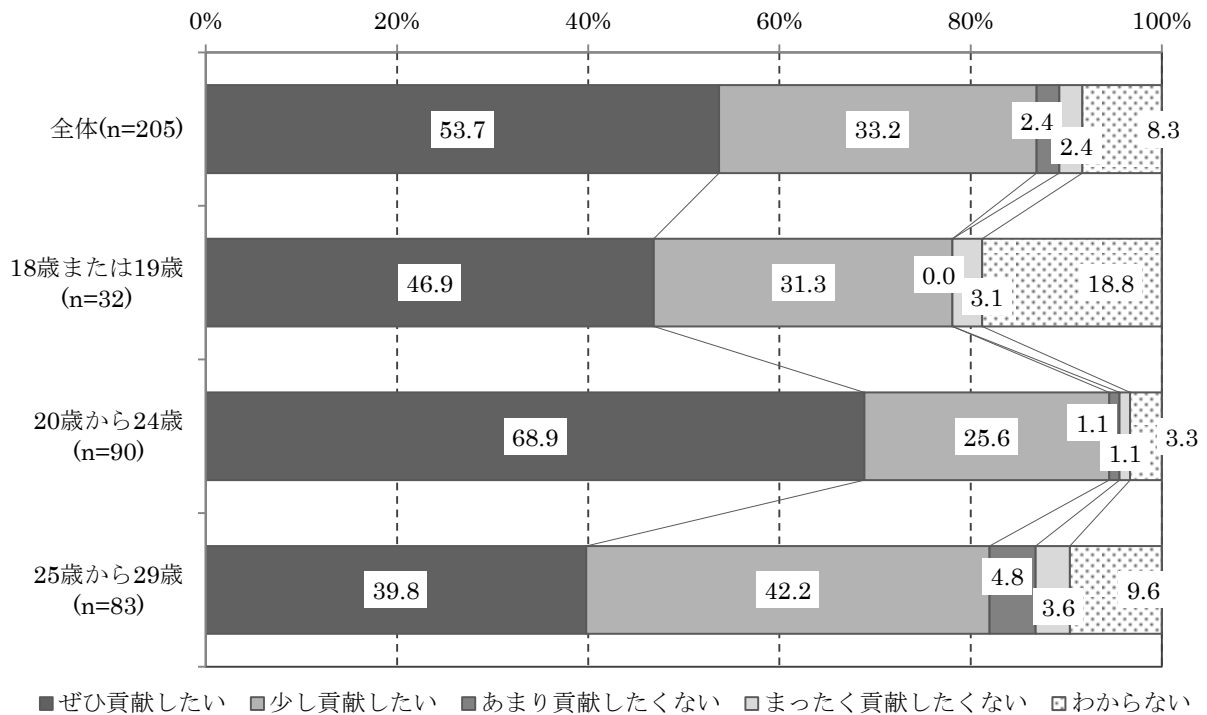
性別（図9-2）で見ると、男女ともに「ぜひ貢献したい」が最も高く、そのうち男性は57.1%と最も高くなっている。

図9-2 【性別】地元の活性化への貢献



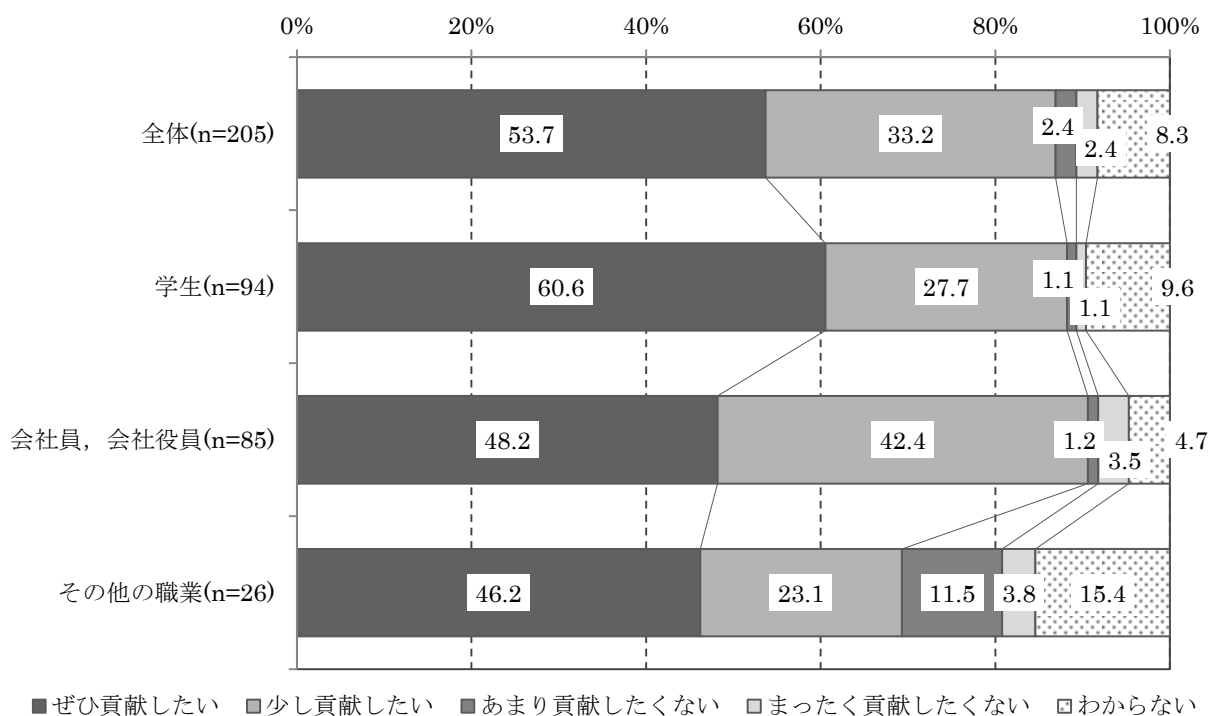
年代別（図 9-3）で見ると、18 歳から 24 歳は「ぜひ貢献したい」が最も高く、そのうち 20 歳から 24 歳が 68.9%と最も高くなっている。25 歳から 29 歳は「少し貢献したい」が 42.2%と最も高くなっている。

図 9-3 【年代別】 地元の活性化への貢献



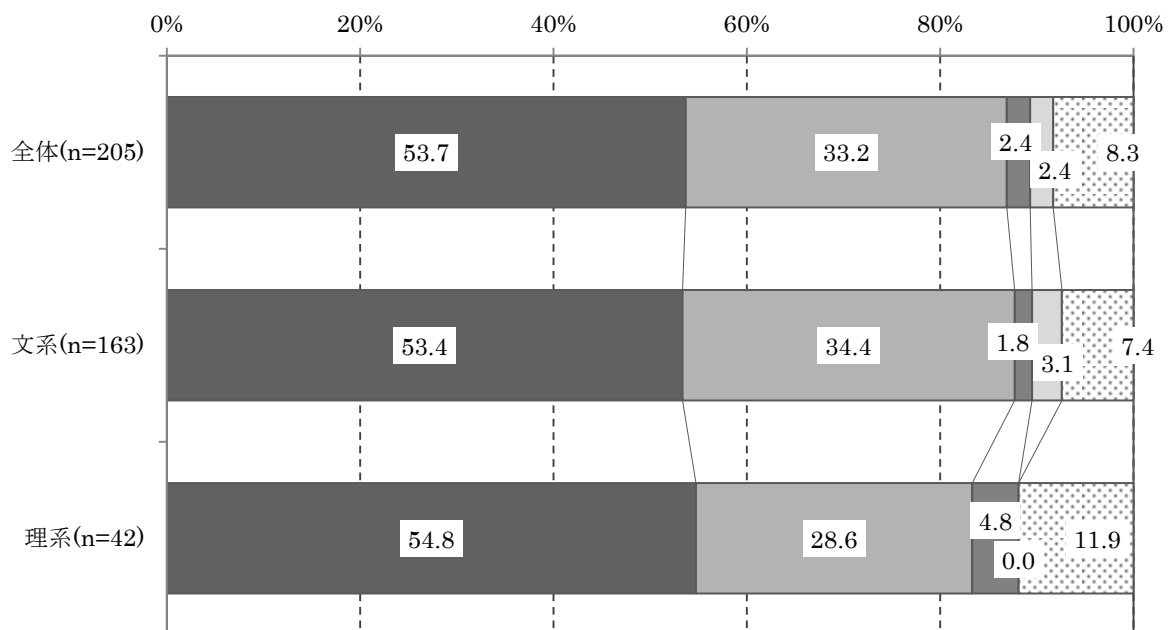
職業別（図 9-4）で見ると、いずれの職業においても「ぜひ貢献したい」が最も高くそのうち学生は 60.6%と最も高くなっている。

図 9-4 【職業別】 地元の活性化への貢献



専攻別（図 9-5）で見ると、文系、理系ともに「ぜひ貢献したい」が最も高く、そのうち理系は 54.8%と最も高くなっている。

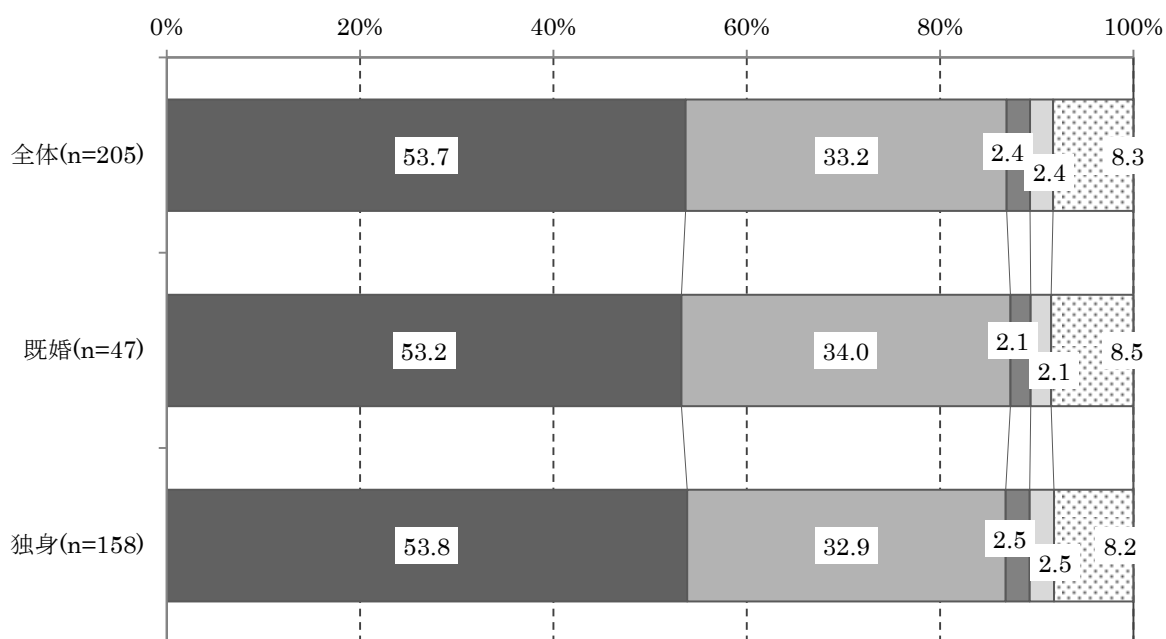
図 9-5 【専攻別】地元の活性化への貢献



■ぜひ貢献したい ■少し貢献したい ■あまり貢献したくない □まったく貢献したくない □わからない

婚姻の状況別（図 9-6）で見ると、既婚、独身ともに「ぜひ貢献したい」が最も高く、そのうち独身は 53.8%と最も高くなっている。

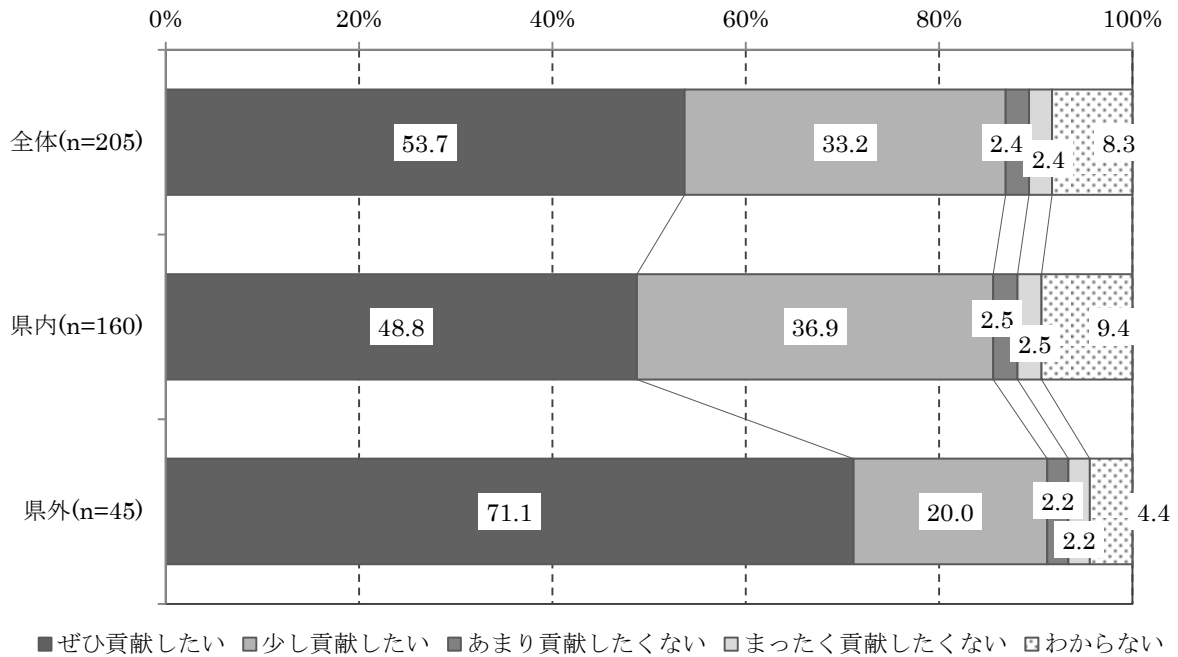
図 9-6 【婚姻の状況別】地元の活性化への貢献



■ぜひ貢献したい ■少し貢献したい ■あまり貢献したくない □まったく貢献したくない □わからない

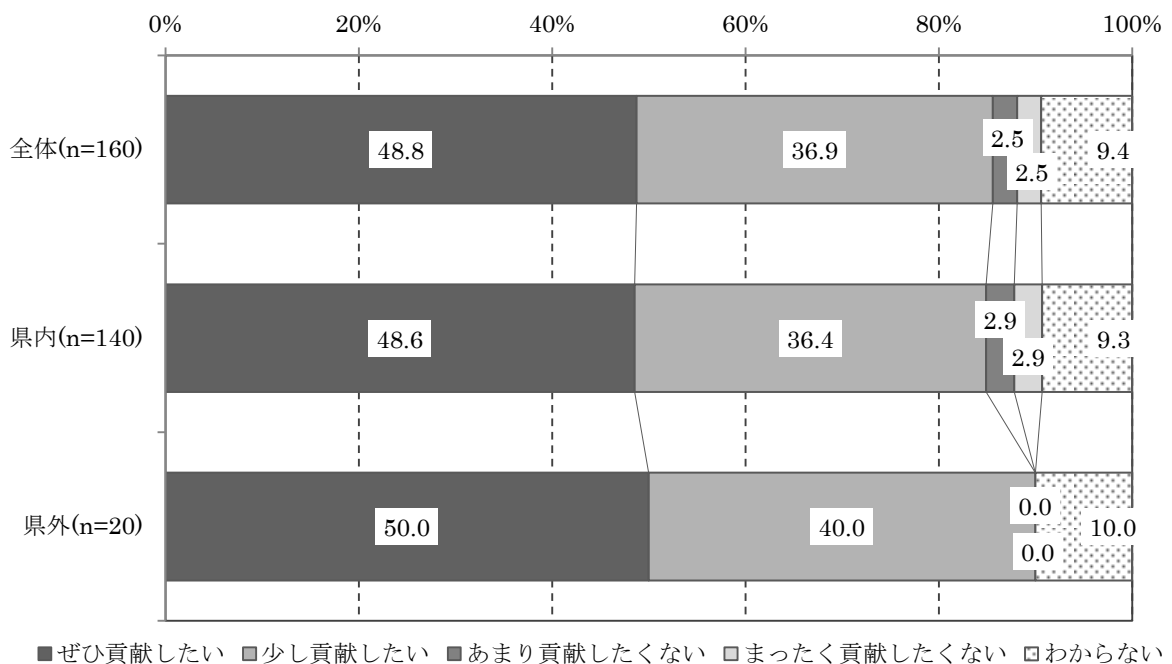
地元別（図 9-7）で見ると、県内、県外ともに「ぜひ貢献したい」が最も高く、そのうち県外は 71.1%と最も高くなっている。

図 9-7 【地元別】 地元の活性化への貢献



居住地域別（図 9-8）で見ると、県内、県外ともに「ぜひ貢献したい」最も高く、そのうち県外は 50.0%と最も高くなっている。（回答者は地元が県内の方のみ）

図 9-8 【居住地域別】 地元の活性化への貢献



※ 地元が県内の方の回答

問9-2 地元の活性化のために期待する行政支援

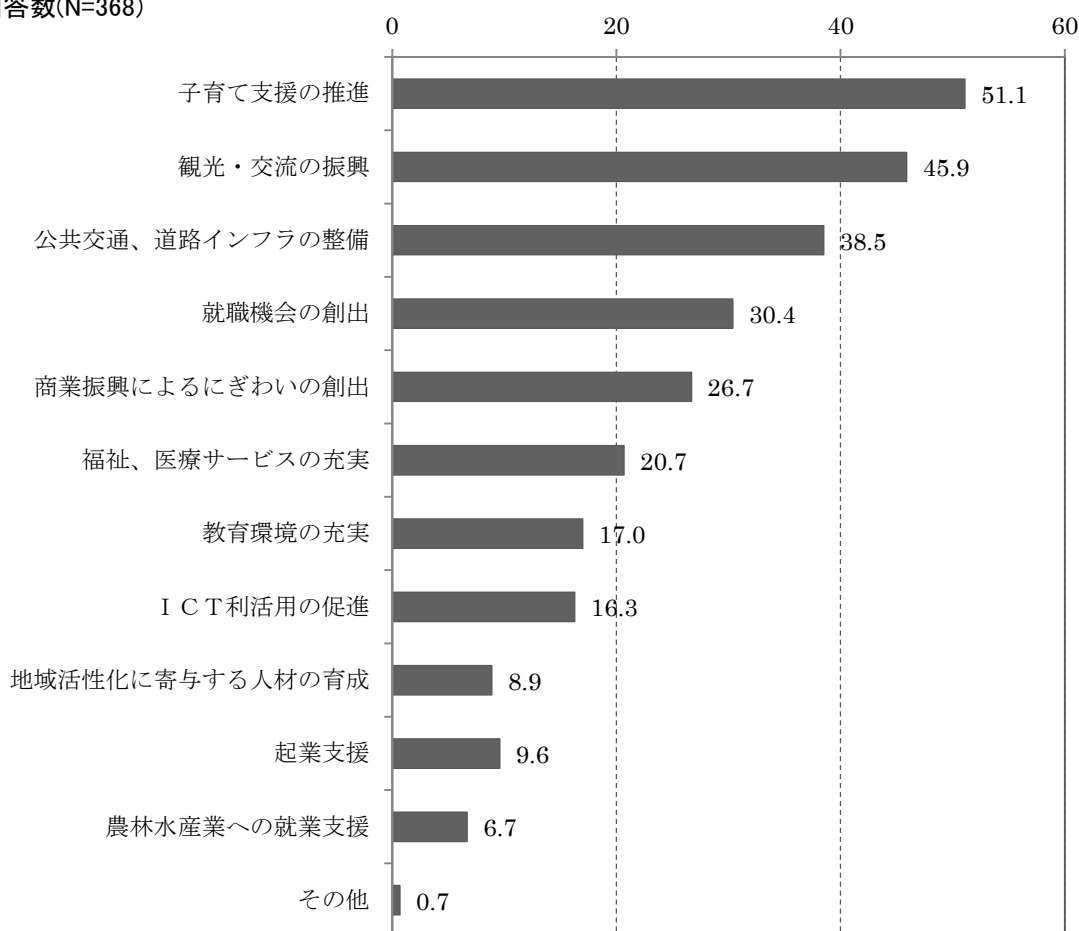
問9-2 「ぜひ貢献したい」「少し貢献したい」を選んだ方にお尋ねします。
 地元の活性化のために期待する行政支援は何ですか。
 (3つまで)

全体(図9-2-1)で見ると、「子育て支援の推進」が51.1%と最も高く、次いで「観光・交流の振興」が45.9%、「公共交通、道路インフラの整備」が38.5%の順となっている。(回答者は地元が県内の方のみ)

図9-2-1 地元の活性化のために期待する行政支援

回答者数(n=135)※

総回答数(N=368)



※地元が県内の方の回答

※問9で「ぜひ貢献したい」「少し貢献したい」を選んだ方(137人)のうち、無回答者がいるため回答者数は135人

※本問における選択肢は、図表の構成上、以下のものについて括弧書きを略して表示している。

- ・I C T利活用の促進(W i - F i環境の整備等)

※「その他」の主な内容

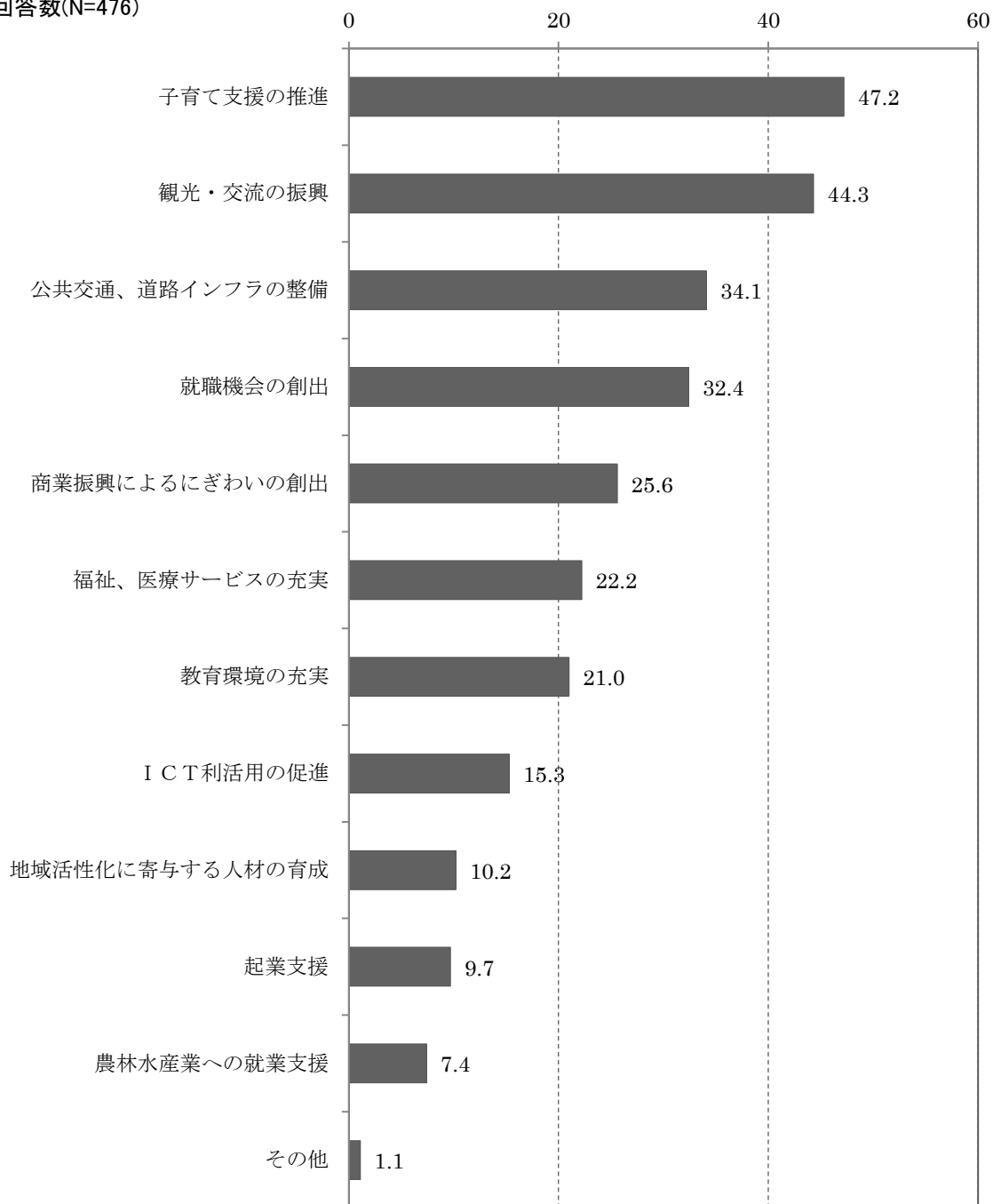
- ・市政の活性化、議会改革。
- ・面白いイベントをもっと沢山やる。

県外出身者も含む全体（図 9-2-2）で見ると、「子育て支援の推進」が 47.2%と最も高く、次いで「観光・交流の振興」が 44.3%、「公共交通、道路インフラの整備」が 34.1%の順となっている。

図 9-2-2 地元の活性化のために期待する行政支援

回答者数(n=176)※

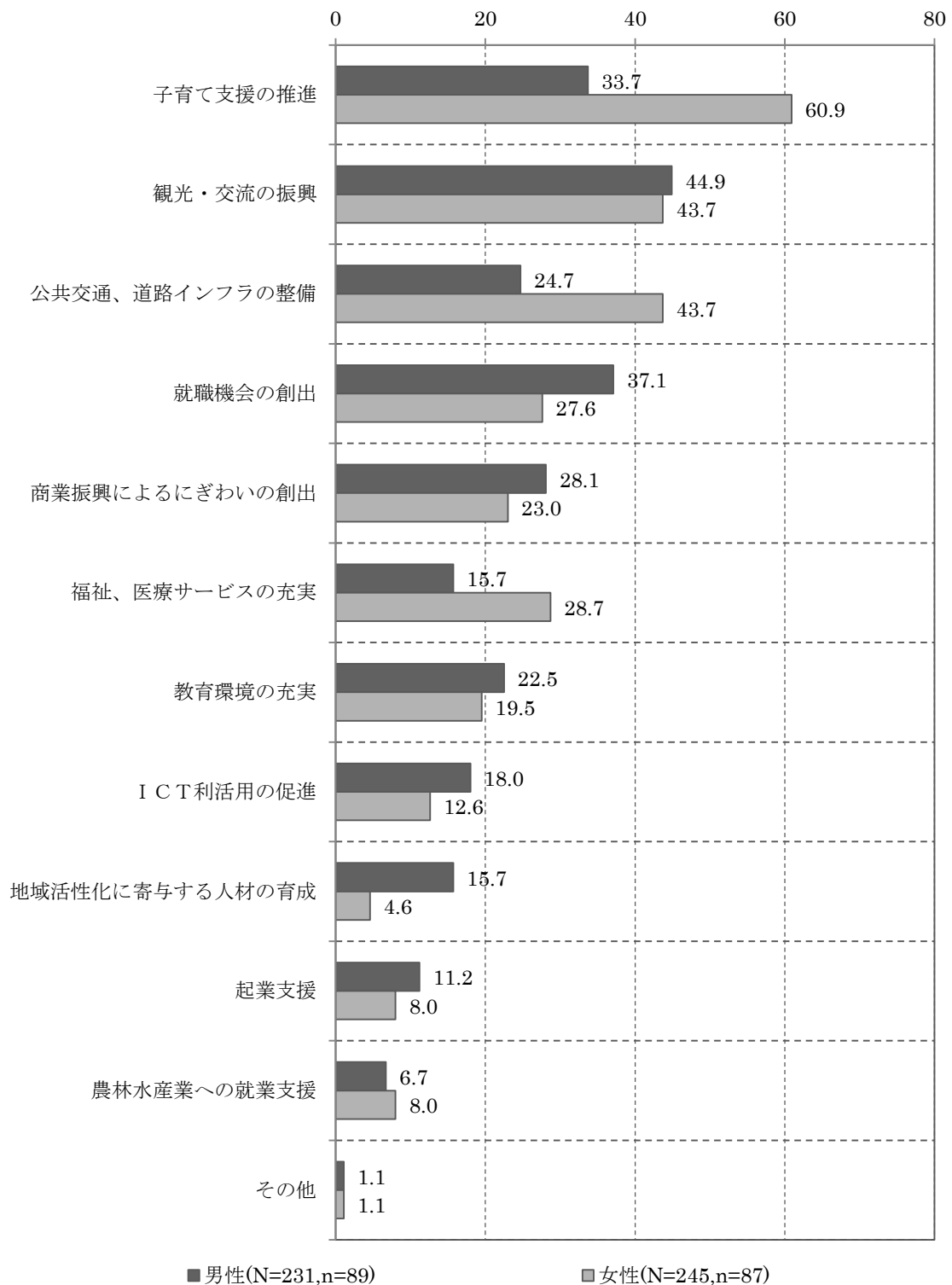
総回答数(N=476)



※問 9 で「ぜひ貢献したい」「少し貢献したい」を選んだ方（178 人）のうち、無回答者がいるため回答者数は 176 人

性別（図9-2-3）でみると、男性は「観光・交流の振興」が44.9%と最も高くなっている。女性は「子育て支援の推進」が60.9%と最も高くなっている。

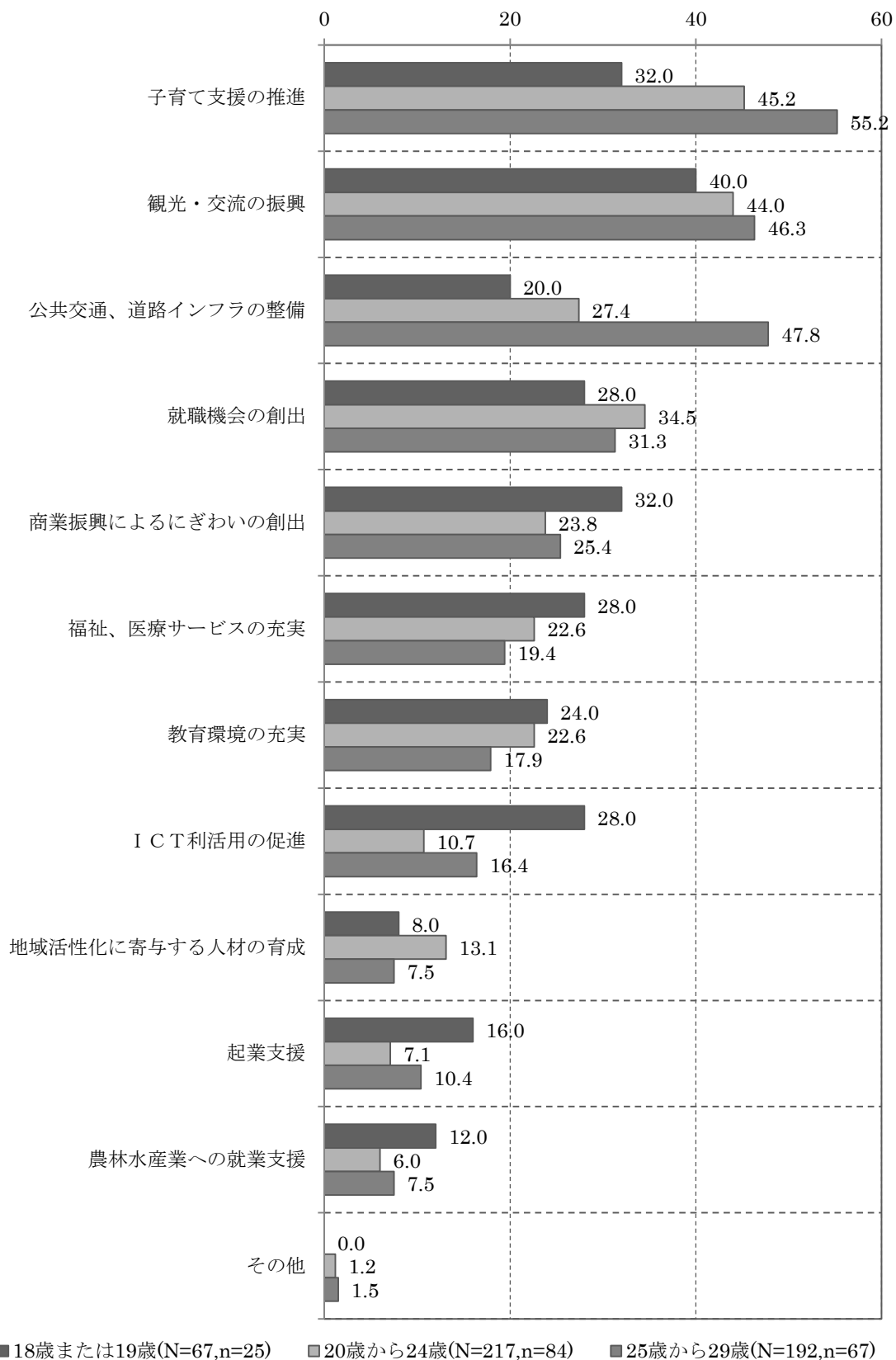
図9-2-3【性別】地元の活性化のために期待する行政支援



※ N=総回答数 n=回答者数

年代別（図9-2-4）で見ると、20歳から29歳は「子育て支援の推進」が最も高く、そのうち25歳から29歳が55.2%と最も高くなっている。18歳または19歳は「観光・交流の振興」が40.0%と最も高くなっている。

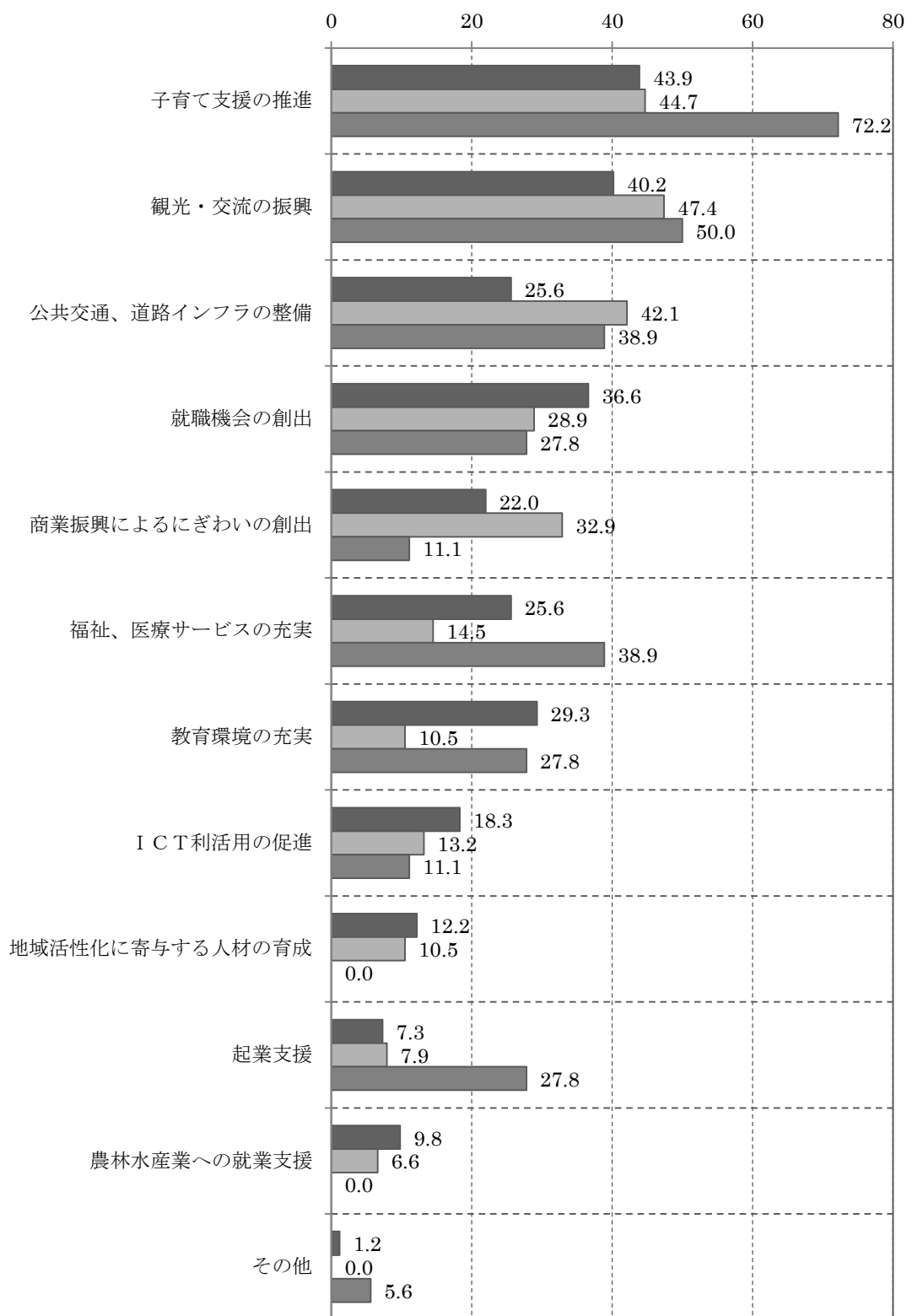
図9-2-4【年代別】地元の活性化のために期待する行政支援



※ N=総回答数 n=回答者数

職業別（図 9-2-5）でみると、学生とその他の職業は「子育て支援の推進」が最も高く、そのうちその他の職業は 72.2%と最も高くなっている。会社員、会社役員は「観光・交流の振興」が 47.4%と最も高くなっている。

図 9-2-5 【職業別】 地元の活性化のために期待する行政支援

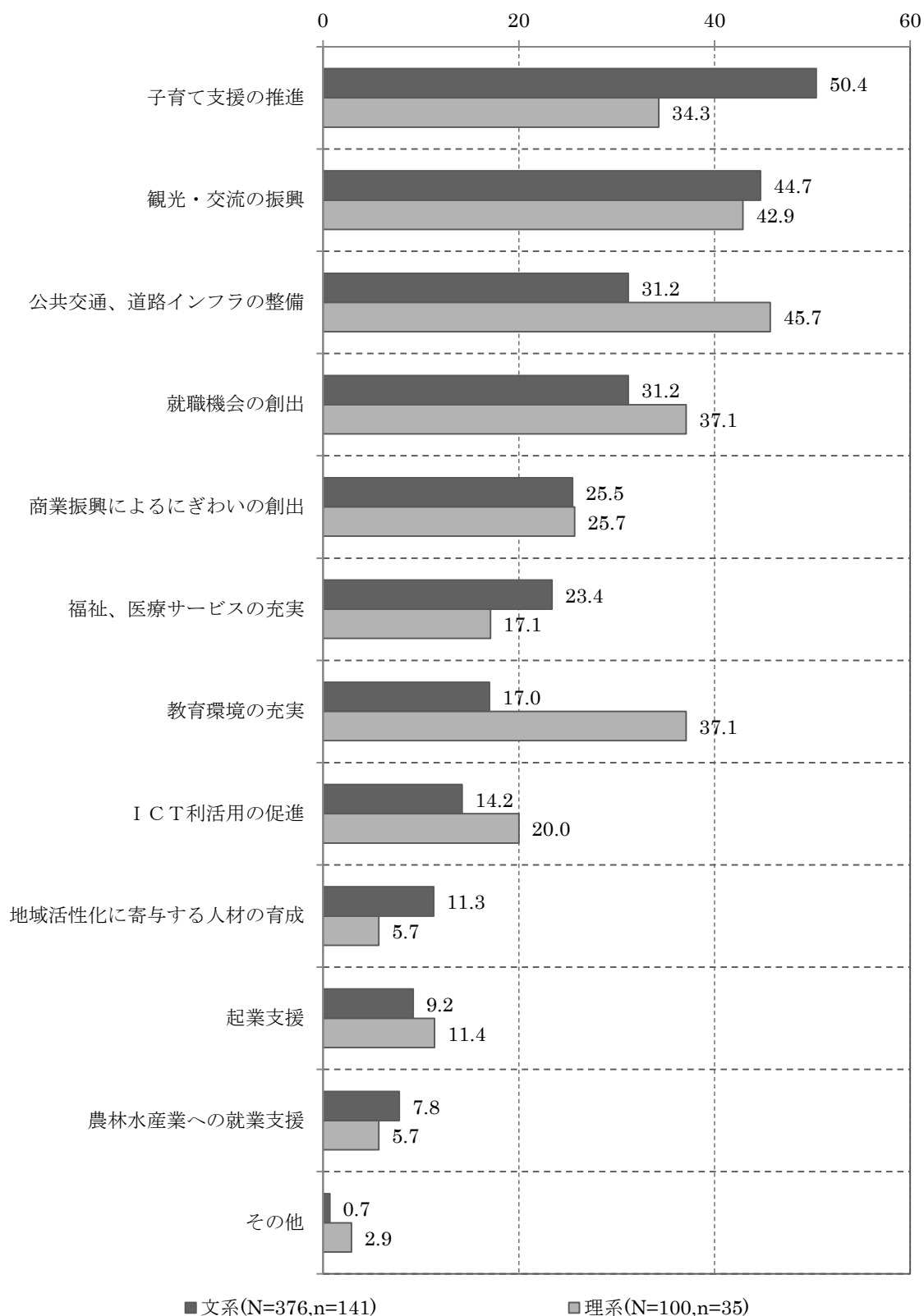


■ 学生(N=223,n=82) ■ 会社員、会社役員(N=197,n=76) ■ その他の職業(N=56,n=18)

※ N=総回答数 n=回答者数

専攻別（図 9-2-6）で見ると、文系は「子育て支援の推進」が 50.4%と最も高くなっている。理系は「公共交通、道路インフラの整備」が 45.7%と最も高くなっている。

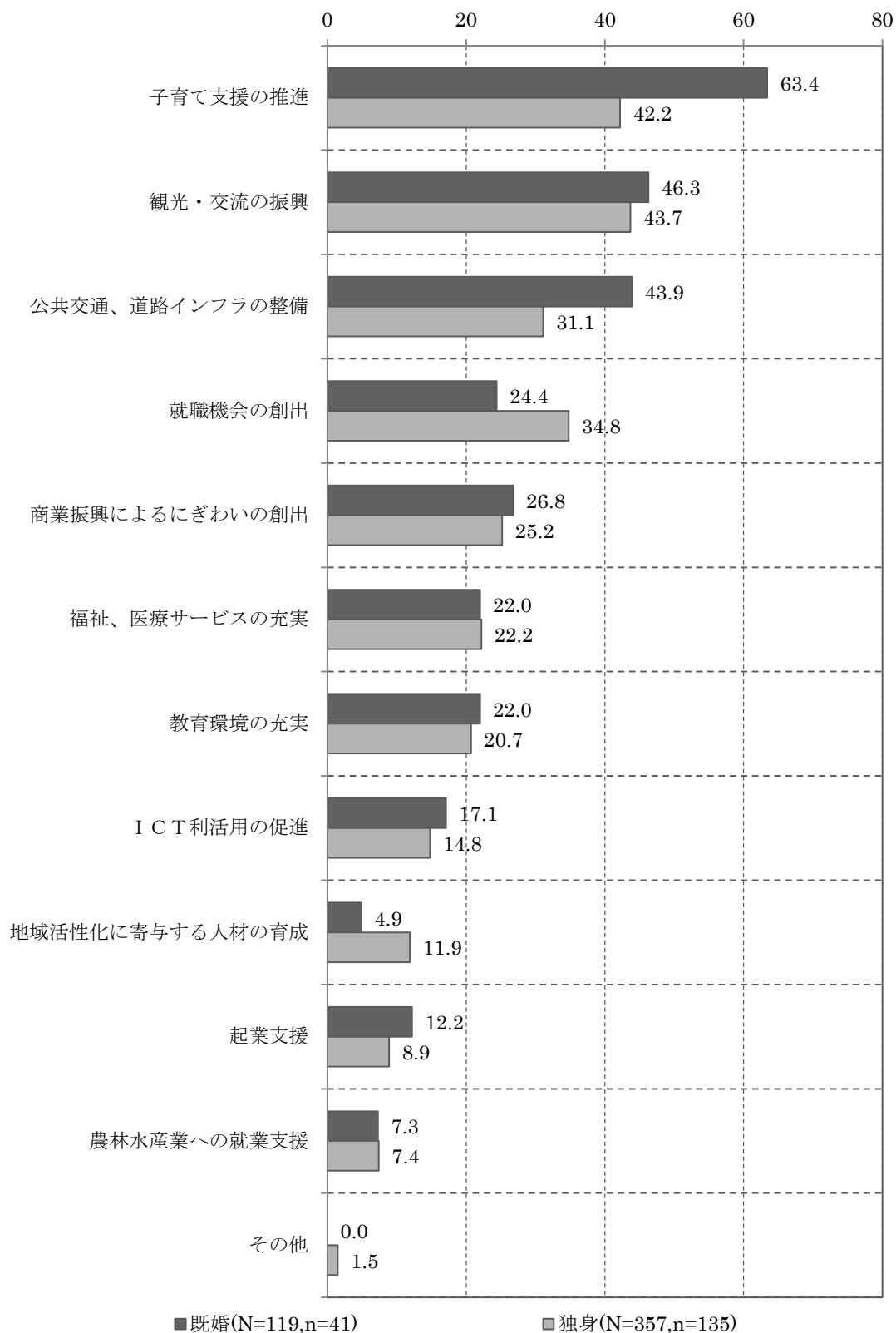
図 9-2-6 【専攻別】 地元の活性化のために期待する行政支援



※ N=総回答数 n=回答者数

婚姻の状況別（図9-2-7）でみると、既婚は「子育て支援の推進」が63.4%と最も高くなっている。独身は「観光・交流の振興」が43.7%と最も高くなっている。

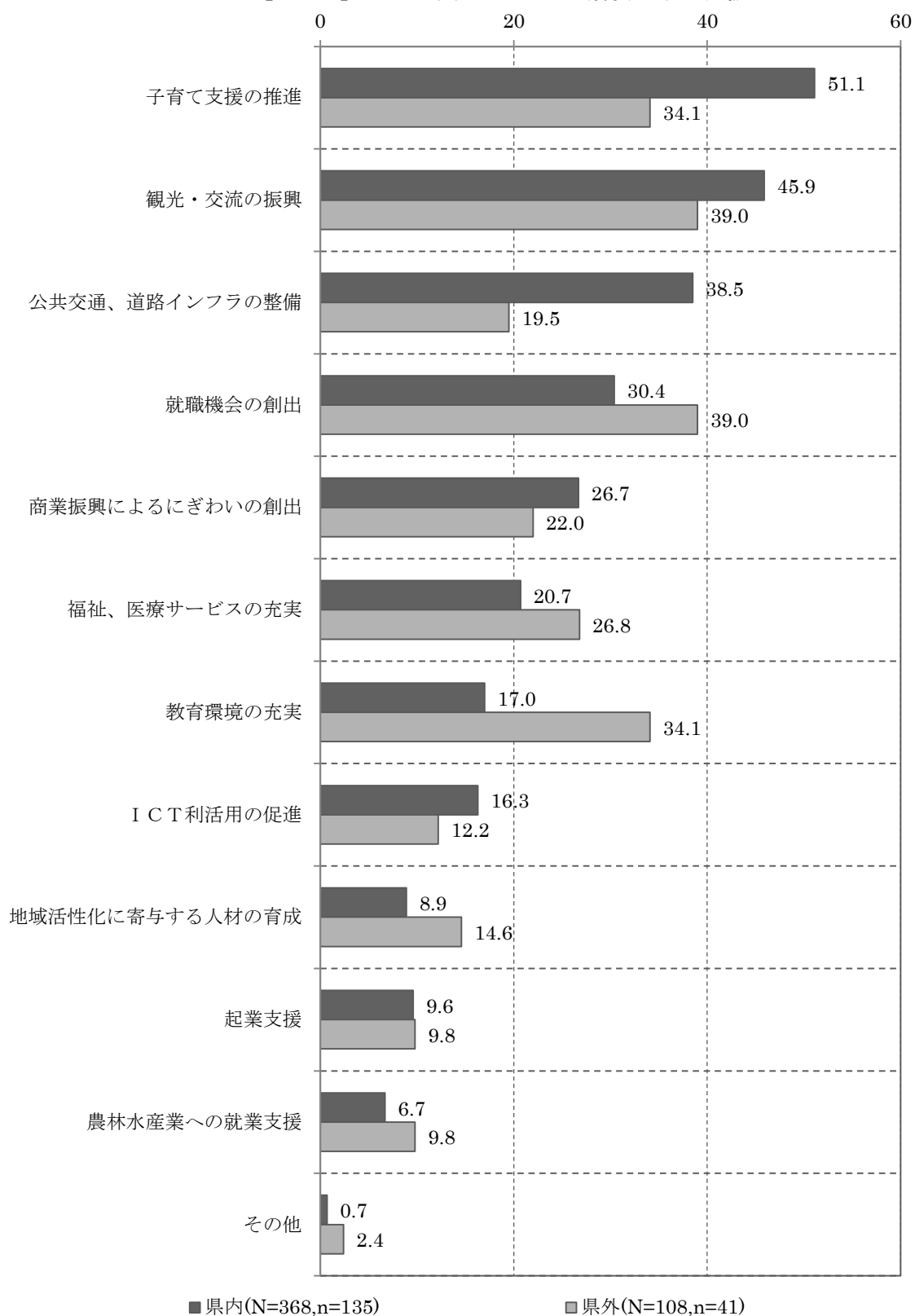
図9-2-7【婚姻の状況別】地元の活性化のために期待する行政支援



※ N=総回答数 n=回答者数

地元別（図 9-2-8）で見ると、県内は「子育て支援の推進」が 51.1%と最も高くなって
いる。県外は「観光・交流の振興」「就職機会の創出」がともに 39.0%と最も高くなって
いる。

図 9-2-8 【地元別】 地元の活性化のために期待する行政支援



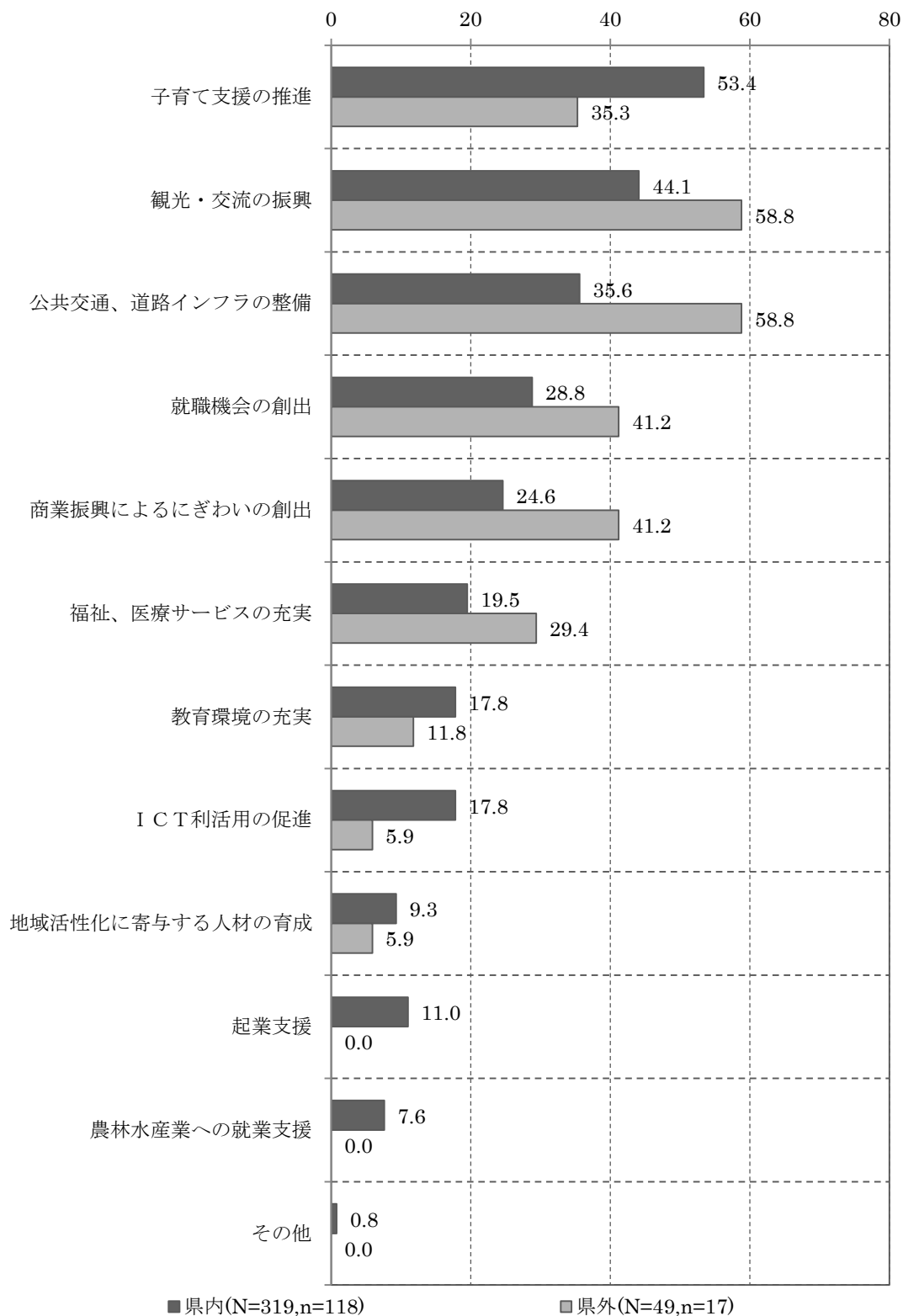
※ N=総回答数 n=回答者数

居住地域別（図 9-2-9）で見ると、県内は「子育て支援の推進」が 53.4%と最も高くなっている。県外は「観光・交流の振興」「公共交通、道路インフラの整備」が 58.8%と最も高くなっている。（回答者は地元が県内の方のみ）

図 9-2-9 【居住地域別】 地元の活性化のために期待する行政支援

回答者数(n=135)※

総回答数(N=368)



※ 地元が県内の方の回答

問10 岐阜県行政に対するご意見・ご要望

問10 岐阜県行政に対して取り組んで欲しいこと、改善して欲しいことなど、ご意見・ご要望がありましたら、お聞かせください。(自由記述)

《主な意見》

県政の情報発信

- ・ 市政の情報は広報紙でよく見ますが、県政については正直殆ど目にしないし知らない。どこで県政の情報を知れるのかもよく分からない。もう少し広報を広げたほうがよい。

観光振興

- ・ 観光の目玉となるものが県内各地にあるといい。岐阜って何が有名って聞かれても高山くらいしかない。子連れで一日出掛けられる様なところがほしい。どこか行くとなると岐阜ではなく愛知県や三重県に行ってしまう。他県の人に来てくなるような観光スポットがもっとあってほしい。

若者の定住

- ・ 地元に着や誇りを持たせたいのならまずは教育から。小さい時の刷り込みが大事。人を増やしたい、定着させたいのなら企業を振興するしかないのではないかな。
- ・ 大学、大企業誘致を進めて若者が定住する町を創る必要がある。都市部の大学に進学した若者がUターン就職して満足できるような企業がなければ流出する一方。
- ・ 若者に岐阜で働いてほしいなら、「岐阜が好きだから住みたい、そのためにココで就職したい」と思わせる政策も積極的にやる必要がある。

就職機会の創出

- ・ Uターンを促進するための合同説明会などを定期的で開催してほしい。

通信環境

- ・ インターネットが生活に浸透している現代において岐阜県内でどこでもWi-Fiが使える環境が出来るととても良い。

公共交通

- ・ 将来、定住を考える上で、交通の便利さは重要度が高い。
- ・ 公共交通機関が少なく、車がないと始まらない。

子育て

- ・ 行政に求めることは、働く場所に関してもそうですが、この街が良いと誇りに思えるモノ・コトがあること。働く場所に関しては、今ではどこでも通勤できる。子育てしやすい街や住みよい街であることなど自慢できる街づくりをお願いしたい。
- ・ 子育てしても働ける企業を増やしてほしい。独身でそのまま結婚し、子育てできる企業は増えたが、仕事を辞めて子育て後に再就職して、社員登用してくれるところは少ない。

医療・福祉

- ・ 医療に関して、質の向上、安全性のために医師や看護師を十分に確保してほしい。

教育

- ・ 小学校や中学校で地元の観光名所や、企業、特産品などと触れる機会がより増えると良い。

大学との連携

- ・ 大学と連携した取り組みを清流の国ぎふ 防災・減災センターなどのように拡大して、学生と行政がさらにかかわり、地域にとって何ができ、求められているのかを考える場を提供してほしい。